令和６年度

秋田県学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

令和７年３月

秋田県教育委員会

ま　え　が　き

県教育委員会では、令和６年１２月に、小学校第４学年から中学校第２学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施しました。

本調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

本調査は、「教科に関する調査」と「学習の意欲等に関する質問紙調査」で構成しています。教科に関する調査の特色として、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”を育成するための基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題しました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、１人１台端末の活用状況に係る質問項目をはじめ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に係る質問項目などを設け、全国学力・学習状況調査等の質問項目と対応させることにより、各学校が自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉えることができるようにしました。

この度、令和６年度の本調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等を報告書としてまとめました。各学校や市町村教育委員会においては、この報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育への取組の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各学校の皆様に心から御礼申し上げます。

令和７年３月

秋田県教育委員会

目　　次

1　調査の概要 ---------- 3

2　調査の特徴、用語等 ---------- 4

3　調査結果の概要 ---------- 5
(1) 教科に関する調査の結果
① 設定通過率との比較 ---------- 5
② 各教科の観点別の設定通過率との比較 ---------- 6
③ 類似問題との比較 ---------- 7
④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較 ---------- 8

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果
① 学習全般についての結果概要 ---------- 13
② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要 ---------- 13
③ 学習全般について ---------- 14
④ 生活全般について ---------- 16
⑤ 家庭学習について ---------- 19
⑥ 授業について ---------- 20
⑦ ＩＣＴ活用の状況について ---------- 22
⑧ 各教科等の学習に対する意識について ---------- 23
⑨ 読書について ---------- 32

4　結果と考察 ---------- 33

本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。

(1) 国語
・小学校第４学年 ---------- 34
・小学校第５学年 ---------- 38
・小学校第６学年 ---------- 42
・中学校第１学年 ---------- 46
・中学校第２学年 ---------- 50

(2) 社会
・小学校第５学年 ---------- 54
・小学校第６学年 ---------- 58
・中学校第１学年 ---------- 62
・中学校第２学年 ---------- 66

(3) 算数、数学
・小学校第４学年 ---------- 70
・小学校第５学年 ---------- 74
・小学校第６学年 ---------- 78
・中学校第１学年 ---------- 82
・中学校第２学年 ---------- 86

(4) 理科
・小学校第４学年 ---------- 90
・小学校第５学年 ---------- 94
・小学校第６学年 ---------- 98
・中学校第１学年 ---------- 102
・中学校第２学年 ---------- 106

(5) 英語
・中学校第１学年 ---------- 110
・中学校第２学年 ---------- 114

令和６年度
秋田県学習状況調査

１　調査の概要
２　調査の特徴・用語等
３　調査結果の概要

1　調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

※本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいる。

（人）

校種・学年 / 実施教科等	小　学　校			中　学　校	
	第４学年	第５学年	第６学年	第１学年	第２学年
国　　語	５，７６０	５，８３３	５，９７６	５，９６１	５，９１３
社　　会		５，８３２	５，９７４	５，９５９	５，８８４
算数・数学	５，７５７	５，８３２	５，９７６	５，９５７	５，９１５
理　　科	５，７６１	５，８３３	５，９７２	５，９５７	５，９０９
英　　語				５，９５５	５，９１２
学習の意欲等に関するアンケート	５，７６２	５，８３７	５，９８８	５，９８０	５，９５２
参　加　者	５，７６２	５，８３７	５，９８８	５，９８０	５，９５２
小・中ごとの参加者計	１７，５８７			１１，９３２	
参加者合計	２９，５１９				

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質・能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容を含む場合もある。

(4) 調査実施日

小学校　　令和６年１２月　４日（水）
中学校　　令和６年１２月　５日（木）

2　調査の特徴、用語等

(1) 特徴

① 評価規準の設定
- 観点別評価の実施
- 調査する基礎・基本の明確化

② 設定通過率の設定
- 県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定

③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
- 多面的な学力の把握

④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
- 学力の経年変化の把握

⑤ 調査の趣旨に基づいた特色ある問題
- 複数学年にわたる共通問題
- 本県児童生徒の学習状況における課題等の改善に資する問題
- “「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題

⑥ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
- 課題等の改善状況を把握するための問題

⑦ 調査結果の活用の工夫
- 各学校における結果分析に基づいた指導の改善
- 報告書の作成

(2) 用語

① 通過率
- 各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
  （各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%）

② 平均通過率
- 全問題の通過率の平均

③ 設定通過率
- 問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）

④ 正答数別度数分布
- 正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ

⑤ 小問別通過率度数分布表
- 各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約
- 本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- 各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

3　調査結果の概要

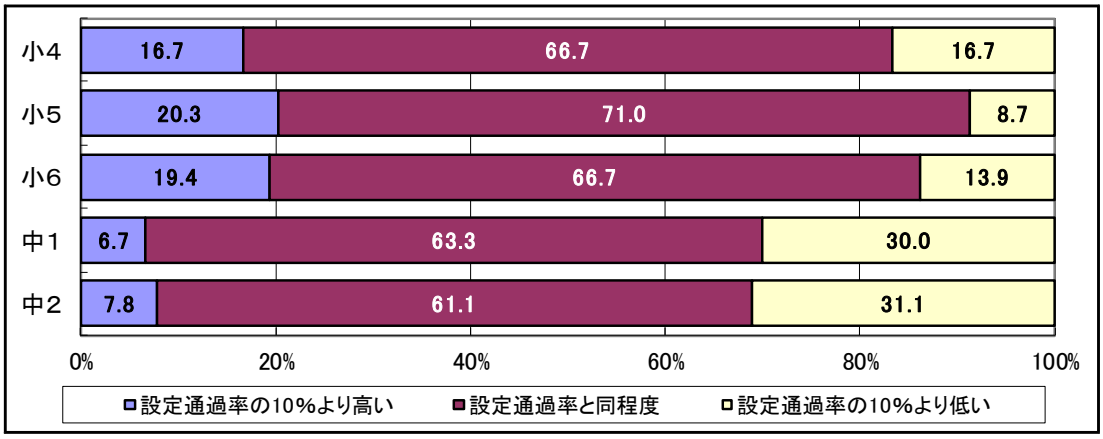
(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第４学年が83.4%、第５学年が91.3%、第６学年が86.1%、中学校第１学年が70.0%、中学校第２学年が68.9%であった。昨年度に比べて、小学校第４学年は 2.4ポイント、第５学年は 8.4ポイント、中学校第２学年は 6.7ポイント上回ったが、小学校第６学年は 4.2ポイント下回った。

・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第５学年国語、社会、理科、第６学年国語、社会、理科、中学校では第２学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校の第２学年社会、英語であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校　種	教　科	学　　年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国　語	第４学年	69.9	73.3	-3.4	75.0%
		第５学年	77.0	72.3	4.7	93.3%
		第６学年	79.8	74.7	5.1	94.4%
	社　会	第５学年	74.0	70.0	4.0	88.9%
		第６学年	74.1	70.0	4.1	88.9%
	算　数	第４学年	70.9	71.7	-0.8	88.9%
		第５学年	68.3	71.4	-3.1	88.9%
		第６学年	67.4	70.0	-2.6	77.8%
	理　科	第４学年	73.4	75.0	-1.6	83.3%
		第５学年	77.4	71.9	5.5	94.4%
		第６学年	74.5	73.1	1.4	83.3%
中学校	国　語	第１学年	64.9	70.6	-5.7	66.7%
		第２学年	75.2	73.6	1.6	77.8%
	社　会	第１学年	68.0	70.0	-2.0	83.3%
		第２学年	59.9	70.0	-10.1	72.2%
	数　学	第１学年	62.7	70.8	-8.1	61.1%
		第２学年	60.1	70.0	-9.9	72.2%
	理　科	第１学年	61.8	70.3	-8.5	66.7%
		第２学年	61.1	70.3	-9.2	72.2%
	英　語	第１学年	65.6	70.8	-5.2	72.2%
		第２学年	56.8	70.0	-13.2	50.0%

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれを上回る（＋10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点別の設定通過率との比較

・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語、社会、算数、理科の全観点、中学校では社会、数学の「思考・判断・表現」であった。

・通過率が設定通過率を下回る問題が多く見られたのは、中学校の英語の全観点、社会、数学、理科の「知識・技能」であった。

＜小学校＞

教科名	観点	問題数	＋10%より高い	±10%の範囲内	－10%より低い
国語	知識・技能	23	8 (34.8%)	11 (47.8%)	4 (17.4%)
	思考・判断・表現	22	3 (13.6%)	18 (81.8%)	1 (4.5%)
社会	知識・技能	18	4 (22.2%)	11 (61.1%)	3 (16.7%)
	思考・判断・表現	18	6 (33.3%)	11 (61.1%)	1 (5.6%)
算数	知識・技能	38	4 (10.5%)	29 (76.3%)	5 (13.2%)
	思考・判断・表現	16	0 (0.0%)	13 (81.3%)	3 (18.8%)
理科	知識・技能	25	6 (24.0%)	14 (56.0%)	5 (20.0%)
	思考・判断・表現	23	4 (17.4%)	18 (78.3%)	1 (4.3%)

＜中学校＞

教科名	観点	問題数	＋10%より高い	±10%の範囲内	－10%より低い
国語	知識・技能	19	5 (26.3%)	9 (47.4%)	5 (26.3%)
	思考・判断・表現	17	3 (17.6%)	9 (52.9%)	5 (29.4%)
社会	知識・技能	18	2 (11.1%)	9 (50.0%)	7 (38.9%)
	思考・判断・表現	18	1 (5.6%)	16 (88.9%)	1 (5.6%)
数学	知識・技能	25	0 (0.0%)	15 (60.0%)	10 (40.0%)
	思考・判断・表現	11	0 (0.0%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)
理科	知識・技能	17	0 (0.0%)	11 (64.7%)	6 (35.3%)
	思考・判断・表現	19	0 (0.0%)	14 (73.7%)	5 (26.3%)
英語	知識・技能	18	1 (5.6%)	9 (50.0%)	8 (44.4%)
	思考・判断・表現	18	1 (5.6%)	11 (61.1%)	6 (33.3%)

③　類似問題との比較

・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では92問中58問（63.0%）、中学校では91問中56問（61.5%）であった。

・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第４学年算数、第５学年理科、第６学年国語、算数であった。中学校では第１学年社会、数学、理科、第２学年社会、数学であった。

（図１参照）

・類似問題の通過率の平均を比較すると、社会、算数・数学、英語は全ての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第４学年及び第６学年の理科、中学校第１学年の国語は下回っているものの、その差は－６ポイント以内である。

（図２参照）

図１　類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合

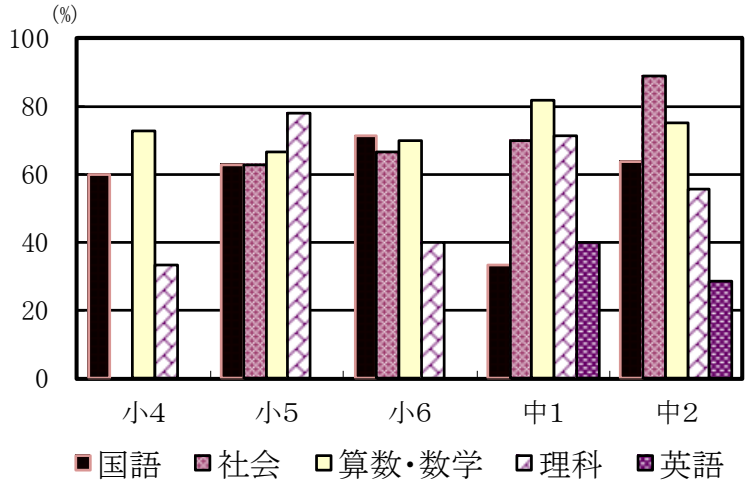
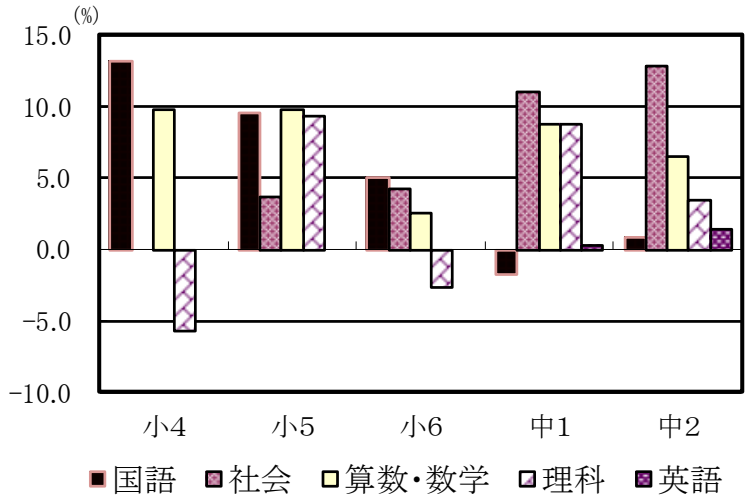


図２　類似問題において過去の通過率の平均を基準とした今年度の通過率の平均



④　各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	79.1	
2)	80	57.6	
3)	80	79.3	
4)	70	44.5	
5)	70	92.1	74.9
6)	70	69.1	30.8
7)	70	67.0	
8)	80	91.5	
9)	60	55.5	
10)	60	32.8	58.9
11)	80	87.8	42.1
12)	80	82.8	91.8

設定通過率	73.3		
平均通過率		69.9	
類似問題		72.9	59.7

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	98.6	
2)	80	80.5	
3)	70	54.2	
4)	70	63.2	
5)	80	91.5	
6)	75	95.5	89.8
8)	70	79.7	40.7
9)	70	76.0	87.6
10)	70	77.4	
11)	70	75.4	
12)	70	70.4	54.5
13)	70	66.2	80.1
14)	70	72.9	66.2
15)	60	67.8	25.0
16)	80	86.3	94.5

設定通過率	72.3		
平均通過率		77.0	
類似問題		76.9	67.3

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	80	98.7	
2)	80	98.1	
3)	70	61.3	
4)	70	74.2	
5)	80	91.6	47.5
6)	70	57.5	90.2
7)	80	97.0	90.9
8)	70	60.5	
9)	75	83.0	52.3
10)	70	88.9	
11)	70	60.7	
12)	80	84.2	
13)	70	76.2	95.9
14)	80	97.1	92.6
15)	80	82.1	
16)	70	74.5	
17)	70	63.0	
18)	80	87.3	85.3

設定通過率	74.7		
平均通過率		79.8	
類似問題		84.2	79.2

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	84.9	
2)	80	98.9	
3)	70	41.1	
4)	70	43.9	
5)	80	93.8	39.5
6)	70	77.7	
7)	60	58.9	
8)	70	78.0	47.7
9)	70	69.0	70.0
10)	80	86.3	46.2
11)	70	68.5	
12)	70	67.7	
13)	70	64.9	84.4
14)	60	33.5	74.2
15)	70	47.2	
16)	60	32.8	84.5
17)	60	36.9	62.9
18)	80	84.5	85.4

設定通過率	70.6		
平均通過率		64.9	
類似問題		64.4	66.1

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	85.7	76.4
2)	80	72.0	75.8
3)	80	95.7	75.6
4)	70	71.2	
5)	70	80.4	
6)	70	49.2	
7)	70	84.6	
8)	80	96.6	
9)	85	87.9	67.5
10)	60	44.5	69.5
11)	60	62.8	56.3
12)	80	49.3	92.3
13)	80	88.1	73.5
14)	80	95.7	
15)	70	77.1	62.5
16)	70	83.6	
17)	60	43.9	54.9
18)	80	85.5	79.3

設定通過率	73.6		
平均通過率		75.2	
類似問題		72.0	71.2

【社会】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	88.5	80.9
2)	70	82.8	83.8
3)	70	71.9	61.4
4)	70	57.3	77.0
5)	75	92.8	
6)	75	85.4	
7)	65	60.6	
8)	70	82.2	
9)	75	81.1	78.6
10)	70	70.6	
11)	65	62.6	63.2
12)	75	85.6	
13)	70	79.6	79.0
14)	65	78.6	49.2
15)	70	58.0	
16)	60	54.1	
17)	70	78.8	
18)	65	62.0	

設定通過率	70.0		
平均通過率		74.0	
類似問題		75.3	71.6

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	85	92.1	85.9
2)	80	87.2	88.7
3)	75	84.8	
4)	70	66.0	
5)	75	83.0	72.8
6)	70	77.2	64.8
7)	70	68.5	88.0
8)	65	83.0	83.7
9)	70	46.8	
10)	70	78.3	
11)	65	64.0	
12)	70	68.4	57.1
13)	65	72.9	69.8
14)	70	88.5	
15)	70	81.5	
16)	65	68.3	50.8
17)	65	48.1	
18)	60	74.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		74.1	
類似問題		77.8	73.5

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	85.5	
2)	60	53.8	
3)	60	35.6	
4)	60	61.5	
5)	80	86.2	87.8
6)	75	92.3	50.6
7)	70	78.4	58.2
8)	80	83.8	79.5
9)	70	65.9	
10)	60	28.1	
11)	65	78.5	54.2
12)	75	66.2	74.3
13)	70	70.1	67.2
14)	60	49.4	
15)	80	84.6	88.4
16)	75	79.1	76.6
17)	70	62.8	
18)	70	61.3	33.7

設定通過率	70.0		
平均通過率		68.0	
類似問題		78.1	67.1

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	79.6	
2)	65	25.9	45.1
3)	70	70.9	48.0
4)	65	41.8	
5)	75	71.3	71.0
6)	70	62.2	47.6
7)	70	83.1	
8)	75	70.6	
9)	60	50.5	
10)	70	18.4	
11)	75	77.7	72.3
12)	70	39.7	
13)	70	73.5	28.2
14)	80	79.0	60.9
15)	60	53.7	31.4
16)	60	43.6	38.1
17)	80	77.9	
18)	65	59.3	

設定通過率	70.0		
平均通過率		59.9	
類似問題		62.0	49.2

【算数、数学】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	70.2	72.1
2)	75	80.3	69.5
3)	80	79.8	73.5
4)	75	81.1	
5)	65	55.7	
6)	65	58.4	
7)	65	61.4	44.1
8)	75	86.3	
9)	70	64.4	62.0
10)	65	76.1	54.4
11)	65	68.7	27.4
12)	70	65.9	61.7
13)	70	72.2	
14)	75	69.3	
15)	75	86.5	68.0
16)	75	76.3	
17)	75	64.5	65.9
18)	70	58.8	70.2

設定通過率	71.7		
平均通過率		70.9	
類似問題		70.6	60.8

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	80.5	84.6
2)	70	56.4	
3)	75	71.8	63.6
4)	75	75.2	60.0
5)	70	70.3	78.0
6)	75	66.9	27.4
7)	65	65.0	62.7
8)	65	15.7	
9)	80	94.7	
10)	65	69.1	52.0
11)	65	63.0	76.0
12)	70	70.4	
13)	65	55.2	
14)	80	86.3	
15)	80	85.8	55.2
16)	65	69.4	
17)	75	76.1	
18)	65	56.9	

設定通過率	71.4		
平均通過率		68.3	
類似問題		72.0	62.2

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	80	85.1	
2)	85	88.5	85.0
3)	70	65.0	66.0
4)	80	85.8	
5)	75	68.4	94.5
6)	75	78.8	87.5
7)	60	60.8	
8)	70	54.2	52.0
9)	60	60.5	49.4
10)	60	57.6	44.4
11)	75	79.4	
12)	65	51.6	
13)	65	53.6	
14)	75	72.3	63.9
15)	70	66.2	51.6
16)	65	52.5	
17)	70	65.7	
18)	60	67.6	59.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		67.4	
類似問題		67.9	65.4

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	62.8	61.3
2)	75	69.2	62.8
3)	75	64.2	73.5
4)	75	69.0	43.2
5)	70	62.7	
6)	65	58.5	57.2
7)	70	65.9	
8)	70	56.3	
9)	65	44.8	
10)	65	44.4	
11)	65	45.8	
12)	65	56.0	32.1
13)	65	41.4	54.1
14)	70	72.1	44.2
15)	75	78.1	75.7
16)	80	89.5	
17)	75	74.2	61.4
18)	70	74.5	58.5

設定通過率	70.8		
平均通過率		62.7	
類似問題		65.5	56.7

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	74.4	
2)	80	75.3	
3)	65	56.2	53.7
4)	65	56.8	
5)	70	51.8	57.2
6)	65	43.2	
7)	70	46.4	
8)	70	61.3	59.8
9)	80	75.0	
10)	70	64.5	43.7
11)	70	60.5	39.0
12)	65	59.8	48.7
13)	75	65.2	
14)	65	54.2	
15)	60	53.5	
16)	70	64.8	
17)	70	66.6	52.0
18)	70	52.1	66.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		60.1	
類似問題		59.1	52.6

【理科】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	80.4	
2)	80	91.2	
3)	80	88.5	75.1
4)	70	69.6	79.5
5)	80	86.4	
6)	80	89.3	85.9
7)	70	44.3	79.2
8)	70	40.1	
9)	70	65.3	
10)	80	90.2	92.1
11)	80	84.2	88.8
12)	60	51.6	

設定通過率	75.0		
平均通過率		73.4	
類似問題		77.7	83.4

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	70	82.4	
2)	70	89.6	
3)	85	86.2	91.3
4)	80	87.5	84.5
5)	90	92.6	91.0
6)	70	71.4	
7)	70	78.6	43.9
8)	70	76.8	
9)	60	69.6	26.5
10)	70	53.8	70.1
11)	60	63.0	57.7
12)	70	64.7	
13)	70	75.1	73.8
14)	70	71.4	
15)	70	75.6	
16)	80	90.4	
17)	70	88.1	71.9
18)	70	75.5	

設定通過率	71.9		
平均通過率		77.4	
類似問題		77.2	67.9

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	70	71.9	
2)	80	89.9	78.1
3)	80	77.5	83.7
4)	70	79.5	
5)	80	83.4	89.5
6)	70	84.5	
7)	60	70.9	76.0
8)	80	92.6	
9)	80	88.7	83.0
10)	80	81.3	80.9
11)	80	89.5	
12)	75	89.9	95.5
13)	60	45.0	
14)	60	44.3	66.9
15)	60	35.6	26.5
16)	80	80.9	
17)	60	51.7	
18)	90	84.5	92.2

設定通過率	73.1		
平均通過率		74.5	
類似問題		74.6	77.2

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	70	31.3	
2)	70	48.4	
3)	80	87.2	
4)	60	58.5	38.1
5)	80	84.7	76.3
6)	70	34.3	
7)	60	56.3	50.2
8)	80	77.1	78.7
9)	60	54.0	
10)	70	71.4	
11)	85	84.7	85.5
12)	70	74.7	
13)	70	67.7	64.9
14)	60	39.4	
15)	70	70.0	44.0
16)	70	52.4	
17)	70	67.8	
18)	70	53.2	

設定通過率	70.3		
平均通過率		61.8	
類似問題		71.3	62.5

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	84.2	48.5
2)	70	50.4	68.0
3)	70	64.3	58.2
4)	70	66.1	73.7
5)	75	70.6	
6)	60	31.6	46.2
7)	70	12.4	
8)	60	58.3	
9)	70	70.3	54.1
10)	80	70.2	75.1
11)	70	63.4	61.3
12)	60	39.4	
13)	70	74.6	
14)	60	52.1	
15)	70	71.2	
16)	80	82.3	
17)	80	81.5	
18)	70	56.9	40.4

設定通過率	70.3		
平均通過率		61.1	
類似問題		61.9	58.4

【英語】

設　定：設定通過率
通過率：今年度の平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	85	86.6	84.1
2)	85	92.1	
3)	80	97.1	85.2
4)	80	86.7	87.4
5)	60	58.7	65.2
6)	75	71.5	
7)	80	87.7	57.6
8)	70	53.0	70.8
9)	70	68.4	
10)	75	73.9	53.6
11)	70	75.0	
12)	65	70.1	
13)	60	24.6	
14)	60	58.5	
15)	60	31.5	48.2
16)	60	29.1	45.4
17)	80	93.0	
18)	60	23.4	27.2

設定通過率	70.8		
平均通過率		65.6	
類似問題		62.8	62.5

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	90	86.5	89.3
2)	80	82.9	
3)	65	61.6	49.0
4)	80	83.4	
5)	75	58.7	
6)	60	37.8	38.5
7)	75	67.8	
8)	65	58.8	
9)	70	46.2	
10)	60	62.1	38.0
11)	70	64.6	65.8
12)	75	58.6	
13)	75	53.5	
14)	75	65.5	
15)	60	20.1	29.5
16)	60	31.9	
17)	65	47.8	60.8
18)	60	34.7	

設定通過率	70.0		
平均通過率		56.8	
類似問題		54.4	53.0

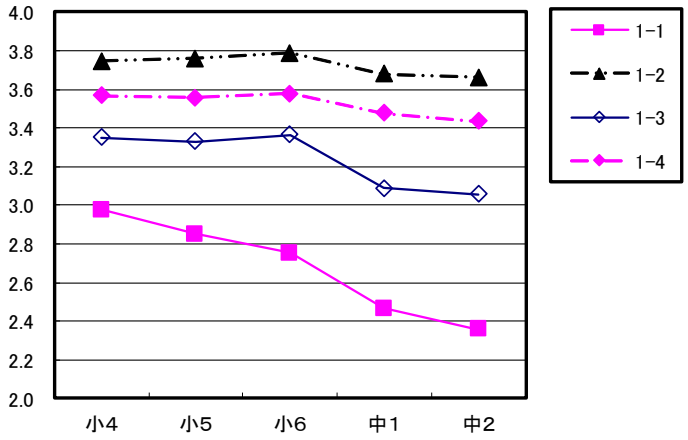
(2)　学習の意欲等に関する質問紙調査結果

①　学習全般についての結果概要（４点換算による県平均）

当てはまる…４点　　どちらかといえば当てはまる…３点
どちらかといえば当てはまらない…２点　当てはまらない…１点

質 問 項 目

１－１　勉強が好きだ
１－２　勉強は大切だ
１－３　学校の勉強がよく分かる
１－４　ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

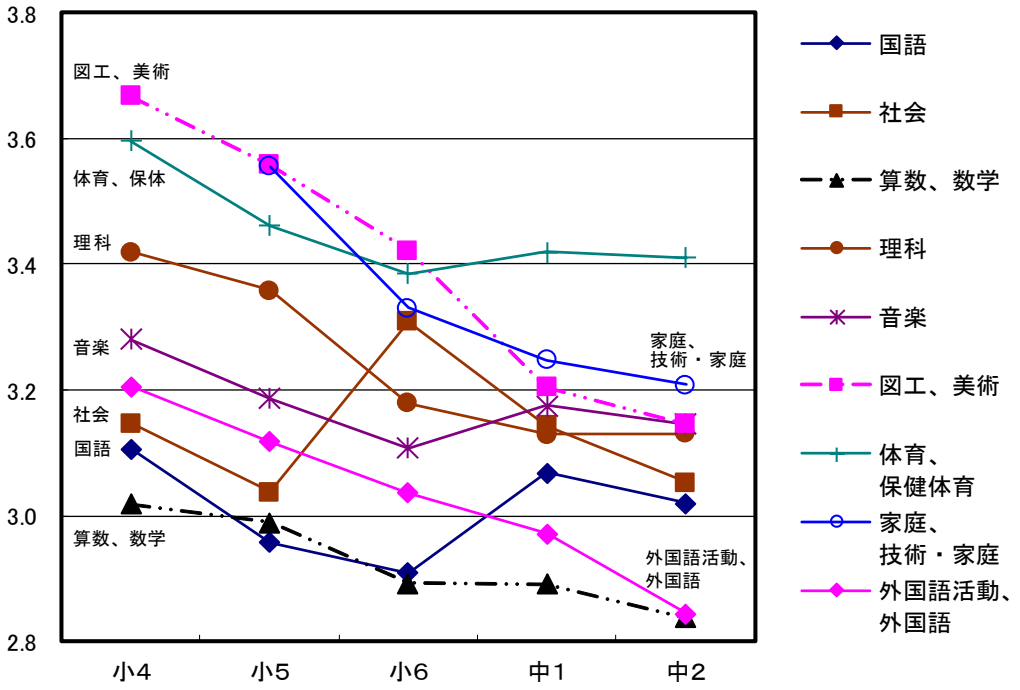


②　各教科等の学習に対する意識についての結果概要（４点換算による県平均）

当てはまる…４点　　どちらかといえば当てはまる…３点
どちらかといえば当てはまらない…２点　当てはまらない…１点

質 問 項 目

（例）国語の勉強は好きだ　　※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。

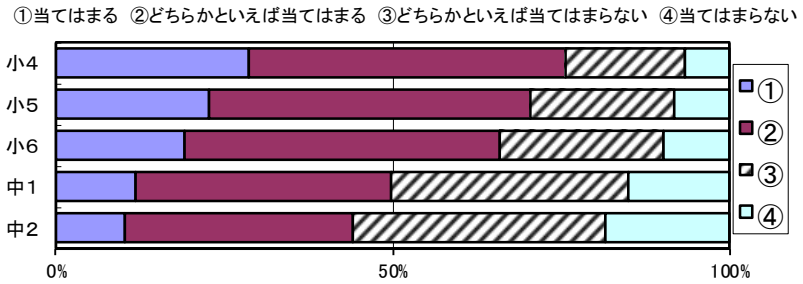


③　学習全般について

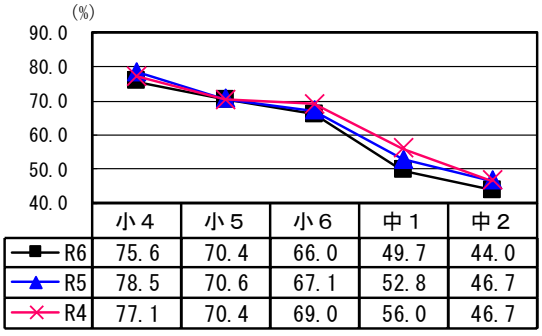
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［１－１］　勉強が好きだ

	①	②	③	④
小4	28.7	46.9	17.7	6.7
小5	22.8	47.6	21.3	8.3
小6	19.1	46.9	24.2	9.8
中1	11.8	37.9	35.3	15.0
中2	10.2	33.8	37.6	18.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

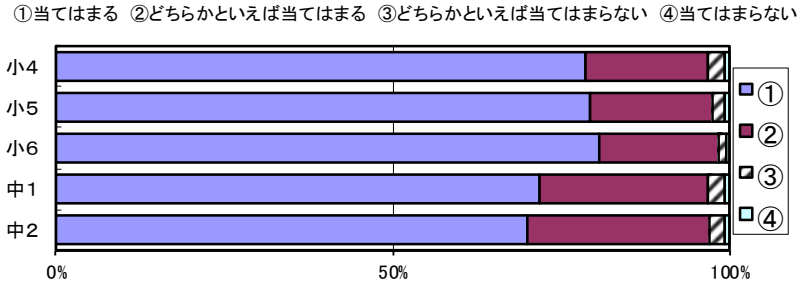


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	75.6	70.4	66.0	49.7	44.0
R5	78.5	70.6	67.1	52.8	46.7
R4	77.1	70.4	69.0	56.0	46.7

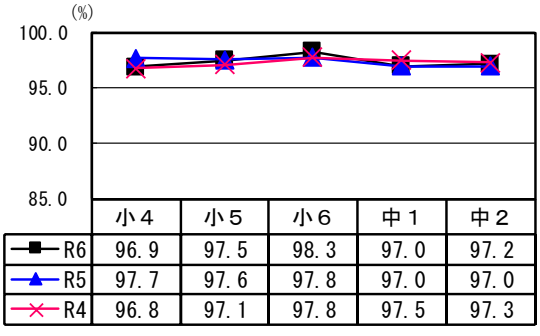
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少しており、中学校においては、この３年間で最も低い数値となっている。中学校第１学年では、減少傾向が続いている。

［１－２］　勉強は大切だ

	①	②	③	④
小4	78.7	18.2	2.4	0.8
小5	79.2	18.3	1.8	0.7
小6	80.7	17.6	1.3	0.4
中1	71.9	25.1	2.4	0.7
中2	70.0	27.2	2.2	0.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

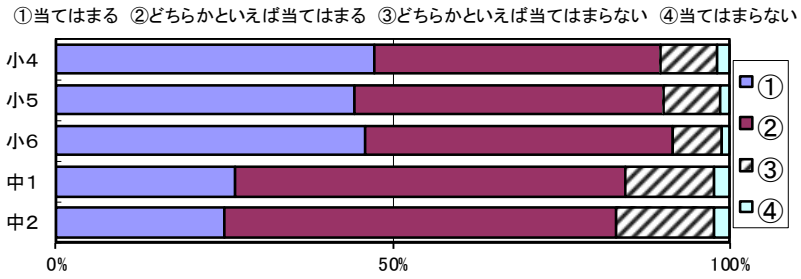


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	96.9	97.5	98.3	97.0	97.2
R5	97.7	97.6	97.8	97.0	97.0
R4	96.8	97.1	97.8	97.5	97.3

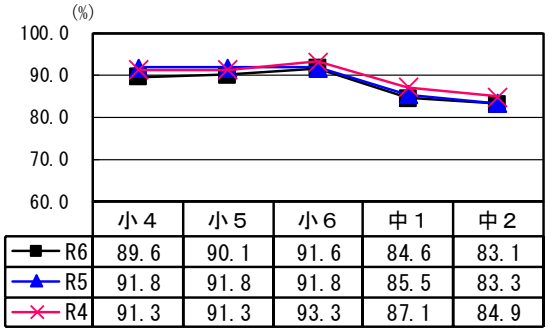
全ての学年で、肯定的な回答の割合が96%以上である。学ぶことの重要性や意義などを感じながら学習に取り組んでいる児童生徒が多いことがうかがえる。

［１－３］　学校の勉強がよく分かる

	①	②	③	④
小4	47.2	42.4	8.4	1.9
小5	44.2	45.9	8.5	1.4
小6	45.9	45.7	7.2	1.2
中1	26.6	58.0	13.3	2.2
中2	24.9	58.2	14.6	2.3



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

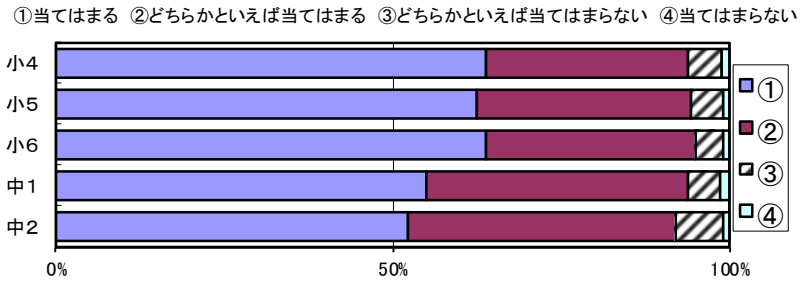


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	89.6	90.1	91.6	84.6	83.1
R5	91.8	91.8	91.8	85.5	83.3
R4	91.3	91.3	93.3	87.1	84.9

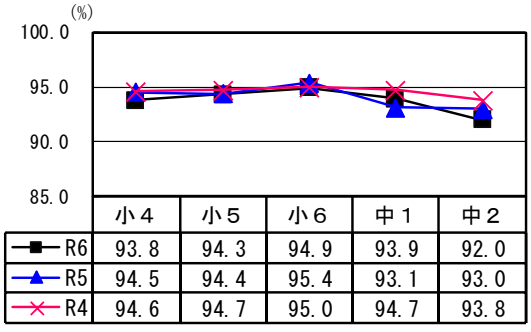
小学校では89％以上、中学校では83％以上が肯定的な回答をしているものの、全ての学年において、この３年間で最も低い数値となっている。

［１－４］　ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

	①	②	③	④
小4	63.8	30.0	4.9	1.2
小5	62.5	31.8	4.7	1.0
小6	63.8	31.1	4.1	1.0
中1	54.9	39.0	4.8	1.3
中2	52.3	39.7	7.0	1.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R6	93.8	94.3	94.9	93.9	92.0
R5	94.5	94.4	95.4	93.1	93.0
R4	94.6	94.7	95.0	94.7	93.8

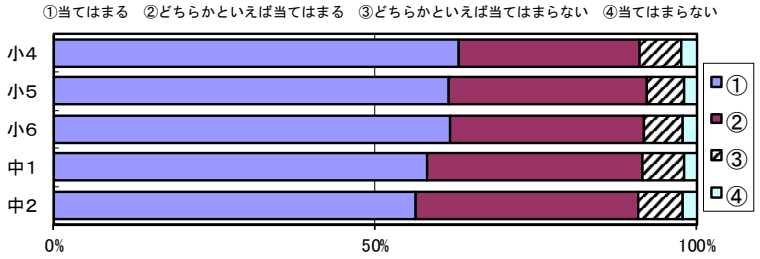
全ての学年で、肯定的な回答の割合が92％以上である。各教科等で学習する内容を日常生活に役立てようとする意識をもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

④　生活全般について

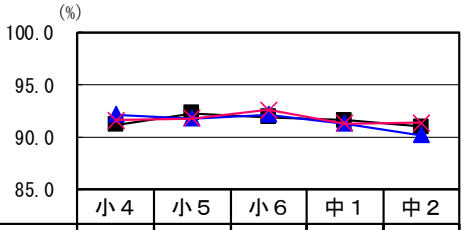
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［２－１］　学校が楽しい

	①	②	③	④
小４	63.1	28.1	6.4	2.4
小５	61.6	30.7	5.8	2.0
小６	61.7	30.2	6.0	2.1
中１	58.0	33.6	6.5	1.9
中２	56.4	34.6	6.8	2.2



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



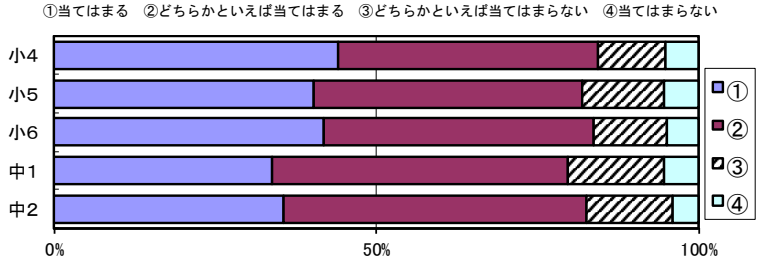
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	91.2	92.3	91.9	91.6	91.0
R5	92.2	91.8	92.2	91.3	90.2
R4	91.6	91.8	92.6	91.3	91.4
R6全国調査	小6…秋田県86.4(全国84.8)　中3…秋田県87.1(全国83.8)				

全ての学年で、肯定的な回答の割合が91%以上である。

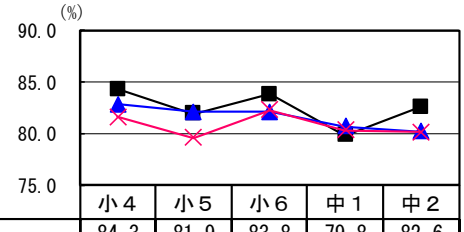
小学校第６学年においては、４月の全国学力・学習状況調査の肯定的な回答の割合より、 5.5ポイント高くなっている。

［２－２］　自分にはよいところがあると思う

	①	②	③	④
小４	44.2	40.1	10.5	5.2
小５	40.4	41.5	12.7	5.4
小６	41.8	42.0	11.3	4.9
中１	33.9	45.9	14.9	5.3
中２	35.7	46.9	13.3	4.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



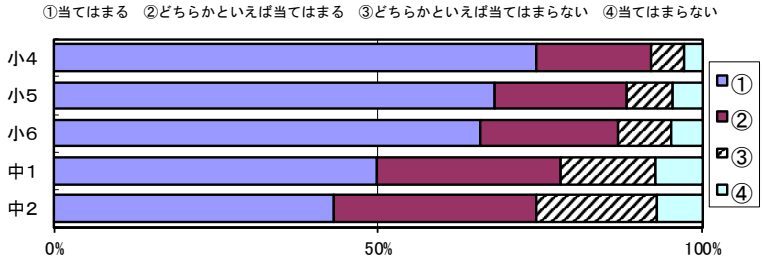
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	84.3	81.9	83.8	79.8	82.6
R5	82.8	82.1	82.1	80.7	80.2
R4	81.6	79.6	82.3	80.3	80.1
R6全国調査	小6…秋田県86.3(全国84.1)　中3…秋田県87.0(全国83.3)				

全ての学年で、肯定的な回答の割合が79%以上である。小学校第４学年と第６学年及び中学校第２学年においては、この３年間で最も高い数値となっている。

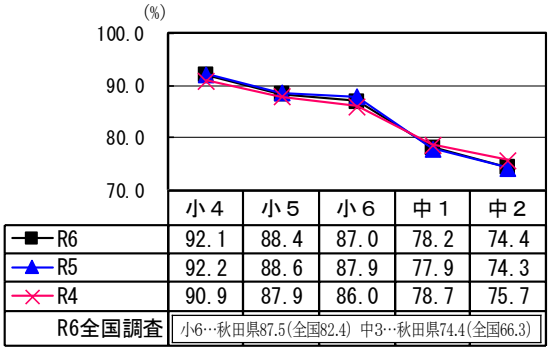
学校生活の様々な場面において、教師が児童生徒のよさを認めるなど、児童生徒のよさや可能性を認識できるような働き掛けを充実させていることがうかがえる。

［２－３］　将来の夢や目標をもっている

	①	②	③	④
小４	74.5	17.6	5.2	2.8
小５	68.1	20.3	7.1	4.6
小６	65.8	21.2	8.2	4.8
中１	49.8	28.4	14.6	7.3
中２	43.2	31.2	18.5	7.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



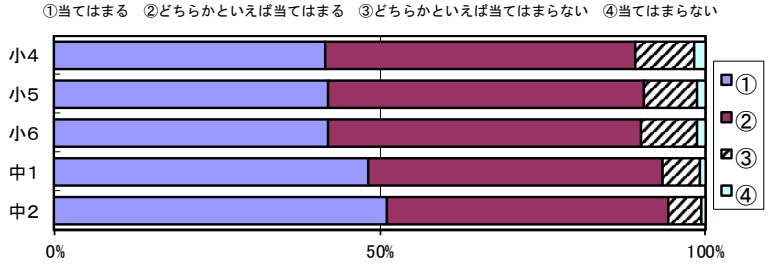
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	92.1	88.4	87.0	78.2	74.4
R5	92.2	88.6	87.9	77.9	74.3
R4	90.9	87.9	86.0	78.7	75.7
R6全国調査	小6…秋田県87.5(全国82.4)　中3…秋田県74.4(全国66.3)				

肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少している。

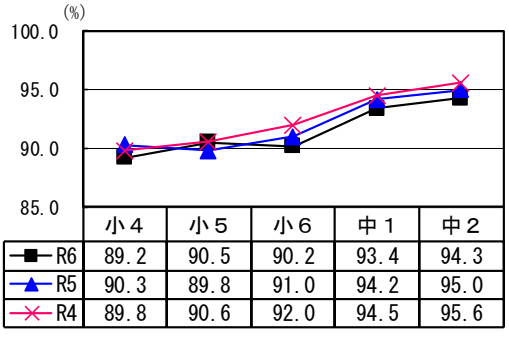
各学校では、現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度を育むことができるよう、児童生徒の発達の段階に応じて学級活動や職場体験活動等の内容を一層工夫していく必要がある。

［２－４］　学校のきまりを守っている

	①	②	③	④
小４	41.5	47.7	9.2	1.6
小５	42.0	48.5	8.2	1.3
小６	42.0	48.2	8.6	1.2
中１	48.3	45.1	5.7	0.9
中２	51.0	43.3	5.0	0.6



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



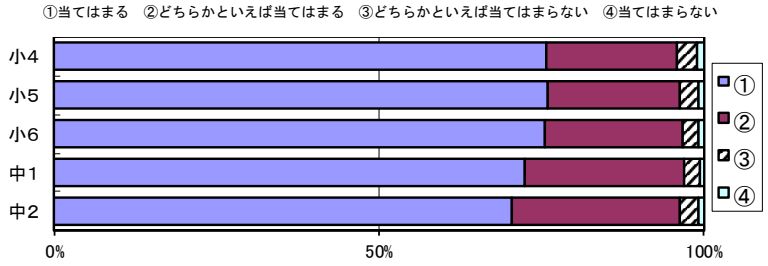
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	89.2	90.5	90.2	93.4	94.3
R5	90.3	89.8	91.0	94.2	95.0
R4	89.8	90.6	92.0	94.5	95.6

肯定的な回答の割合が、小学校では89％以上、中学校では93％以上となっている。

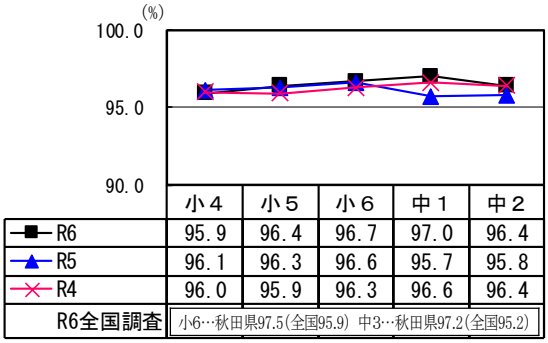
学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

［２－５］　人の役に立つ人間になりたいと思う

	①	②	③	④
小４	75.8	20.1	3.0	1.1
小５	75.9	20.5	2.8	0.8
小６	75.5	21.2	2.5	0.8
中１	72.5	24.5	2.4	0.6
中２	70.6	25.8	3.0	0.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



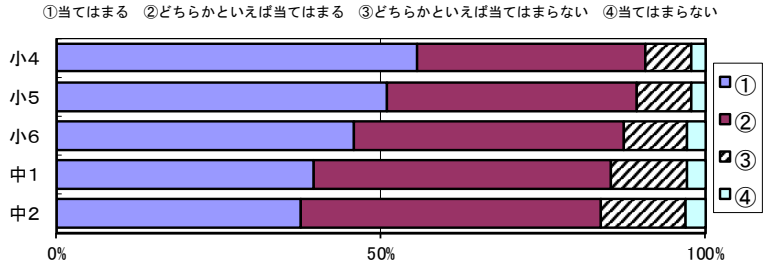
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	95.9	96.4	96.7	97.0	96.4
R5	96.1	96.3	96.6	95.7	95.8
R4	96.0	95.9	96.3	96.6	96.4
R6全国調査	小6…秋田県97.5(全国95.9)　中3…秋田県97.2(全国95.2)				

肯定的な回答の割合が、全ての学年で95％以上という高い状況である。

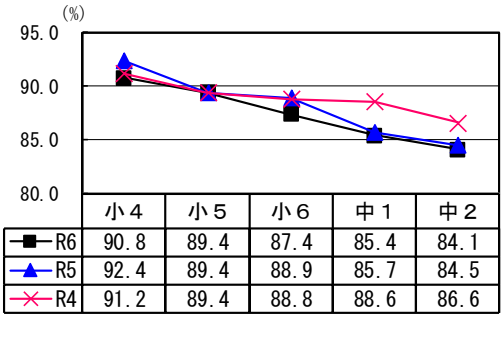
各学校では、キャリア教育や道徳教育等の取組を通して、児童生徒一人一人が活躍したり、他者から認められたりする場を設けるなどして、自己有用感を高めることができるよう、教育活動を工夫していることがうかがえる。

［２－６］　地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

	①	②	③	④
小４	55.6	35.2	7.1	2.1
小５	51.0	38.4	8.4	2.2
小６	45.8	41.6	9.8	2.7
中１	39.7	45.7	11.9	2.7
中２	37.8	46.3	12.9	3.1



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R6	90.8	89.4	87.4	85.4	84.1
R5	92.4	89.4	88.9	85.7	84.5
R4	91.2	89.4	88.8	88.6	86.6

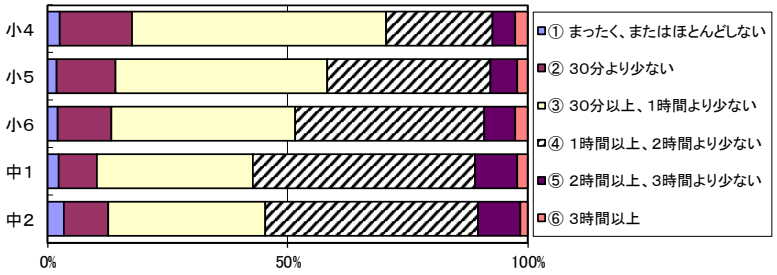
肯定的な回答の割合が、小学校では87％以上、中学校では84％以上である。

各学校の特色を生かしたふるさと教育やキャリア教育等の取組が、児童生徒の地域に対する愛着を育み、地域社会に貢献しようとする意欲の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤　家庭学習について

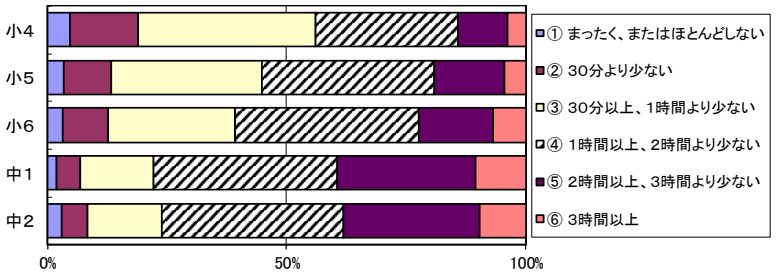
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



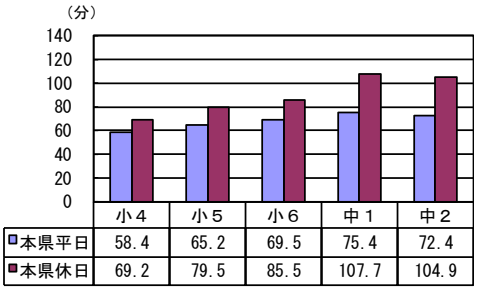
	①	②	③	④	⑤	⑥
小４	2.5	15.1	52.9	22.1	4.8	2.5
小５	1.9	12.3	44.0	34.0	5.7	2.1
小６	2.0	11.3	38.3	39.3	6.5	2.6
中１	2.2	8.1	32.4	46.3	9.0	2.1
中２	3.4	9.3	32.6	44.4	8.8	1.5

土曜日や日曜日の勉強時間



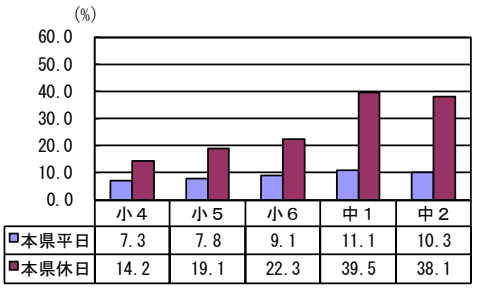
	①	②	③	④	⑤	⑥
小４	4.7	14.2	37.2	29.7	10.3	3.9
小５	3.5	9.9	31.5	36.0	14.5	4.6
小６	3.1	9.6	26.6	38.4	15.5	6.8
中１	2.0	4.8	15.3	38.4	29.0	10.5
中２	3.0	5.4	15.4	38.0	28.5	9.6

家庭学習の平均時間



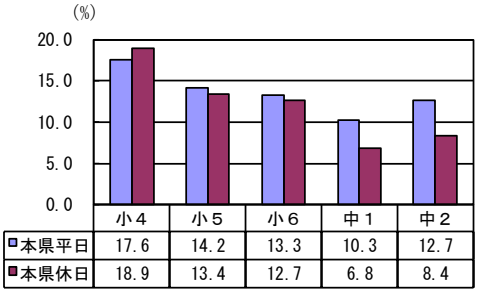
	小４	小５	小６	中１	中２
本県平日	58.4	65.2	69.5	75.4	72.4
本県休日	69.2	79.5	85.5	107.7	104.9

２時間以上の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
本県平日	7.3	7.8	9.1	11.1	10.3
本県休日	14.2	19.1	22.3	39.5	38.1

全くしない又は30分未満の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
本県平日	17.6	14.2	13.3	10.3	12.7
本県休日	18.9	13.4	12.7	6.8	8.4

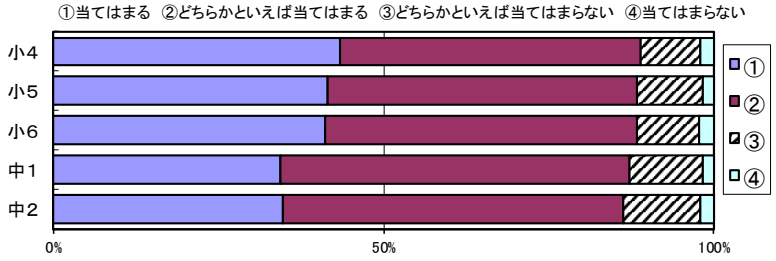
小・中学校とも平日より休日の勉強時間が長いこと、小学校より中学校の方が家庭学習の平均時間が長いことなど、全体的に昨年度までと同様の傾向である。

⑥　授業について

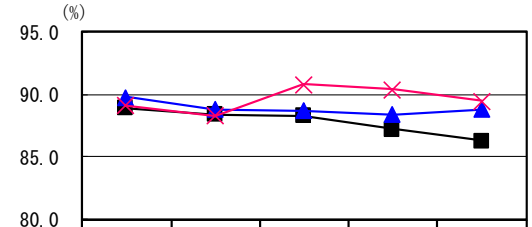
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［４－１］　ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を意識して学習に取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小４	43.4	45.5	9.0	2.1
小５	41.6	46.8	9.9	1.7
小６	41.1	47.2	9.5	2.2
中１	34.3	52.9	11.1	1.6
中２	34.7	51.6	11.7	2.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



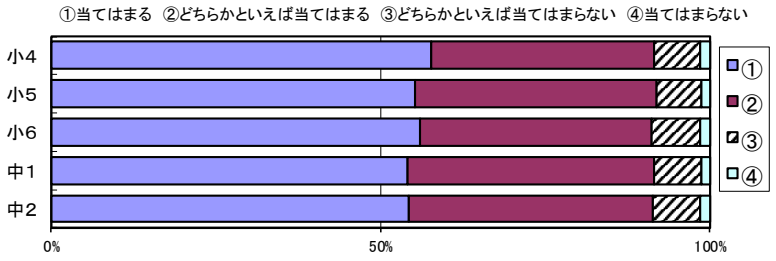
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	88.9	88.4	88.3	87.2	86.3
R5	89.8	88.8	88.7	88.4	88.8
R4	89.1	88.3	90.8	90.4	89.5

全ての学年で、肯定的な回答の割合が86％以上である。

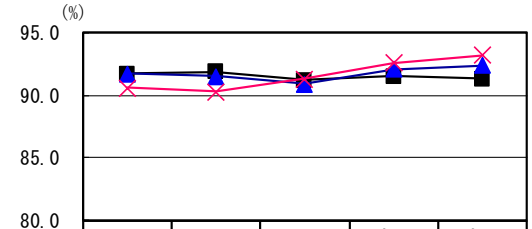
各学校においては、児童生徒に学習の見通しをもたせるための手立てを工夫するなどして、主体的に学習活動に取り組むことができるようにしている様子がうかがえる。

［４－２］　ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小４	57.8	33.9	6.9	1.5
小５	55.3	36.6	6.9	1.2
小６	56.0	35.2	7.4	1.4
中１	54.0	37.5	7.3	1.2
中２	54.3	37.0	7.2	1.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



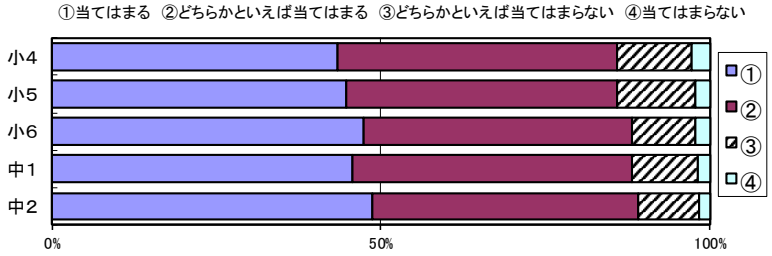
	小４	小５	小６	中１	中２
R6	91.7	91.9	91.2	91.5	91.3
R5	91.7	91.5	90.9	92.1	92.4
R4	90.6	90.3	91.3	92.6	93.2

全ての学年で、肯定的な回答の割合が91％以上である。

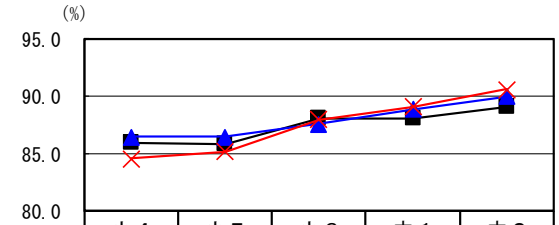
各学校においては、話し合う目的を明確にすることで、児童生徒が意欲的に話し合う活動に取り組むことができるようにしている様子がうかがえる。

［４－３］　ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

	①	②	③	④
小４	43.5	42.5	11.3	2.7
小５	44.8	41.1	11.9	2.2
小６	47.3	40.8	9.7	2.2
中１	45.6	42.5	10.1	1.8
中２	48.7	40.4	9.2	1.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R6	86.0	85.9	88.1	88.1	89.1
R5	86.5	86.5	87.6	88.9	90.0
R4	84.6	85.2	88.0	89.1	90.6

【参考】R6全国調査
小６…秋田県89.7（全国86.3）　中３…秋田県91.5（全国86.1）

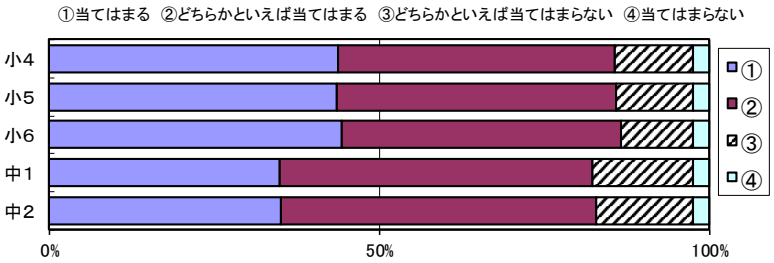
※R6全国調査では「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う」という質問であるため【参考】としている。

全ての学年で、肯定的な回答の割合が85%以上である。

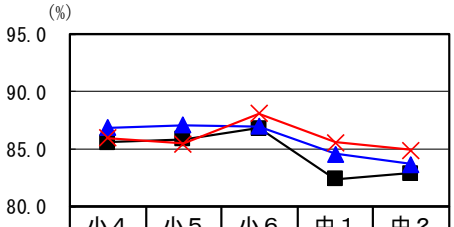
各学校においては、他者の多様な考えに触れることが、自分の考えを広げたり深めたりする上で役立つことを児童生徒が自覚できるよう、各教科等の特質に応じて、話し合う場面を適切に設定していることがうかがえる。

［４－４］　ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う

	①	②	③	④
小４	43.7	41.9	11.9	2.5
小５	43.5	42.4	11.7	2.4
小６	44.4	42.4	10.9	2.4
中１	34.9	47.5	15.3	2.4
中２	35.2	47.7	14.7	2.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R6	85.6	85.9	86.8	82.4	82.9
R5	86.9	87.1	87.0	84.6	83.7
R4	86.0	85.5	88.1	85.6	84.9
R6全国調査	小6…秋田県88.2（全国80.8）中3…秋田県84.7（全国77.9）				

全ての学年で、肯定的な回答の割合が82%以上である。

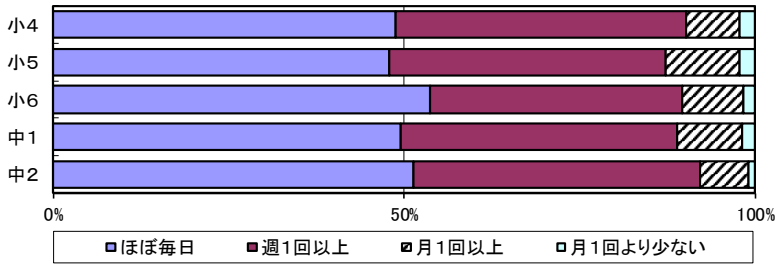
各学校においては、教師が児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、児童生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにするなど、自らの学習を振り返って次の学習につなげることができるようにしている様子がうかがえる。

⑦　ＩＣＴ活用の状況について

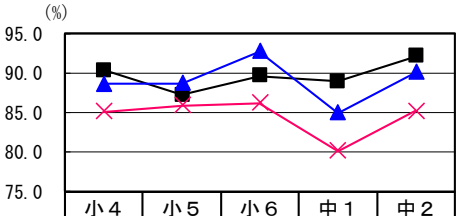
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……「ほぼ毎日」「週１回以上」を合わせた割合の経年比較

［５－１］　ふだんの授業では、コンピュータなどのＩＣＴ機器をどのくらい使用していますか

	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回より少ない
小４	48.8	41.5	7.6	2.2
小５	47.9	39.3	10.7	2.1
小６	53.7	35.9	8.6	1.7
中１	49.6	39.3	9.3	1.8
中２	51.3	40.8	6.9	1.0



「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合

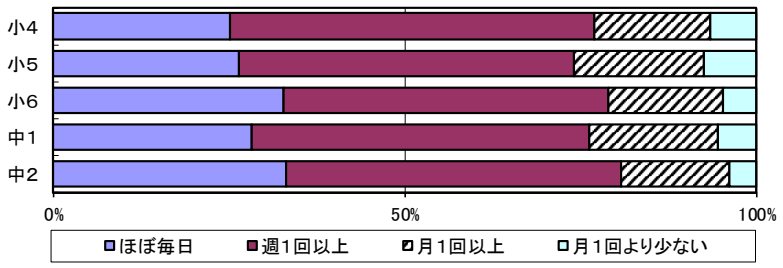


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	90.3	87.2	89.6	88.9	92.1
R5	88.6	88.7	92.7	84.9	90.1
R4	85.1	85.9	86.2	80.1	85.2
R6全国調査	小6…秋田県86.5(全国85.5)　中3…秋田県90.0(全国89.0)				

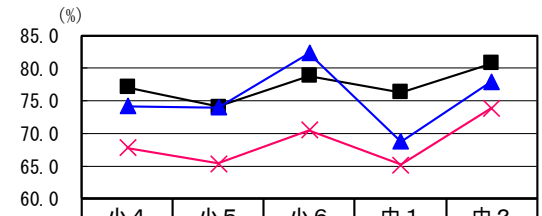
普段の授業で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を週１回以上使用していると回答した割合は、小学校では87%以上、中学校では88%以上である。小学校第４学年及び中学校においては、この３年間で最も高い数値となっている。

［５－２］　あなたは、学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使用していますか

	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回より少ない
小４	25.2	51.9	16.5	6.5
小５	26.4	47.7	18.5	7.5
小６	32.7	46.2	16.3	4.8
中１	28.2	48.1	18.2	5.5
中２	33.2	47.6	15.4	3.8



「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
R6	77.1	74.1	78.9	76.3	80.8
R5	74.2	74.0	82.4	68.8	78.0
R4	67.8	65.4	70.5	65.2	73.9

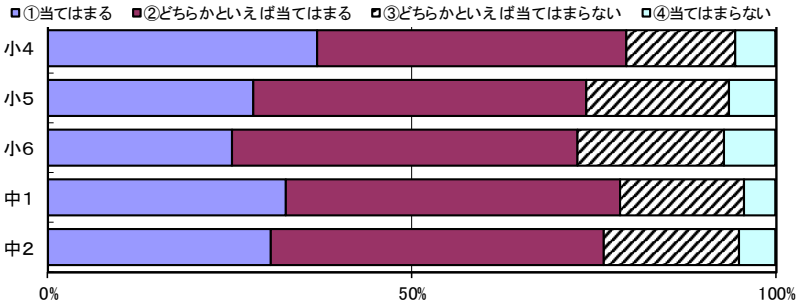
学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、週１回以上使用していると回答した割合は、全ての学年で74%以上である。小学校第４学年と第５学年及び中学校においては、この３年間で最も高い数値となっている。

⑧　各教科等の学習に対する意識について

［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	36.9	42.5	15.0	5.6
小５	28.2	45.7	19.7	6.4
小６	25.2	47.5	20.1	7.1
中１	32.6	46.0	17.0	4.4
中２	30.6	45.8	18.6	5.0

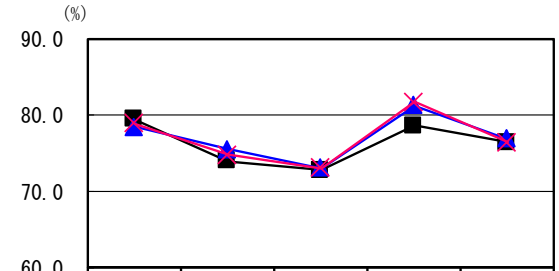


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	18.9%	17.0%	14.6%	17.5%	18.6%
	② 分かりやすい	15.6%	12.2%	11.8%	15.2%	15.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.9%	13.2%	16.5%	15.3%	14.5%
	④ 生活の中で役立つ	7.4%	8.4%	8.1%	6.8%	6.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	15.0%	12.5%	12.3%	13.0%	10.7%
	⑥ 得意	8.0%	7.1%	6.3%	7.6%	7.5%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.8%	5.3%	6.7%	5.9%	7.5%
	⑧ 分かりにくい	4.3%	4.9%	3.5%	2.8%	2.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどう	2.5%	3.2%	3.6%	2.8%	2.9%
	⑫ 不得意	8.7%	11.3%	12.2%	8.6%	8.9%
	⑬ その他	4.5%	4.2%	4.0%	4.0%	4.4%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

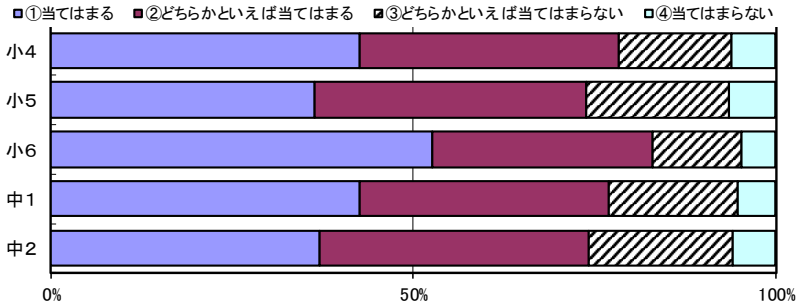


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	79.4	73.9	72.7	78.6	76.4
R5	78.4	75.5	73.0	81.2	76.8
R4	78.8	74.7	73.0	81.7	76.4

小学校では72%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小学校第６学年では「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、小学校第４学年と第５学年及び中学校においては、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、小・中学校とも、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	42.5	35.9	15.4	6.2
小５	36.4	37.5	19.6	6.5
小６	52.7	30.3	12.4	4.7
中１	42.5	34.5	17.8	5.2
中２	37.1	37.0	19.8	6.0

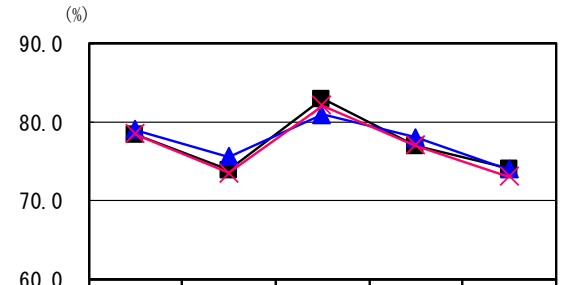


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	17.2%	17.6%	39.4%	33.2%	33.5%
	② 分かりやすい	10.3%	9.4%	7.5%	10.5%	10.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	25.4%	25.8%	12.6%	10.1%	9.8%
	④ 生活の中で役立つ	8.1%	6.0%	2.1%	2.2%	2.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	9.7%	8.8%	13.0%	13.4%	9.6%
	⑥ 得意	5.9%	4.7%	6.5%	4.9%	5.5%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	4.5%	5.1%	3.5%	4.4%	6.2%
	⑧ 分かりにくい	4.9%	5.2%	3.8%	3.5%	4.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.5%	0.3%	0.6%	0.9%	1.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.4%	0.5%	0.9%
	⑪ 考えるのがめんどう	2.2%	2.4%	1.4%	1.4%	1.8%
	⑫ 不得意	8.1%	11.8%	6.6%	11.8%	10.5%
	⑬ その他	3.1%	2.5%	2.7%	3.0%	3.5%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

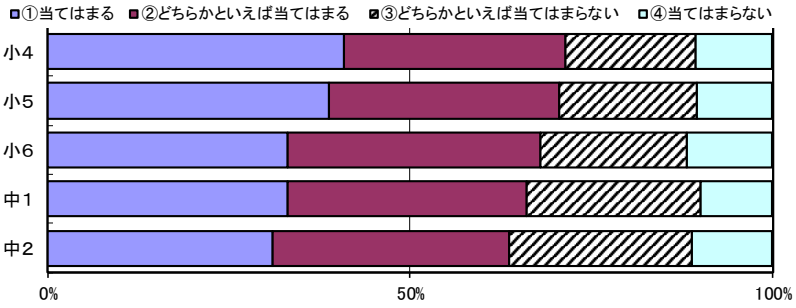


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	78.4	73.9	83.0	77.0	74.1
R5	79.1	75.6	81.0	78.1	74.0
R4	78.5	73.5	82.1	77.1	73.1

小学校では73%以上、中学校では74%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小学校第４学年と第５学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、小学校第６学年及び中学校においては、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、全ての学年において、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	40.9	30.5	17.9	10.6
小５	38.8	31.8	19.1	10.4
小６	33.0	34.9	20.2	11.8
中１	33.1	33.0	24.0	10.0
中２	31.1	32.6	25.2	11.1

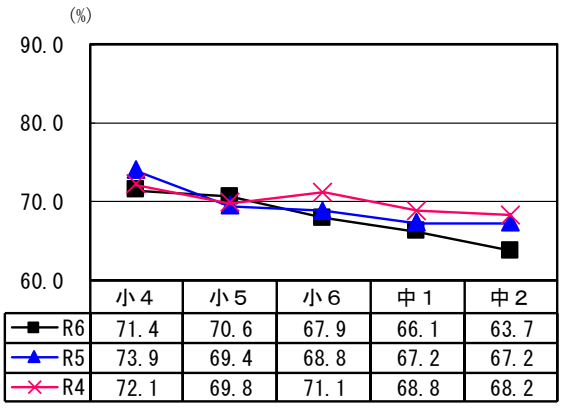


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	8.5%	8.2%	5.8%	8.2%	8.1%
	② 分かりやすい	10.3%	8.8%	7.9%	8.9%	9.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.1%	13.5%	17.4%	13.3%	10.8%
	④ 生活の中で役立つ	12.0%	9.7%	10.5%	7.1%	5.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	14.8%	16.5%	15.0%	16.8%	19.6%
	⑥ 得意	12.9%	12.2%	9.9%	9.8%	8.1%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.0%	2.5%	3.2%	2.6%	3.5%
	⑧ 分かりにくい	8.7%	6.6%	5.9%	5.9%	5.4%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.2%	0.2%	0.7%	0.9%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%	0.7%
	⑪ 考えるのがめんどう	4.3%	4.7%	5.6%	4.5%	4.9%
	⑫ 不得意	12.2%	14.5%	16.1%	19.1%	20.3%
	⑬ その他	2.8%	2.6%	2.3%	2.7%	2.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

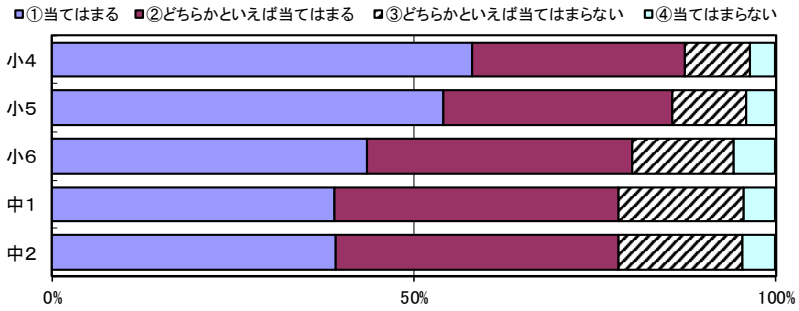


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	71.4	70.6	67.9	66.1	63.7
R5	73.9	69.4	68.8	67.2	67.2
R4	72.1	69.8	71.1	68.8	68.2

小学校では67%以上、中学校では63%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第４学年と第６学年及び中学校においては、この３年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「将来、社会に出たときに役立つ」「考えるのが楽しい」の割合が高い。一方、「得意」の割合は、学年が上がるに従って減少しており、小学校第５学年と第６学年及び中学校においては、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	58.1	29.4	8.9	3.6
小５	54.1	31.7	10.2	4.0
小６	43.5	36.7	14.0	5.8
中１	39.1	39.3	17.2	4.5
中２	39.2	39.1	17.2	4.5

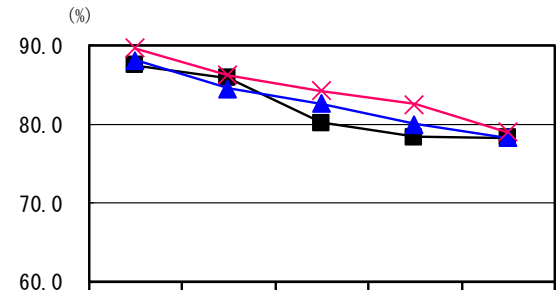


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	26.2%	29.9%	26.9%	29.7%	29.6%
	② 分かりやすい	11.1%	10.6%	9.7%	7.9%	10.1%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.6%	3.7%	4.7%	4.4%	4.4%
	④ 生活の中で役立つ	8.9%	7.1%	7.6%	7.7%	8.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	21.9%	21.3%	19.8%	19.1%	17.1%
	⑥ 得意	11.6%	10.2%	8.4%	7.0%	6.3%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.1%	2.6%	5.2%	3.5%	3.8%
	⑧ 分かりにくい	3.0%	3.0%	3.6%	4.1%	4.5%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.5%	0.7%	1.3%	1.5%	1.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.4%	1.3%	1.8%	1.6%	1.9%
	⑫ 不得意	4.2%	4.8%	6.1%	9.5%	9.3%
	⑬ その他	4.4%	4.1%	4.1%	3.5%	3.2%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

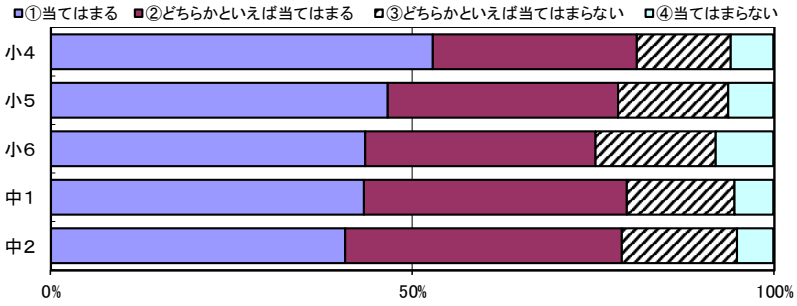


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	87.5	85.8	80.2	78.4	78.3
R5	88.1	84.5	82.6	80.0	78.3
R4	89.6	86.2	84.2	82.5	79.0

小学校では80%以上、中学校では78%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている。一方、「得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って低くなっており、中学校では「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	52.9	28.2	13.0	5.9
小５	46.6	31.8	15.2	6.4
小６	43.5	31.8	16.7	8.0
中１	43.3	36.3	15.0	5.4
中２	40.7	38.3	15.9	5.1

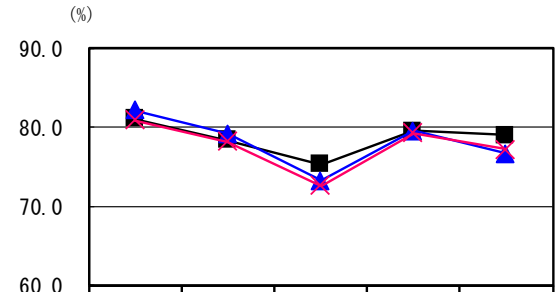


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	21.8%	23.7%	23.3%	31.6%	35.1%
	② 分かりやすい	13.2%	11.6%	10.7%	10.3%	8.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.0%	1.5%	1.7%	1.4%	1.3%
	④ 生活の中で役立つ	2.9%	2.3%	2.1%	2.0%	2.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	10.8%	11.2%	10.9%	13.7%	12.3%
	⑥ 得意	22.5%	20.3%	17.5%	13.3%	11.3%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.6%	4.1%	5.4%	5.6%	5.9%
	⑧ 分かりにくい	2.7%	2.5%	2.0%	0.8%	1.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	1.4%	2.2%	2.8%	3.1%	3.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	1.0%	1.2%	1.7%	1.5%	1.6%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.9%	0.7%	0.4%	0.8%	0.8%
	⑫ 不得意	8.1%	9.4%	11.5%	7.4%	7.4%
	⑬ その他	9.1%	9.2%	10.1%	8.4%	9.2%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

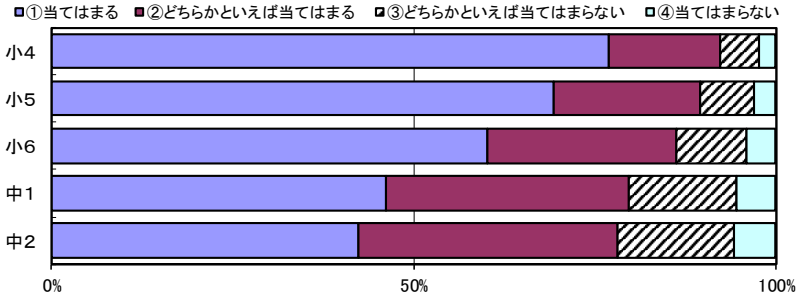


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	81.1	78.4	75.3	79.6	79.0
R5	82.2	79.2	73.3	79.6	76.7
R4	80.9	78.2	72.6	79.3	77.2

小学校では75%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」の割合が高くなっている一方で、学年が上がるに従って「得意」の割合が減少している。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	76.8	15.4	5.3	2.4
小５	69.4	20.1	7.5	3.0
小６	60.1	26.1	9.7	4.1
中１	46.2	33.5	14.8	5.5
中２	42.3	35.8	16.1	5.8

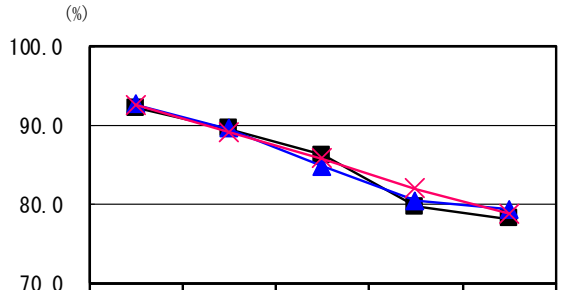


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	22.8%	24.5%	24.6%	27.7%	27.3%
	② 分かりやすい	5.3%	4.2%	4.2%	5.9%	5.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.1%	1.7%	1.6%	1.6%	1.4%
	④ 生活の中で役立つ	3.1%	3.0%	2.8%	2.2%	1.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	25.6%	29.9%	29.7%	23.0%	25.3%
	⑥ 得意	28.4%	22.3%	18.8%	13.9%	11.7%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.0%	1.2%	2.4%	4.0%	4.8%
	⑧ 分かりにくい	0.4%	0.5%	0.3%	0.9%	0.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.7%	1.0%	2.3%	2.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.4%	0.7%	1.2%	1.3%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.6%	0.9%	1.2%	0.9%	1.3%
	⑫ 不得意	4.3%	6.2%	7.7%	10.1%	9.9%
	⑬ その他	5.5%	4.6%	5.1%	6.3%	6.6%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

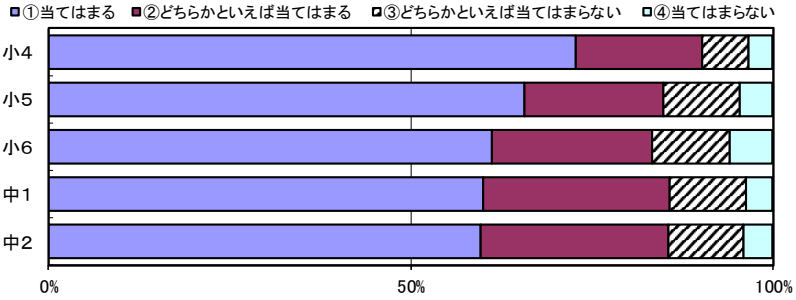


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	92.2	89.5	86.2	79.7	78.1
R5	92.6	89.5	84.7	80.4	79.3
R4	92.5	89.1	85.7	81.9	78.8

小学校では86%以上、中学校では78%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている一方で、学年が上がるに従って「得意」の割合が減少している。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	72.8	17.4	6.5	3.3
小５	65.7	19.1	10.6	4.5
小６	61.2	22.1	10.7	6.0
中１	60.0	25.9	10.4	3.8
中２	59.6	26.0	10.3	4.1

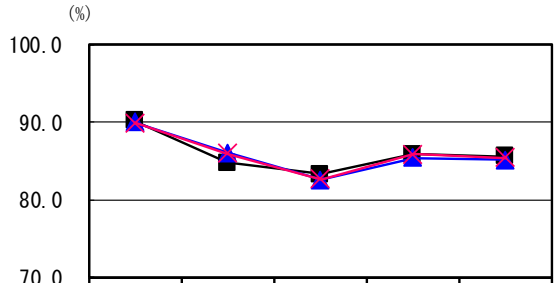


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	19.8%	21.8%	23.0%	25.4%	27.7%
	② 分かりやすい	5.5%	4.5%	4.4%	5.3%	4.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.4%	4.0%	4.3%	5.2%	4.3%
	④ 生活の中で役立つ	8.1%	5.3%	6.1%	7.0%	6.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.7%	4.5%	3.9%	6.7%	6.2%
	⑥ 得意	40.3%	36.9%	33.6%	29.8%	29.1%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.0%	1.2%	1.7%	1.6%	1.6%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.5%	0.9%	0.7%	0.6%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%
	⑫ 不得意	7.0%	11.5%	12.7%	10.5%	11.0%
	⑬ その他	9.0%	8.7%	8.8%	7.0%	7.8%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

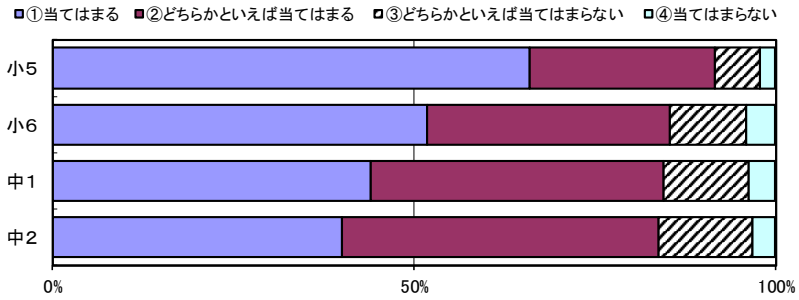


	小４	小５	小６	中１	中２
R6	90.2	84.8	83.3	85.9	85.6
R5	90.0	86.1	82.6	85.4	85.1
R4	89.9	86.0	82.7	85.9	85.4

小学校では83%以上、中学校では85%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「得意」の割合が高くなっている。「得意」の数値は中学校よりも小学校の方が、「内容に興味がある」の数値は小学校よりも中学校の方が高い。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小５	66.0	25.5	6.3	2.1
小６	51.8	33.6	10.5	4.1
中１	44.1	40.5	11.7	3.8
中２	40.1	43.8	12.9	3.2

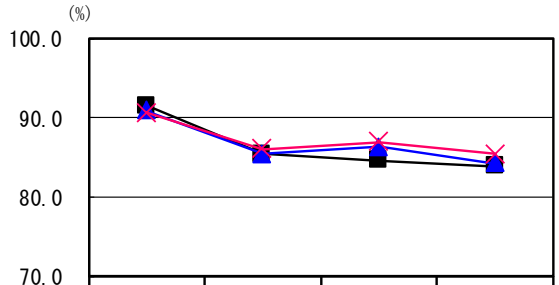


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	17.8%	14.5%	20.3%	19.8%
	② 分かりやすい	4.7%	4.0%	5.7%	4.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	19.6%	20.1%	17.1%	19.1%
	④ 生活の中で役立つ	27.9%	28.9%	20.3%	21.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	5.7%	4.5%	10.0%	8.7%
	⑥ 得意	13.6%	11.1%	8.2%	7.2%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.5%	3.7%	5.0%	5.9%
	⑧ 分かりにくい	1.2%	1.6%	1.5%	1.4%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.4%	0.8%	1.2%	1.5%
	⑫ 不得意	4.3%	7.5%	6.1%	6.2%
	⑬ その他	3.1%	3.0%	3.9%	3.2%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

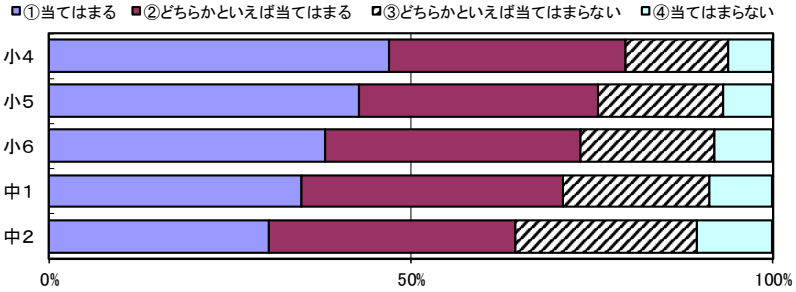


	小５	小６	中１	中２
R6	91.5	85.4	84.6	83.9
R5	90.9	85.4	86.3	84.3
R4	90.6	86.1	87.0	85.4

小学校では85%以上、中学校では83%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示しているものの、中学校においては、この３年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「将来、社会に出たときに役立つ」「生活の中で役立つ」の割合が高くなっている。

【外国語活動、外国語】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	47.0	32.7	14.2	6.1
小５	42.8	33.2	17.2	6.9
小６	38.2	35.3	18.4	8.1
中１	34.9	36.0	20.2	8.8
中２	30.3	34.2	25.1	10.4

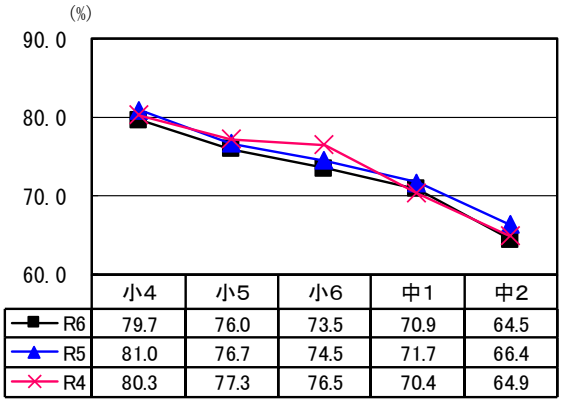


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	13.5%	11.8%	10.8%	10.0%	9.5%
	② 分かりやすい	10.5%	7.8%	6.4%	7.5%	6.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	22.8%	26.6%	31.5%	28.8%	29.2%
	④ 生活の中で役立つ	7.5%	5.6%	5.1%	4.7%	4.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	12.8%	11.0%	7.7%	8.1%	6.1%
	⑥ 得意	8.3%	9.3%	8.7%	9.3%	6.7%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.2%	3.1%	5.0%	3.1%	3.4%
	⑧ 分かりにくい	6.9%	6.9%	6.2%	5.6%	6.4%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.4%	0.6%	0.6%	0.8%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.4%	0.7%	0.6%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.3%	2.1%	1.7%	1.7%	2.4%
	⑫ 不得意	7.4%	9.9%	11.2%	16.9%	21.0%
	⑬ その他	5.3%	5.1%	4.4%	3.2%	3.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



	小4	小5	小6	中1	中2
R6	79.7	76.0	73.5	70.9	64.5
R5	81.0	76.7	74.5	71.7	66.4
R4	80.3	77.3	76.5	70.4	64.9

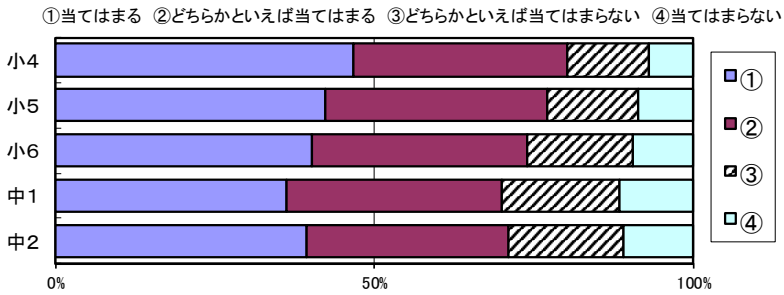
小学校では73%以上、中学校では64%以上が肯定的な回答をしているが、小学校及び中学校第２学年においては、この３年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。一方、学年が上がるに従って「不得意」の割合が増加している。

⑨　読書について

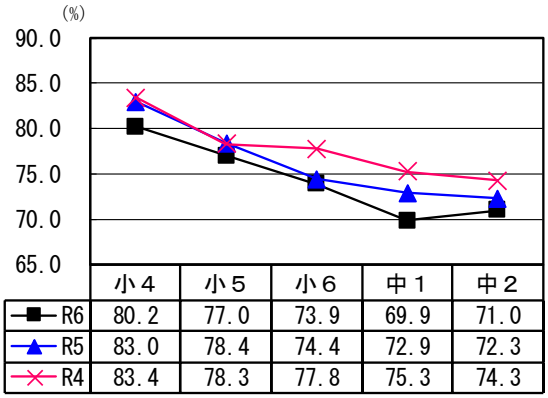
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［読書は好きだ］

	①	②	③	④
小4	46.6	33.6	12.7	7.0
小5	42.4	34.6	14.3	8.7
小6	40.2	33.7	16.6	9.5
中1	36.3	33.6	18.6	11.5
中2	39.3	31.7	18.0	11.0



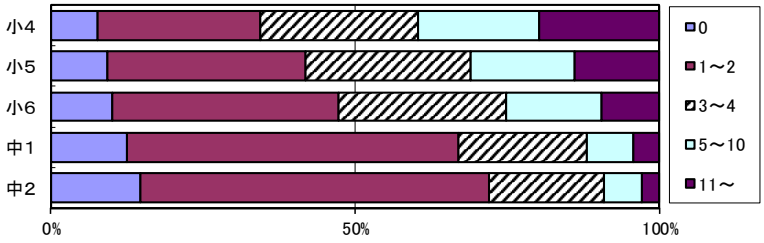
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



	小４	小５	小６	中１	中２
R6	80.2	77.0	73.9	69.9	71.0
R5	83.0	78.4	74.4	72.9	72.3
R4	83.4	78.3	77.8	75.3	74.3

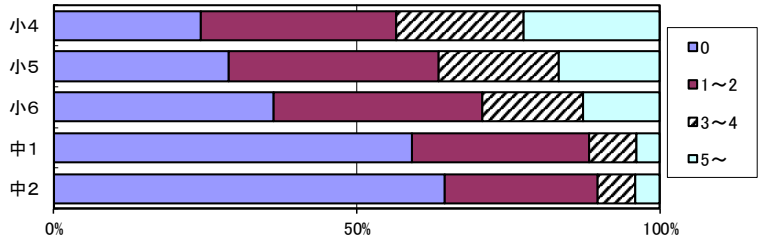
［１か月に何冊くらい本を読むか（教科書・学習参考書・漫画・雑誌や付録を除く）］

	0	1～2	3～4	5～10	11～
小4	7.6	26.8	25.9	19.9	19.8
小5	9.4	32.4	27.2	17.2	13.9
小6	10.2	37.0	27.7	15.5	9.6
中1	12.6	54.3	21.1	7.8	4.2
中2	14.7	57.2	18.9	6.3	2.9



［１か月に何回くらい図書館を利用するか］

	0	1～2	3～4	5～
小4	24.3	32.1	21.2	22.4
小5	28.9	34.5	19.8	16.7
小6	36.3	34.3	16.7	12.7
中1	59.1	29.3	7.7	3.9
中2	64.5	25.2	6.3	4.0



全ての学年において、児童生徒の69%以上が読書は好きだと回答しているものの、この３年間で最も低い数値となっている。また、全ての学年の児童生徒の85%以上が１か月に１冊以上の本を読んでおり、小学校では、１か月に５冊以上の本を読んでいる児童が25%以上いる。図書館等の利用回数について、月に１回以上利用している児童生徒は、小学校ではおよそ７割程度、中学校では４割程度である。

令和６年度
秋田県学習状況調査

４　結 果 と 考 察

(1) 国　語

(2) 社　会

(3) 算数、数学

(4) 理　科

(5) 英　語

4　結果と考察　(1)国語

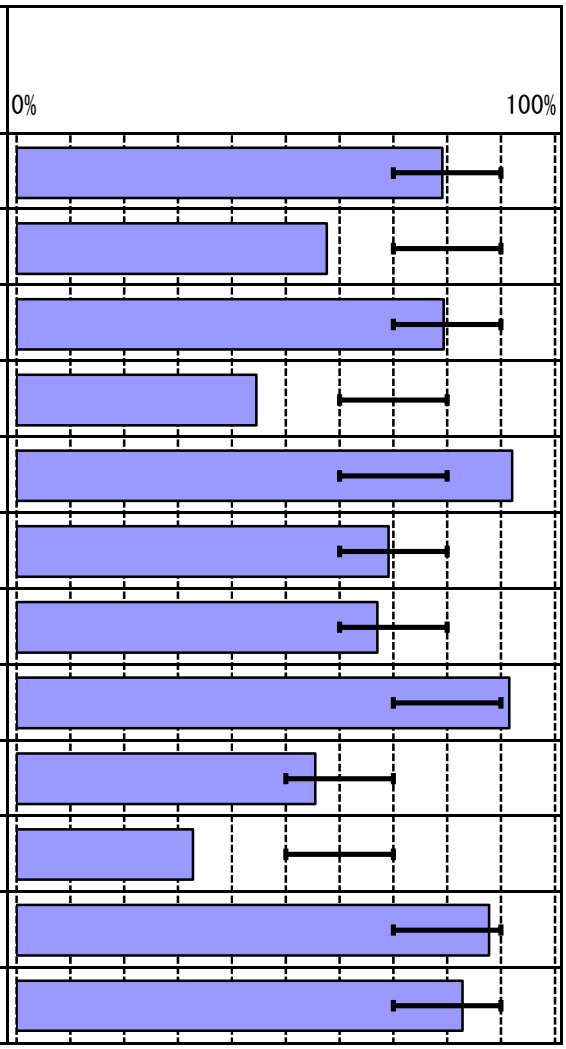
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第４学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	内容		評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第４学年	知識及び技能	(1)エ (3･4年)	・第４学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
			・第３学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	3)	○	
				4)	○	
		(1)カ (3･4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	5)	○	
		(3)イ (3･4年)	・ことわざの意味を理解している。	6)	○	
	思考力、判断力、表現力等	B(1)ウ (3･4年)	・「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。	12)		○
		C(1)イ (3･4年)	・「読むこと」において，登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述を基に捉えている。	7)		○
				8)		○
		C(1)エ (3･4年)	・「読むこと」において，登場人物の気持ちの変化について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	9)		○
				10)		○
				11)		○

小学校　４年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　69.9%

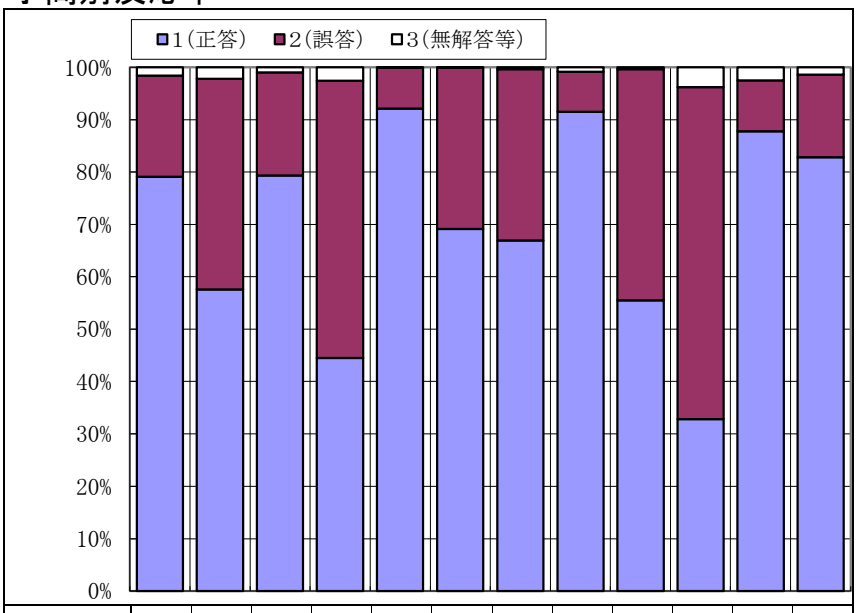
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（やしなう）	79.1	80.0
（2	漢字を読む（はつが）	57.6	80.0
（3	漢字を書く（口笛）	79.3	80.0
（4	漢字を書く（寒い）	44.5	70.0
（5	修飾と被修飾との関係	92.1	70.0
（6	ことわざの理解	69.1	70.0
（7	叙述を基に登場人物の行動や気持ちを捉える	67.0	70.0
（8	叙述を基に登場人物の行動や気持ちを捉える	91.5	80.0
（9	登場人物の気持ちの変化を捉える	55.5	60.0
（１０	登場人物の気持ちの変化を捉える	32.8	60.0
（１１	登場人物の気持ちの変化を捉える	87.8	80.0
（１２	地域の自慢とその理由について書く	82.8	80.0



※⊢―⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12
1 (正答)	79.1	57.6	79.3	44.5	92.1	69.1	67.0	91.5	55.5	32.8	87.8	82.8
2 (誤答)	19.3	40.3	19.7	52.9	7.8	30.8	32.7	7.6	44.1	63.3	9.7	15.8
3 (無解答等)	1.6	2.2	1.0	2.6	0.1	0.1	0.4	0.9	0.4	3.8	2.5	1.4

小問別通過率度数分布表（175校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	平均通過率
100%	17	1	20	3	42	10	5	49	7		39	35	
90%～100%	23	1	34	2	80	4	2	77	1	1	54	45	
80%～90%	47	11	40	10	43	20	21	39	3	1	54	38	22
70%～80%	41	26	35	13	7	52	47	8	10	2	24	29	65
60%～70%	27	33	26	17	3	59	54	2	43	8	2	16	72
50%～60%	12	43	15	26		23	34		59	12	1	8	16
40%～50%	5	29	4	31		5	10		35	24		2	
30%～40%	3	13	1	32		2	2		9	52	1	1	
20%～30%		11		29					5	50		1	
10%～20%		6		10					2	16			
0%～10%		1		2					1	9			

小学校４年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	内容別			計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
		書くこと	読むこと	
＋10％ より高い	1	0	1	2
±10％ の範囲内	3	1	3	7
－10％ より低い	2	0	1	3
計	6	1	5	１２

2　考察

(1) 全体について

12問中９問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔知識及び技能〕では、修飾と被修飾との関係を理解することについて、指導の成果が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、登場人物の行動や気持ちなどを、叙述を基に捉えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく読んだり、書いたりすることについて、課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習との関連を図りながら、漢字を文や文章の中で正しく読んだり、書いたりすることができるように指導の充実を図る。

・当該学年の前の学年に配当されている漢字を、文や文章の中で使う習慣を身に付けるようにすることが重要である。
・〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習との関連を図りながら、実際に漢字を書く機会を意図的に設定することが大切である。例えば、「書くこと」の学習との関連を図り、様子や行動、気持ちなどを表す語句を用いて書く活動を取り入れ、既習の漢字を用いるよう指導することが考えられる。

［参考　通し番号　2)］

1　次の①、②の文の―部の読みがなを、□の中にひらがなで書きなさい。

②　植物のたねが発芽した。

［参考　通し番号　4)］

2　次の①、②の文の―部を漢字に直して、□の中に書きなさい。

②　外はさむい。

登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるように指導の手立てを工夫する。

・登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の描写を結び付け、登場人物の気持ちの変化を具体的に想像することが大切である。また、「何が書かれているか」という内容面を扱うだけでなく、登場人物の行動や会話、場面の移り変わりを手掛かりに、児童が話したり書いたりして伝え合いながら想像を広げていくことが大切である。
・指導に当たっては、物語を読んで抱いた児童の思いや願いを把握し、単元を通して問いを立てながら、問題解決的な学習を展開していくことが大切である。その際、ＩＣＴを活用し、着目した叙述について吟味したり、個の考えを全体で共有したりすることが効果的である。

［参考　通し番号　9)］

3　ウサギの美月より―とありますが、つぼみさんはいつ美月さんがウサギであることに気づきましたか。最もふさわしいものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

〈選択肢は略〉

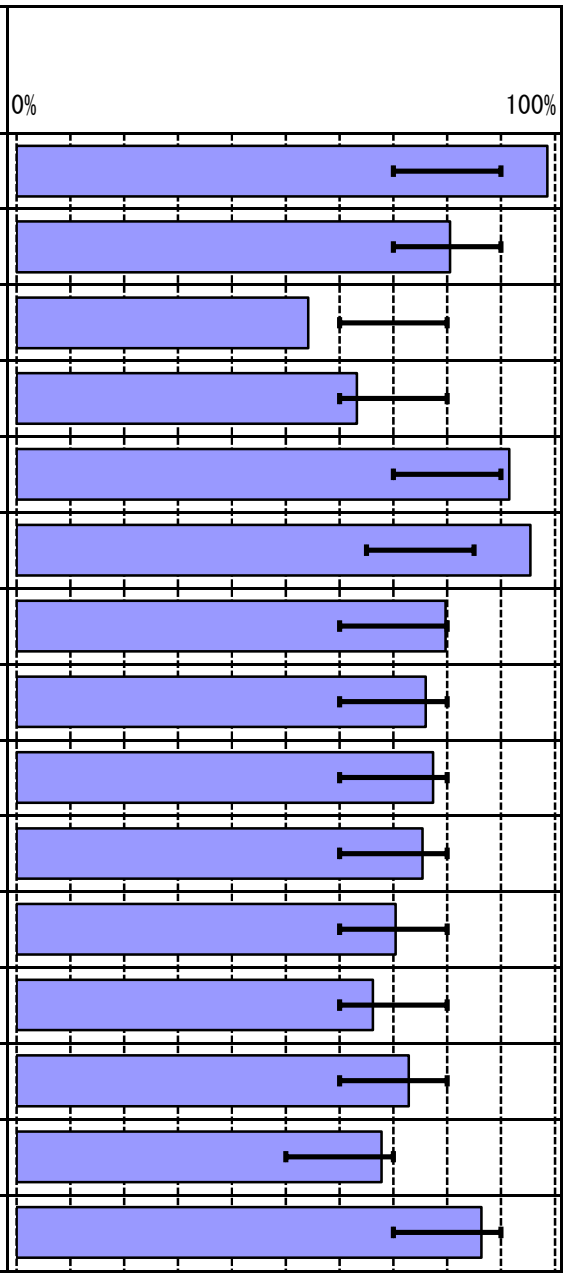
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	内容		評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第５学年	知識及び技能	(1)エ (5･6年)	・第５学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
			・第４学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	3)	○	
				4)	○	
		(1)エ (5･6年)	・漢字のもつ意味を考えて文の中で使っている。	5)	○	
		(1)カ (3･4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	6)	○	
		(2)イ (3･4年)	・国語辞典における見出し語の見付け方について理解している。	7)	○	
		(1)キ (5･6年)	・日常よく使われる敬語を理解している。	8)	○	
		(3)イ (3･4年)	・慣用句の意味を理解している。	9)	○	
	思考力、判断力、表現力等	A(1)ア (5･6年)	・「話すこと・聞くこと」において，目的や意図に応じて，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝える内容を検討している。	11)		○
		A(1)イ (5･6年)	・「話すこと・聞くこと」において，話の内容が明確になるように，事実と感想，意見とを区別するなど，話の構成を考えている。	10)		○
		B(1)ウ (5･6年)	・「書くこと」において，事実と感想，意見とを区別して書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	16)		○
		C(1)ア (5･6年)	・「読むこと」において，事実と感想，意見などとの関係を叙述を基に押さえ，文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。	13)		○
				14)		○
				15)		○
		C(1)ウ (5･6年)	・「読むこと」において，論の進め方について考えている。	12)		○

小学校　５年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　77.0%

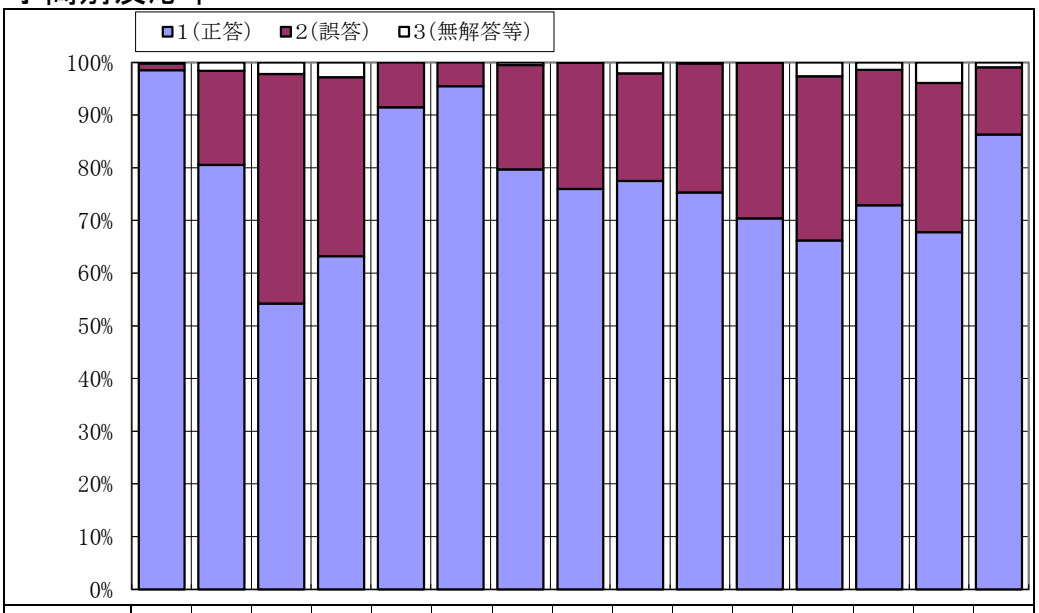
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（ひりょう）	98.6	80.0
（2	漢字を読む（たやさない）	80.5	80.0
（3	漢字を書く（徒歩）	54.2	70.0
（4	漢字を書く（浴びる）	63.2	70.0
（5	同音・同訓の語の使い分け	91.5	80.0
（6	修飾と被修飾との関係	95.5	75.0
（8	敬語	79.7	70.0
（9	慣用句	76.0	70.0
（１０	話全体の構成を考える	77.4	70.0
（１１	説明の意図を捉える	75.4	70.0
（１２	段落の役割を捉える	70.4	70.0
（１３	叙述を基に内容を捉える	66.2	70.0
（１４	叙述を基に内容を捉える	72.9	70.0
（１５	文章の要旨を捉える	67.8	60.0
（１６	心に残っている行事について説明する文章を書く	86.3	80.0



※ ⊢―⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16
1 (正答)	98.6	80.5	54.2	63.2	91.5	95.5	79.7	76.0	77.4	75.4	70.4	66.2	72.9	67.8	86.3
2 (誤答)	1.3	17.9	43.6	34.0	8.5	4.5	19.8	23.9	20.4	24.5	29.5	31.2	25.7	28.3	12.8
3 (無解答等)	0.2	1.6	2.2	2.8	0.0	0.0	0.5	0.1	2.1	0.2	0.1	2.6	1.4	3.9	0.9

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	平均通過率
100%	120	12	3	5	37	71	21	11	14	5	4	4	7	6	49	
90%～100%	55	30	1	5	68	84	18	14	15	13	3	6	7	11	47	5
80%～90%	1	66	6	10	59	19	61	46	46	47	36	17	43	33	46	52
70%～80%		42	21	34	10	1	45	57	53	56	55	43	54	42	14	99
60%～70%		14	35	57	1	1	22	39	31	35	35	54	38	36	8	17
50%～60%		8	37	25			7	5	10	11	30	28	18	20	7	1
40%～50%		2	30	21			2	3	4	3	10	17	5	12	1	2
30%～40%		1	24	11					1	2	1	5		7	2	
20%～30%			14	4						2	1		3	4	2	
10%～20%			3	1										2		
0%～10%		1	2	3	1			1	2	2	1	2	1	3		

小学校５年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	内容別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
＋10%より高い	3	0	0	0	3
±10%の範囲内	4	2	1	4	１１
－10%より低い	1	0	0	0	1
計	8	2	1	4	１５

2　考察

(1) 全体について

15問中14問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔知識及び技能〕では、日常よく使われる敬語を理解することについて、指導の成果が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「話すこと・聞くこと」では、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく書くことについて、課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習との関連を図りながら、漢字を文や文章の中で正しく書くことができるように指導の充実を図る。

・当該学年の前の学年に配当されている漢字について、字形に注意しながら繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で使う習慣を身に付けるようにすることが重要である。

・〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習との関連を図りながら、実際に漢字を書く機会を意図的に設定することが大切である。例えば、「書くこと」の学習との関連を図り、様子や行動、気持ちなどを表す語句を用いて書く活動を設定し、既習の漢字を用いるよう指導することが考えられる。

［参考　通し番号 3) 4)］

2　次の①、②の文の＿＿部を漢字に直して、□の中に書きなさい。

①　とほで通学する。

②　外に出て、日光をあびる。

叙述を基に、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて、要旨を把握できるように指導の工夫を図る。

・事実と感想、意見などとの関係を押さえるには、叙述に基づいて、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見をもっているのかなどに着目させることが大切である。

・指導に当たっては、〔知識及び技能〕の「話や文章の構成や展開」との関連を図ることが有効である。例えば、文章全体を俯瞰し、構成を捉えるために、事実と感想、意見などに着目して色分けする、表に整理する、段落の役割や段落相互の関係を図示するなどといった学習活動を通して指導することが考えられる。

［参考　通し番号 13)］

2　和室、洋室でのすごし方　とありますが、それぞれのよさについて、本文の内容を表に整理しました。□に当てはまる内容を、本文中から**十七字**でぬき出して書きなさい。

〈表は略〉

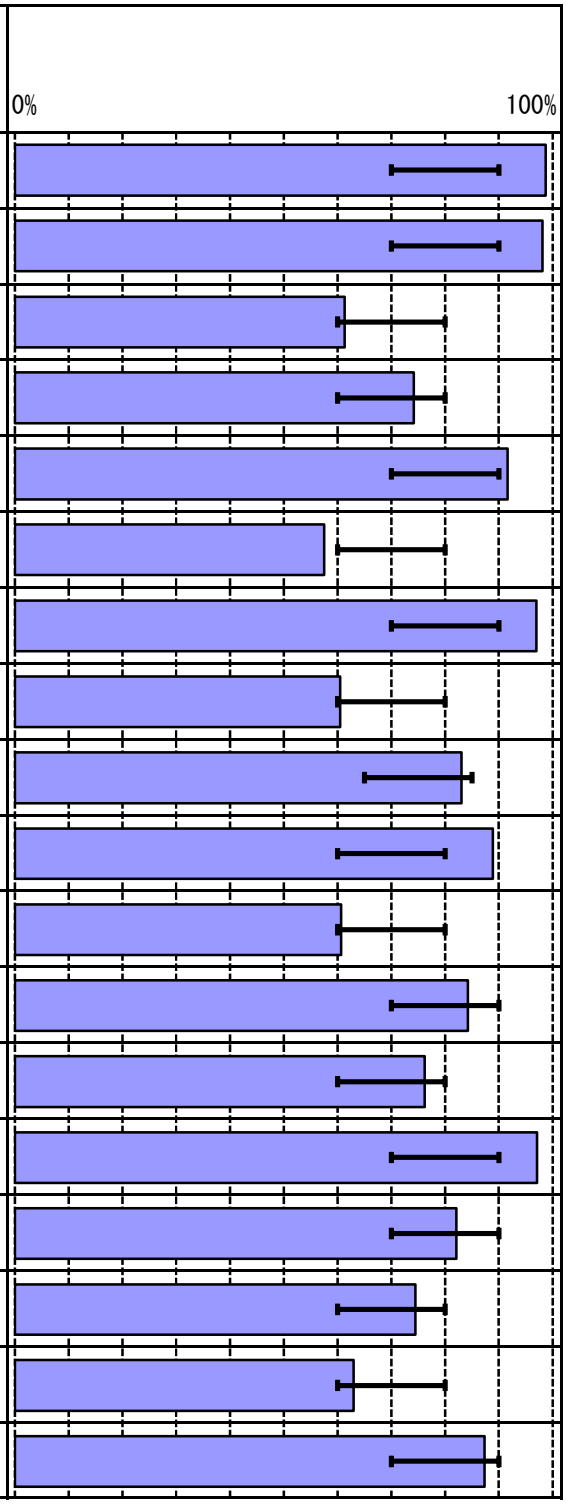
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	内容		評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第６学年	知識及び技能	(1)エ (5･6年)	・第６学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
			・第５学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	3)	○	
				4)	○	
		(1)ウ (5･6年)	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。	5)	○	
		(3)ウ (3･4年)	・漢字が，へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。	6)	○	
		(1)カ (5･6年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	7)	○	
		(3)イ (3･4年)	・慣用句の意味を理解している。	8)	○	
		(1)キ (5･6年)	・日常よく使われる敬語を理解している。	9)	○	
	思考力、判断力、表現力等	A(1)エ (5･6年)	・「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。	10)		○
		A(1)ウ (5･6年)	・「話すこと・聞くこと」において，資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	11)		○
		B(1)ウ (5･6年)	・「書くこと」において，事実と感想，意見とを区別して書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	18)		○
		C(1)オ (5･6年)	・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめている。	12)		○
				17)		○
		C(1)イ (5･6年)	・「読むこと」において，登場人物の相互関係や心情などについて，描写を基に捉えている。	13)		○
				14)		○
				15)		○
				16)		○

小学校　６年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　79.8%

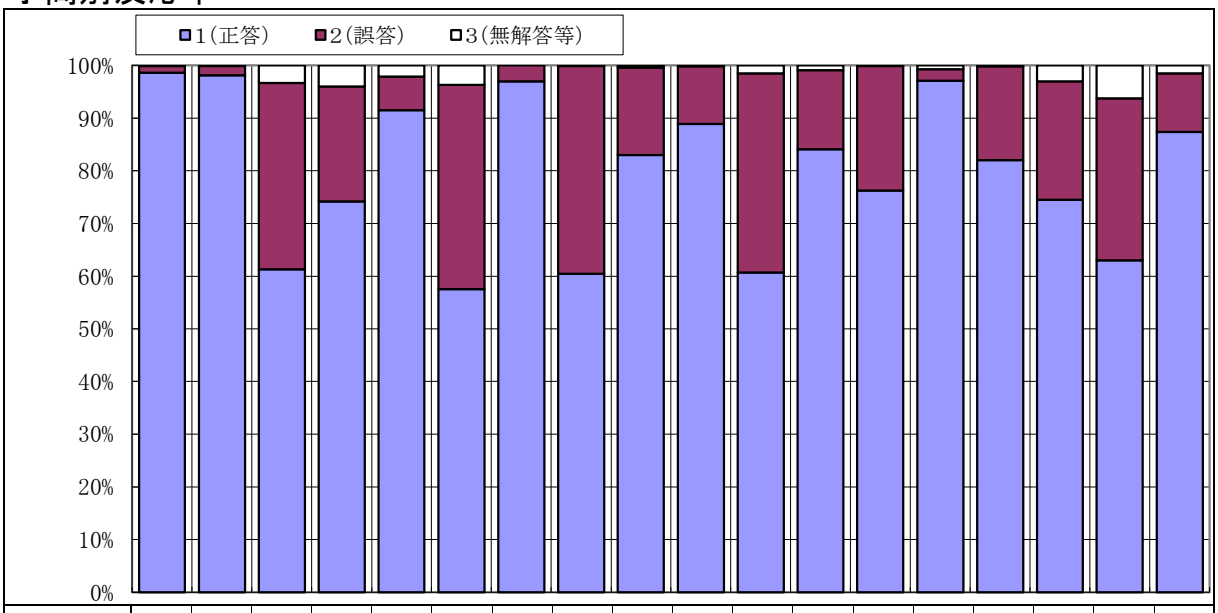
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（しゅうのう）	98.7	80.0
（2	漢字を読む（きざむ）	98.1	80.0
（3	漢字を書く（観測）	61.3	70.0
（4	漢字を書く（招く）	74.2	70.0
（5	送り仮名に気を付けて漢字を書く（支える）	91.6	80.0
（6	漢字の部首	57.5	70.0
（7	修飾と被修飾との関係	97.0	80.0
（8	慣用句	60.5	70.0
（9	敬語	83.0	75.0
（１０	話し方の工夫を捉える	88.9	70.0
（１１	資料の活用の意図を捉える	60.7	70.0
（１２	文章を読んで自分の考えをまとめる	84.2	80.0
（１３	描写を基に登場人物の心情を捉える	76.2	70.0
（１４	描写を基に登場人物の心情を捉える	97.1	80.0
（１５	描写を基に登場人物の心情を捉える	82.1	80.0
（１６	描写を基に登場人物の心情を捉える	74.5	70.0
（１７	文章を読んで自分の考えをまとめる	63.0	70.0
（１８	苦手なことなどに挑戦した体験について書く	87.3	80.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	98.7	98.1	61.3	74.2	91.6	57.5	97.0	60.5	83.0	88.9	60.7	84.2	76.2	97.1	82.1	74.5	63.0	87.3
2 (誤答)	1.3	1.8	35.4	21.8	6.4	38.8	3.0	39.5	16.6	10.9	37.8	15.0	23.6	2.2	17.8	22.5	30.8	11.1
3 (無解答等)	0.1	0.1	3.3	4.0	2.1	3.7	0.0	0.1	0.4	0.2	1.5	0.9	0.1	0.7	0.2	3.0	6.2	1.5

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	121	105	2	11	58	7	78	1	23	27	8	27	9	90	16	9	5	48	
90%～100%	54	64	1	17	65	11	90	1	42	61	5	35	10	76	22	12	2	50	8
80%～90%	1	6	15	43	40	26	6	13	52	74	18	72	40	9	79	45	26	48	85
70%～80%		1	30	49	9	22		31	46	10	25	31	75		50	58	38	14	76
60%～70%			48	31	3	26		46	10	3	39	9	27	1	8	37	39	9	7
50%～60%			44	17	1	24	2	45	2	1	38	2	9			13	33	6	
40%～50%			18	5		21		23	1		22		3		1	2	16	1	
30%～40%			8	1		15		12			15		2				7		
20%～30%			7	1		12		3			3		1				4		
10%～20%			1			6					3						4		
0%～10%			2	1		6		1									2		

小学校６年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	内容別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
＋10%より高い	4	1	0	1	6
±10%の範囲内	4	1	1	5	１１
－10%より低い	1	0	0	0	1
計	9	2	1	6	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔知識及び技能〕では、修飾と被修飾との関係の理解や日常よく使われる敬語について、指導の成果が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、登場人物の相互関係や心情などを描写を基に捉えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、慣用句の意味を理解することについて、課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

3　今後の指導

慣用句やことわざなどの長い間使われてきた言葉の意味の理解を深めるとともに、日常生活で活用しようとする意識を高める指導の工夫を図る。

・長い間使われてきた言葉が、身近な文章の中で用いられていることに気付き、これらの言葉に親しみや関心をもつことができるよう指導することが大切である。慣用句やことわざなどについて指導する際には、辞書等を活用して個々の語の意味を調べるだけではなく、文章の中から用例を見付けて紹介し合う活動を取り入れることが考えられる。

・慣用句やことわざを用いて、自分の経験や考えたことなどを話したり書いたりして表現する活動を取り入れることも有効である。学習活動を通して、これらの言葉を用いることのよさや利点に気付かせ、日常生活でも活用しようとする意識につなげることが大切である。

［参考　通し番号 8)］

6　次の慣用句の使い方として最もふさわしいものを、あとの**ア**～**エ**から一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

・息をのむ

〈**選択肢は略**〉

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の感想や考えをもつとともに、対話による学び合いの中で考えを深める学習活動を工夫する。

・文章を読んで自分の感想や考えをもつためには、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことを基に、既有の知識や理解した内容と結び付けて考えるなど、学習活動を工夫することが大切である。

・例えば、文章中の場面について、読み取ったことを基に音読の仕方を考える活動を取り入れることが考えられる。自分の考えた音読の仕方とその理由を伝え合う際は、着目した描写を明らかにして具体的に説明させるとともに、互いの考えの共通点や相違点を基に新たな気付きを得られるよう、明確な視点に沿って比較・検討させる活動を取り入れるなど、学び合いの充実を図ることが大切である。

［参考　通し番号 17)］

4　文章中の□で囲んだ部分の音読の仕方について、ゆいさんたちは意見交流をしました。次の**【意見交流の様子】**の（**X**）に当てはまる内容を、本文中から**九字**でぬき出して書きなさい。また、（**Y**）に当てはまる内容を**二十字以内**で書きなさい。

〈**【意見交流の様子】は略**〉

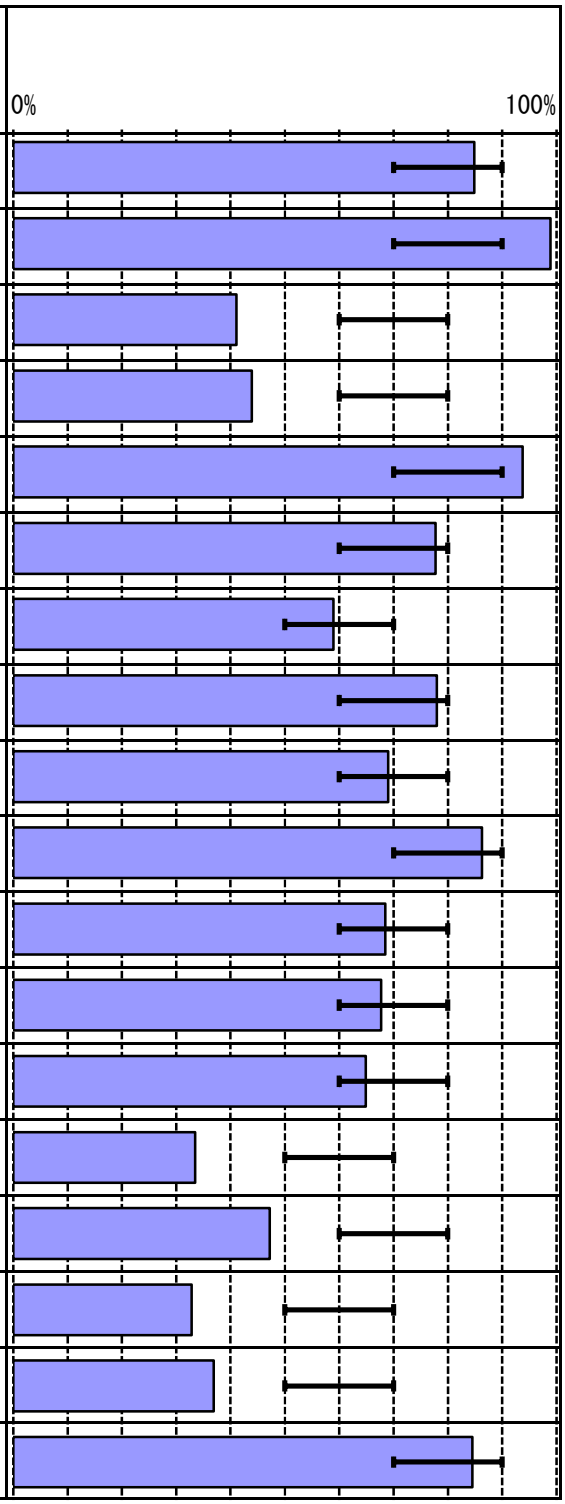
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	内容		評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第１学年	知識及び技能	(1)イ (中1)	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち３００字程度から４００字程度までの漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)	○	
				4)	○	
			・文脈に即して，漢字を適切に使っている。	5)	○	
		(1)オ (小5・6)	・熟語の構成について理解している。	6)	○	
		(1)カ (小3・4)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	7)	○	
		(1)エ (中1)	・文節の区切り方について理解している。	8)	○	
		(3)イ (小3・4)	・ことわざの意味を理解している。	9)	○	
		(1)キ (小5・6)	・日常よく使われる敬語を理解している。	10)	○	
	思考力、判断力、表現力等	A(1)エ (小5・6)	・「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や意図に応じて話の内容を捉えている。	11)		○
		A(1)オ (中1)	・「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	12)		○
		B(1)ウ (中1)	・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)		○
		C(1)エ (中1)	・「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。	13)		○
		C(1)ウ (中1)	・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。	14) 15) 16)		○ ○ ○
		C(1)オ (中1)	・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。	17)		○

中学校１年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　64.9%

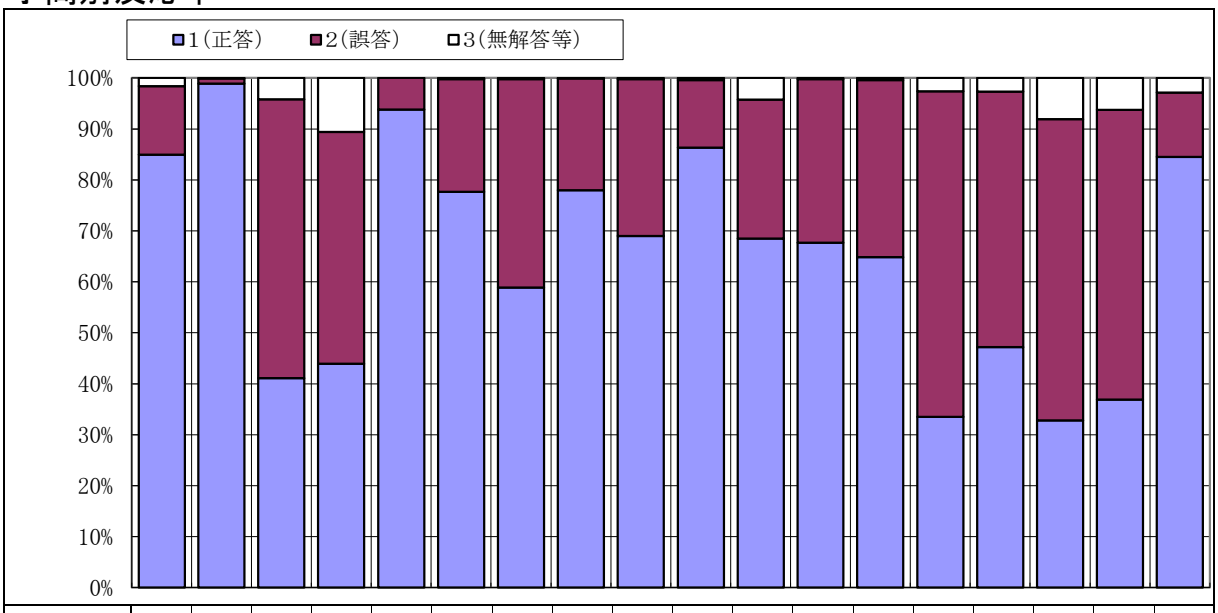
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（しゅくしゃく）	84.9	80.0
（2	漢字を読む（すじ）	98.9	80.0
（3	漢字を書く（補給）	41.1	70.0
（4	漢字を書く（預ける）	43.9	70.0
（5	同じ音をもつ熟語	93.8	80.0
（6	熟語の構成	77.7	70.0
（7	修飾・被修飾の関係	58.9	60.0
（8	文節	78.0	70.0
（9	ことわざの意味	69.0	70.0
（１０	敬語	86.3	80.0
（１１	目的を踏まえて自分の考えをまとめる	68.5	70.0
（１２	話し合いの進め方	67.7	70.0
（１３	段落の役割を捉える	64.9	70.0
（１４	文章の内容を捉える	33.5	60.0
（１５	文章の内容を捉える	47.2	70.0
（１６	文章の内容を捉える	32.8	60.0
（１７	文章を基に自分の考えをまとめる	36.9	60.0
（１８	テーマについて経験と関連付けて書く	84.5	80.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	84.9	98.9	41.1	43.9	93.8	77.7	58.9	78.0	69.0	86.3	68.5	67.7	64.9	33.5	47.2	32.8	36.9	84.5
2 (誤答)	13.5	1.0	54.7	45.5	6.2	22.1	40.9	21.9	30.8	13.3	27.2	32.1	34.8	63.9	50.2	59.1	56.8	12.6
3 (無解答等)	1.6	0.1	4.2	10.6	0.0	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	4.3	0.2	0.4	2.6	2.7	8.1	6.3	2.9

小問別通過率度数分布表（105校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	10	62	1		19	4	2	4		9	2	3	1				1	15	
90%～100%	30	43		1	77	12		16	1	29	5	3	1				1	30	
80%～90%	41			1	8	41	4	45	19	47	16	9	9	1			5	35	1
70%～80%	16		2	2	1	26	13	26	31	18	32	30	24	1	2		7	16	17
60%～70%	8		4	8		13	33	7	39	1	32	41	41	3	12	2	6	4	71
50%～60%			17	22		8	31	2	13	1	14	17	27	3	30	9	13	2	15
40%～50%			33	25			21	4			2	1	1	13	43	11	9	2	1
30%～40%			33	26				1	1		1			46	15	49	28	1	
20%～30%			13	13			1							30	1	24	17		
10%～20%			2	4										7		8	17		
0%～10%				3		1			1		1	1	1	1	2	2	1		

中学校１年　国語　調査結果の考察

１　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	内容別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
＋10%より高い	2	0	0	0	2
±10%の範囲内	6	2	1	1	１０
－10%より低い	2	0	0	4	6
計	１０	2	1	5	１８

２　考察

(1) 全体について

18問中６問が設定通過率の「－10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。

(2) 成果

〔知識及び技能〕では、文脈に即して漢字を適切に使うことや日常よく使われる敬語を理解することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、修飾と被修飾との関係を理解することについて、課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することについて、課題が見られる。

３　今後の指導

文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるよう、〔思考力・判断力・表現力等〕の各領域の学習との関連を図った指導の充実を図る。

・修飾語には動きを表す語句を詳しくする場合と、ものや人などを詳しくする場合があることを理解できるようにすることが大切である。そのためには、修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句に係るのかを明確に捉えたりする学習が効果的である。また、修飾語は離れた語句を修飾する場合もあることを理解できるようにすることも必要である。

・〔思考力、判断力、表現力等〕の「書くこと」の指導事項などとの関連を図り、自分が書いた文章を読み返す際に、読み手の立場に立って修飾と被修飾の関係など、言葉の使い方を確認する活動を通して習熟を図ることも考えられる。

［参考　通し番号 7)］

2　次の文の ‖ 部の言葉は、どの言葉に係っていますか。次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号を書きなさい。

・私は、昨日、自分の **ア** 部屋で **イ** 祖父に **ウ** 手紙を **エ** 書いた。

文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて、叙述を基に捉え、要旨を把握するための学習活動を工夫する。

・指導に当たっては、「中心となる事柄」を把握するために、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見をもっているのかなどに着目して、事実と感想、意見との関係を押さえ、文章全体の構成を捉えることができるようにすることが重要である。その際、キーワードやキーセンテンスに傍線を引くなどして、捉えた要旨が文章中のどの叙述に着目したものかを自覚できるようにするといった工夫が考えられる。

［参考　通し番号 16)］

4　あきらさんとのぞみさんは、本文の内容について話し合いました。これを読んで、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

〈話し合いの様子は略〉

(1) **A** に当てはまる内容を、本文中から**五字**で抜き書きしなさい。

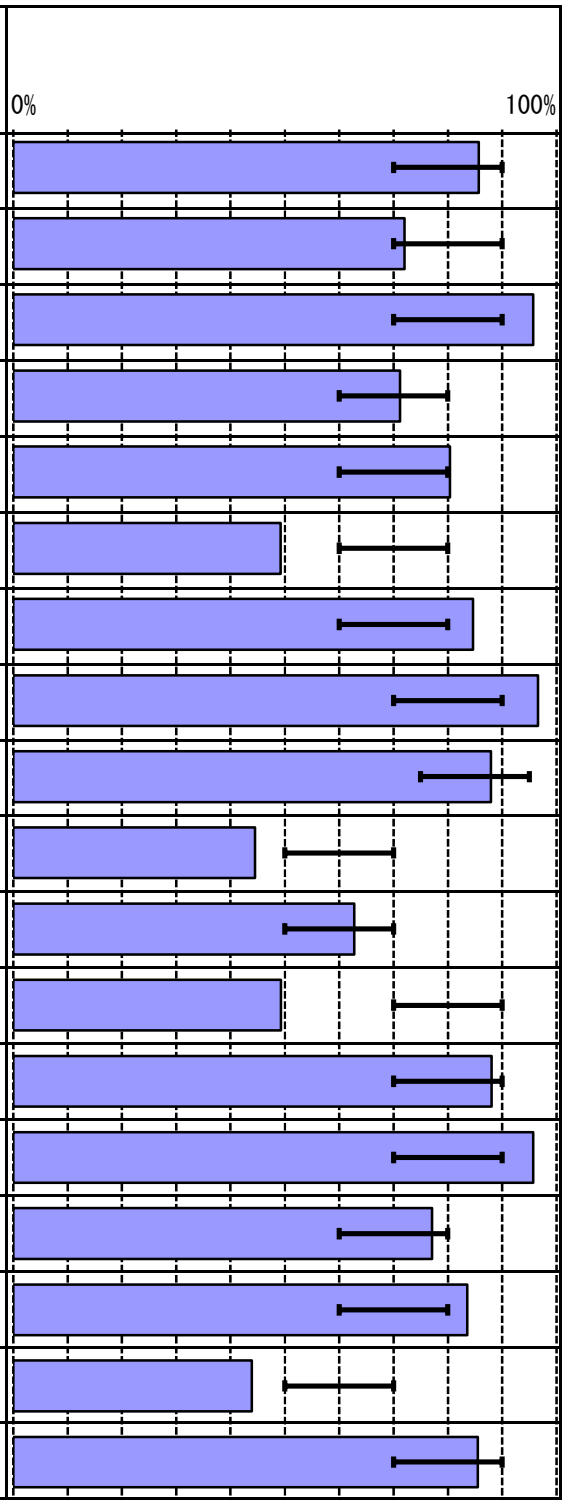
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	内容		評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第２学年	知識及び技能	(1)ウ (中2)	・中学校第１学年までに学習した常用漢字を正しく読んでいる。	4)	○	
				5)	○	
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)	○	
				7)	○	
		(1)エ (中2)	・同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使っている。	8)	○	
		(1)キ (小5・6中2)	・日常よく使われる敬語を理解している。	9)	○	
		(1)エ (中1)	・単語の類別について理解している。	10)	○	
		(1)オ (中2)	・単語の活用などの働きについて理解している。	11)	○	
		(3)ア (中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	12)	○	
	思考力、判断力、表現力等	A(1)エ (中2)	・「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。	1)		○
				2)		○
				3)		○
		B(1)ウ (中2)	・「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)		○
		C(1)ウ (中1)	・「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付け，内容を解釈している。	13)		○
				17)		○
		C(1)イ (中2)	・「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈している。	14)		○
				16)		○
		C(1)エ (中2)	・「読むこと」において，表現の効果について考えている。	15)		○

中学校２年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　75.2%

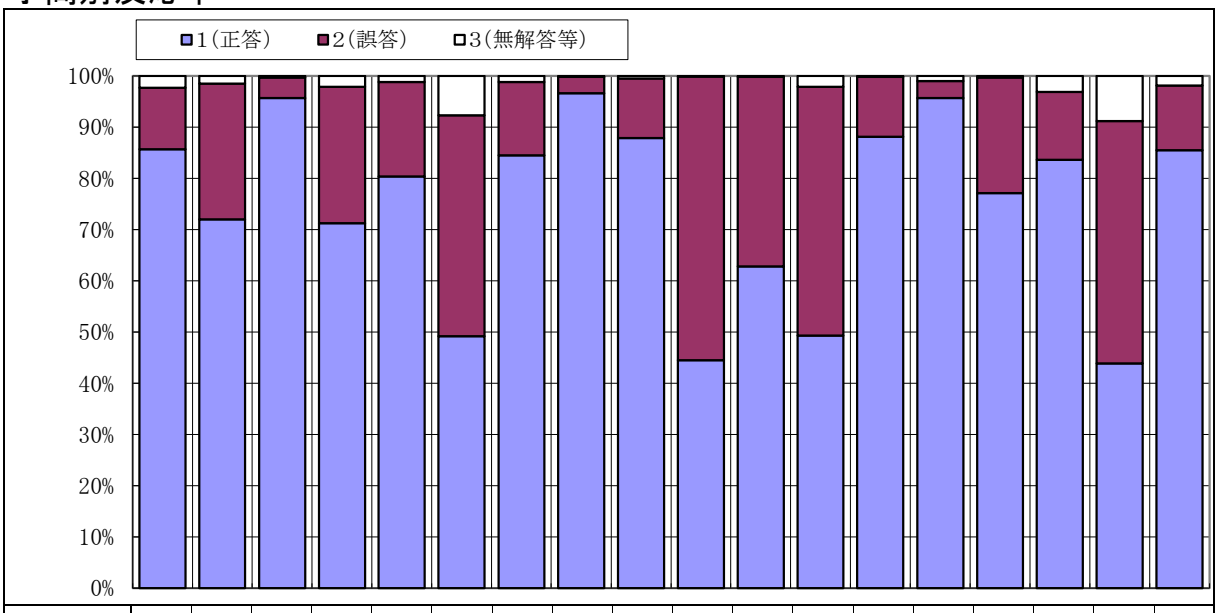
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	話の内容を捉える	85.7	80.0
（2	話の内容を捉える	72.0	80.0
（3	進行の仕方について理解する	95.7	80.0
（4	漢字を読む（しんてい）	71.2	70.0
（5	漢字を読む（いつわり）	80.4	70.0
（6	漢字を書く（専属）	49.2	70.0
（7	漢字を書く（難しい）	84.6	70.0
（8	同訓異字	96.6	80.0
（9	敬語	87.9	85.0
（１０	文節	44.5	60.0
（１１	品詞	62.8	60.0
（１２	歴史的仮名遣い	49.3	80.0
（１３	文章の内容を捉える	88.1	80.0
（１４	登場人物の心情を捉える	95.7	80.0
（１５	表現の工夫を捉える	77.1	70.0
（１６	文章の内容を捉える	83.6	70.0
（１７	登場人物の言動の理由を考える	43.9	60.0
（１８	自身の体験を踏まえて，自分の考えを分かりやすく書く	85.5	80.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 （正答）	85.7	72.0	95.7	71.2	80.4	49.2	84.6	96.6	87.9	44.5	62.8	49.3	88.1	95.7	77.1	83.6	43.9	85.5
2 （誤答）	12.0	26.5	4.0	26.6	18.4	43.1	14.3	3.2	11.6	55.4	37.0	48.6	11.7	3.3	22.5	13.3	47.3	12.6
3 （無解答等）	2.3	1.5	0.3	2.1	1.2	7.7	1.2	0.2	0.5	0.1	0.2	2.1	0.2	1.0	0.3	3.1	8.8	1.9

小問別通過率度数分布表（106校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	9	6	33	2	3		11	39	10		3	2	7	33	1	3	1	10	
90%～100%	40	13	69	4	8		25	64	41		4	2	35	69	4	18	1	41	
80%～90%	39	27	4	15	44	4	46	2	44	1	9	4	59	4	34	63	1	27	19
70%～80%	13	24		36	43	6	17	1	7	4	17	6	5		46	16	3	14	77
60%～70%	3	18		36	6	12	4		2	12	38	12			17	3	7	6	9
50%～60%	2	8		8	1	27	2		1	16	22	26			4	2	21	6	1
40%～50%		4		4		38				37	10	23				1	41	2	
30%～40%		4		1		13				24	2	19					22		
20%～30%		2				2				10		5					7		
10%～20%						2				1		6					2		
0%～10%					1	2	1		1	1	1	1							

中学校２年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	内容別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
＋10%より高い	3	1	0	2	6
±10%の範囲内	3	2	1	2	8
－10%より低い	3	0	0	1	4
計	9	3	1	5	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中14問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔知識及び技能〕では、漢字を読むことや日常よく使われる敬語を理解することについて、指導の成果が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、登場人物の言動の意味などを考え、内容を解釈することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、単語の類別や歴史的仮名遣いを理解することについて、課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、場面と場面、場面と描写などを結び付け、内容を解釈することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

音読に必要な歴史的仮名遣いなど、現代の口語とは異なる古文特有のきまりについて、理解を深める指導の充実を図る。

・古典の世界に親しむためには、古典の文章を繰り返し音読してその独特のリズムに生徒が自ら気付くことが重要である。その際、小学校での学習を踏まえるとともに、歴史的仮名遣いなど現代の口語とは異なる古文特有のきまりについて、教材に即して指導することが大切である。

・例えば、小学校で学習した古典の原文を音読する活動において、歴史的仮名遣いで書かれている言葉について、現代仮名遣いとの違いを確認しながら音読することも効果的である。

［参考　通し番号 12)］

1　送らむ　を現代仮名遣いに直し、**すべて平仮名**で書きなさい。

複数の場面と場面とを結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりすることによって、場面や描写に新たな意味付けを行う指導の充実を図る。

・文学的な文章を読む際には、個々の場面や描写から直接分かることを把握するだけでなく、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することが大切である。

・例えば、物語の結末について、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりして解釈し、それぞれの考えを伝え合う学習活動が考えられる。その際、文章を深く理解し、作品がもつ魅力に迫ることができるよう、自分の解釈の根拠を考えたり、他の読み手の解釈と比較したりすることも効果的である。

［参考　通し番号 17)］

3　ゆかさんのグループでは、本文を読んで印象に残ったことについて、次のように意見交換をしました。これを読んで、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

〈意見交換は略〉

(2)　（　**B**　）には、ひろしさんの疑問に対するゆかさんの考えの一部が入ります。「麦わら帽子」「カモメ」の二語を用いて**二十字以内**で書きなさい。

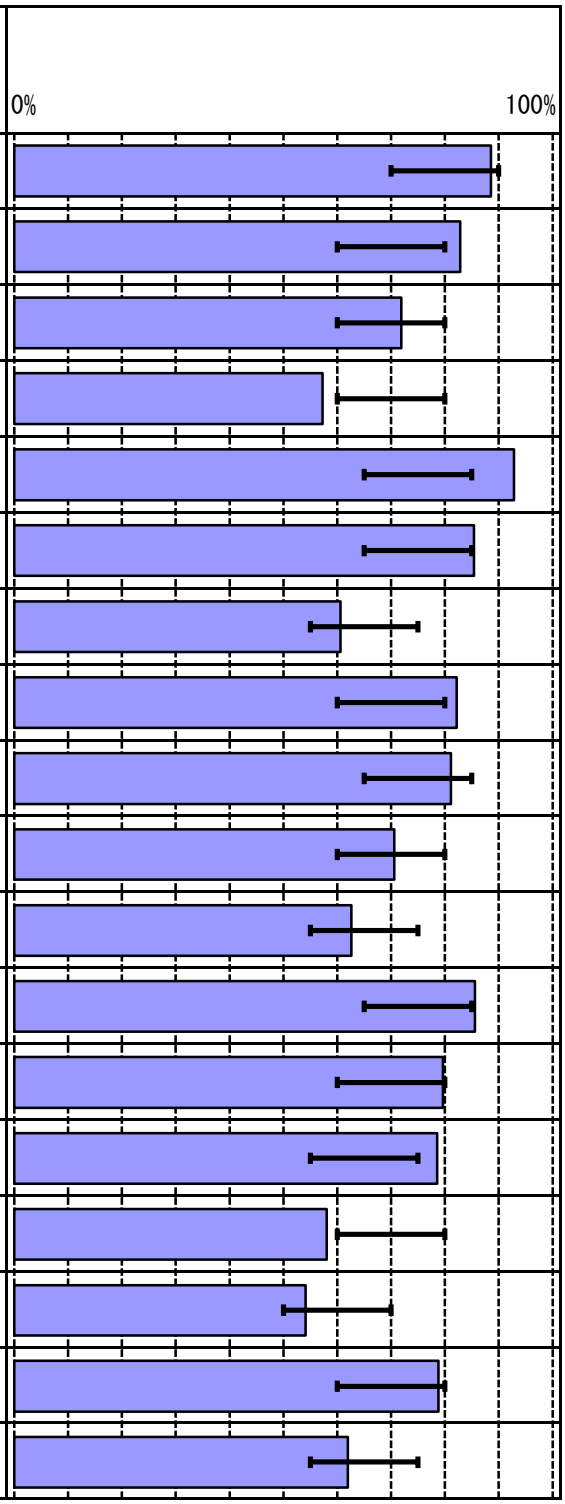
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　社会　評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第４学年	(1)	・地図帳を活用して，都道府県についての情報を集め，適切に読み取っている。	(1	○	
	(1)	・地図帳から必要な情報を集め，適切に読み取っている。	(2	○	
第３学年	(1)	・地図記号と方位に関する基礎的な知識を活用して，地図を適切に読み取っている。	(3	○	
	(1)	・地図記号に着目し，地域の土地利用について，適切に表現している。	(4		○
	(2)	・販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫について，資料から読み取り，適切に判断している。	(5		○
第４学年	(1)	・秋田県の地形の様子について，資料を適切に読み取っている。	(6	○	
	(1)	・秋田県の地形と人口が多い都市の位置との関連について資料から読み取り，適切に表現している。	(7		○
	(4)	・県内の伝統や文化について，保存や継承のための取組に着目して問いを見いだし，追究の方法を適切に判断している。	(8		○
	(2)	・廃棄物を処理する事業について，資料を適切に読み取っている。	(9	○	
	(2)	・廃棄物を処理する事業に関わる関係機関や人々の取組について，資料から読み取り，適切に判断している。	(10		○
	(2)	・廃棄物を処理する事業について，ごみの減量に関わって自分たちにできることを，資料を基に考え，適切に表現している。	(11		○
第５学年	(1)	・特色ある地域（温暖多雨）の自然条件について，資料を適切に読み取っている。	(12	○	
	(1)	・特色ある地域（温暖多雨）の自然条件と人々の生活との関連について，資料から読み取り，適切に表現している。	(13		○
	(1)	・自然条件と人々の生活との関連について，資料から読み取り，適切に表現している。	(14		○
	(2)	・我が国の農業の現状について，資料を適切に読み取っている。	(15	○	
	(2)	・我が国の農業の課題に対する取組について，資料を基に考え，適切に表現している。	(16		○
	(1)	・主な国の名称や我が国との位置関係について理解し，その知識を身に付けている。	(17	○	
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し，その知識を身に付けている。	(18	○	

小学校 ５年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 74.0%

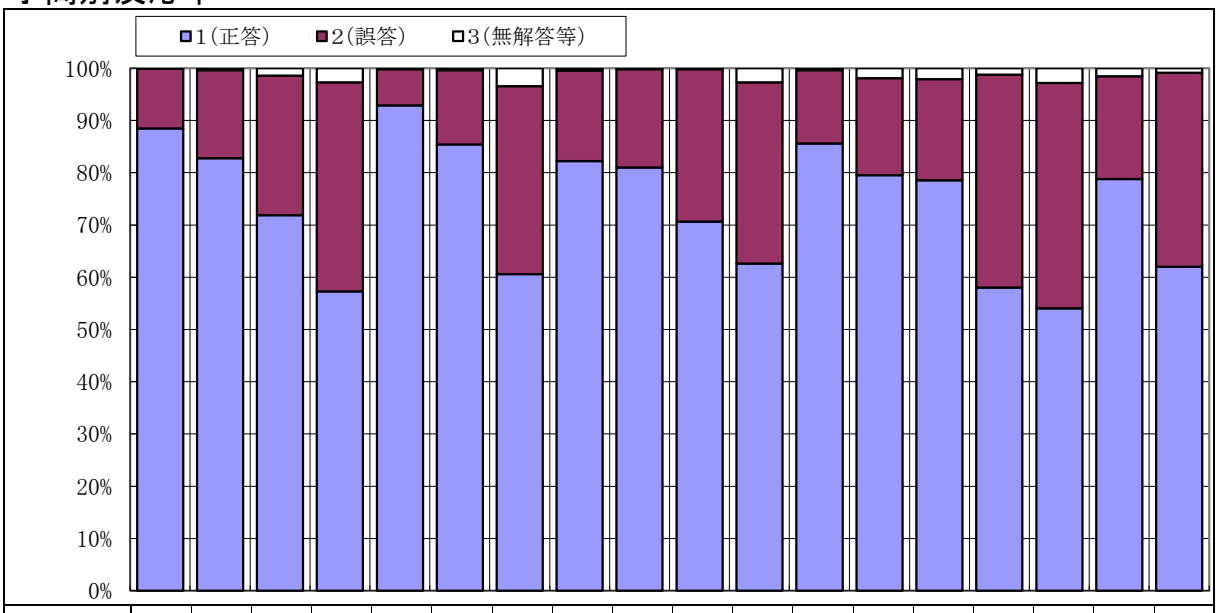
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	地図帳の活用	88.5	80.0
（2	地図帳の活用	82.8	70.0
（3	地図記号と方位	71.9	70.0
（4	身近な地域や市の様子	57.3	70.0
（5	販売に携わる人の工夫	92.8	75.0
（6	秋田県の地形の様子	85.4	75.0
（7	人口が多い都市の分布	60.6	65.0
（8	秋田県の伝統や文化	82.2	70.0
（9	廃棄物を処理する事業	81.1	75.0
（１０	ごみを減らす取組	70.6	70.0
（１１	ごみを減らすためにできること	62.6	65.0
（１２	温暖な地域の気候の特色	85.6	75.0
（１３	温暖な地域の気候と生活	79.6	70.0
（１４	気候と生活との関連	78.6	65.0
（１５	我が国の農業の特色	58.0	70.0
（１６	我が国の農業の特色	54.1	60.0
（１７	我が国の位置	78.8	70.0
（１８	我が国の位置	62.0	65.0



※ ⊢——⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	88.5	82.8	71.9	57.3	92.8	85.4	60.6	82.2	81.1	70.6	62.6	85.6	79.6	78.6	58.0	54.1	78.8	62.0
2 (誤答)	11.4	16.9	26.7	40.0	6.9	14.3	36.0	17.4	18.8	29.1	34.7	14.1	18.6	19.3	40.7	43.1	19.7	37.2
3 (無解答等)	0.1	0.3	1.4	2.7	0.2	0.3	3.4	0.4	0.2	0.2	2.7	0.3	1.9	2.1	1.2	2.8	1.5	0.8

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	36	21	14	5	49	30	5	15	16	10	7	19	23	16	2	1	12	2	
90%～100%	53	26	11	7	82	30	5	20	21	3	5	44	22	21	3	7	25	5	5
80%～90%	73	75	38	17	40	81	6	82	66	26	30	77	65	62	6	16	63	21	37
70%～80%	11	38	48	22	3	23	43	41	50	59	35	26	33	37	27	33	47	23	88
60%～70%	3	11	43	34	1	8	47	12	20	52	42	7	19	19	43	45	19	57	39
50%～60%		4	14	45	1	1	40	3	1	19	22	2	10	16	56	13	7	34	5
40%～50%			4	16			14	1		4	10		1	2	21	4		26	
30%～40%			2	13		1	7			1	5		2	1	7	5		4	
20%～30%				13			2				7				7	17		3	2
10%～20%				2			3				5				1	17	1		
0%～10%		1	2	2		2	4	2	2	2	8	1	1	2	3	18	2	1	

小学校５年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		内容別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	３・４年	地理的内容	
＋10%より高い	3	3	4	2	6
±10%の範囲内	5	5	6	4	１０
－10%より低い	1	1	1	1	2
計	9	9	１１	7	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問８問中５問で昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

①販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫の学習において、資料から読み取り、適切に判断することについて、指導の成果が見られる。

②自然条件と人々の生活との関連の学習において、資料から読み取り、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①我が国の農業の現状の学習において、グラフから数値が「増えているか」「減っているか」にとどまらず、「何倍か」「何分の１か」まで資料を適切に読み取ることに課題が見られる。

②我が国の農業の課題に対する取組の学習において、複数の資料から読み取ったことを関連付けて考察したり、適切に表現したりすることに課題が見られる。

3　今後の指導

社会的事象の見方・考え方を働かせ、資料から読み取ったことを基に学習問題を設定したり、人々の工夫や努力について考えたことを表現したりする活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(15、(16を例として］

農業の課題と新しい取組について考える学習において、資料から読み取ったことを基に学習問題を設定する活動や、事実を比較・分類した上で、分かったことをまとめる活動を取り入れる。

○具体例

1　図から読み取ったことを基に、学習問題を設定する。

［発問例］1975年から2010年までの農業人口について
・どのように変化していますか。
・全体では、どのくらい減りましたか。
・特に減っているのは、どの年代の人たちですか。
※発問を工夫し、数値や変化を具体的に捉えさせる。

＜学習問題の例＞
農業人口が減ってきている中で、農家の人たちはどのような取り組みをしているのだろうか。

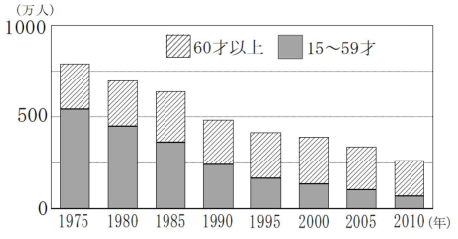
2　農家の人たちの新たな取組について調べたことを分類し、それぞれの共通点からキーワード等を考える。

［発問例］Ｙチャートで仲間分けした取組には、どのような意味があると考えられますか。

3　学習問題についてまとめる。

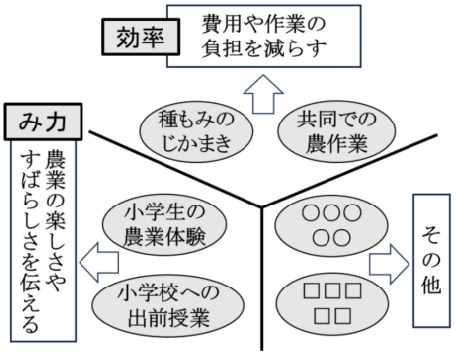
（例）農家の人たちは、農作業の効率をよくしたり、農業のみ力を伝えたりするなど、米づくりを続けていくために新しい取り組みを行っている。

図　年れい別農業人口の移り変わり



〔思考ツールの活用例〕

【農家の人たちの新しい取り組み】



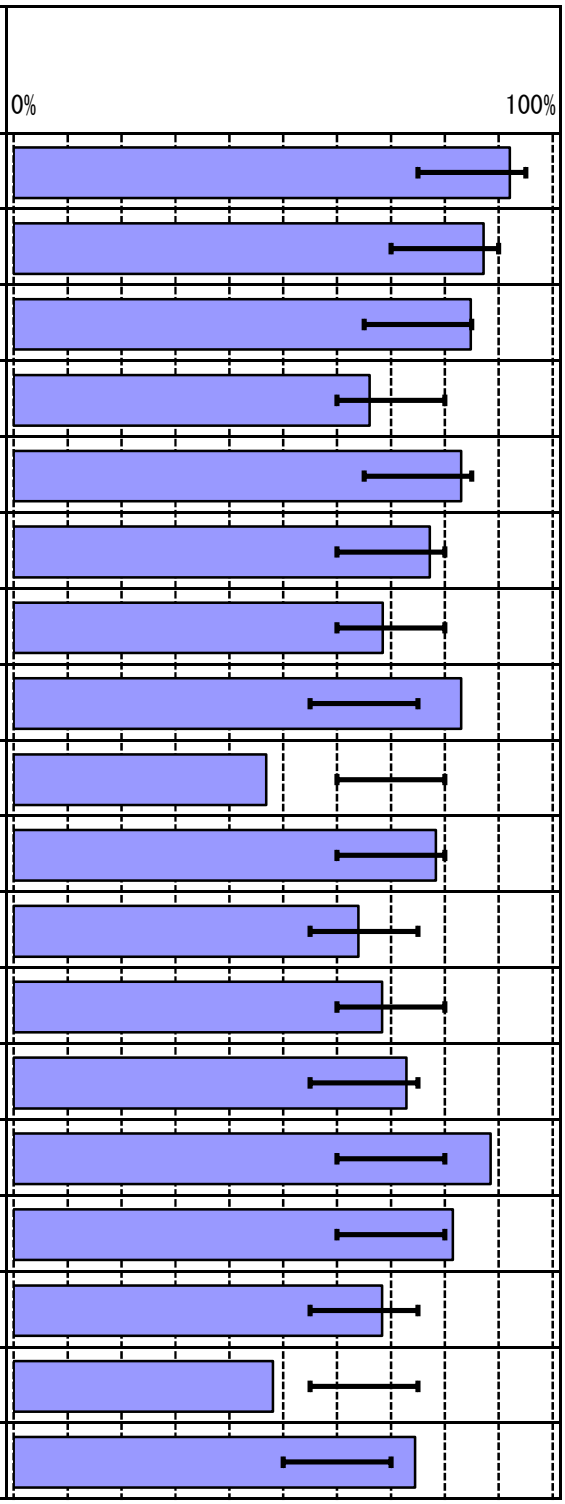
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　社会　評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第５学年（第３・４学年の内容を含む）	第4学年(1)	・地図帳を活用して，都道府県についての情報を集め，適切に読み取っている。	(1	○	
	第4学年(1)	・地図帳から必要な情報を集め，適切に読み取っている。	(2	○	
	(1)	・主な国の名称や我が国との位置関係について理解し，その知識を身に付けている。	(3	○	
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し，その知識を身に付けている。	(4	○	
	(3)	・我が国の工業生産に関わる人々について，資料から読み取り，適切に表現している。	(5		○
	(5)	・森林資源が果たす役割について，資料から読み取り，適切に表現している。	(6		○
	(4)	・放送，新聞などの産業について，資料を適切に読み取っている。	(7	○	
	(4)	・情報と私たちの暮らしとの関連について，資料から読み取り，適切に表現している。	(8		○
第６学年	(1)	・天皇の地位について理解し，その知識を身に付けている。	(9	○	
	(1)	・選挙が国民の代表者を選出する仕組みであることについて，資料から読み取り，適切に表現している。	(10		○
	(1)	・主権が国民にあることについて，資料から読み取り，適切に表現している。	(11		○
	(1)	・国の予算について，資料を適切に読み取っている。	(12	○	
	(1)	・国民生活における政治の働きについて，資料から読み取り，適切に表現している。	(13		○
	(2)	・狩猟・採集をしていた頃の生活について理解し，その知識を身に付けている。	(14	○	
	(2)	・農耕が始まった頃の社会の様子について，資料から読み取り，適切に判断している。	(15		○
	(2)	・大和朝廷の支配の広がりについて，資料から読み取り，適切に表現している。	(16		○
	(2)	・聖徳太子が政治を行った頃の文化遺産について理解し，その知識を身に付けている。	(17	○	
	(2)	・天皇を中心とした政治が確立されていったことについて，資料から読み取り，適切に表現している。	(18		○

小学校 ６年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 74.1%

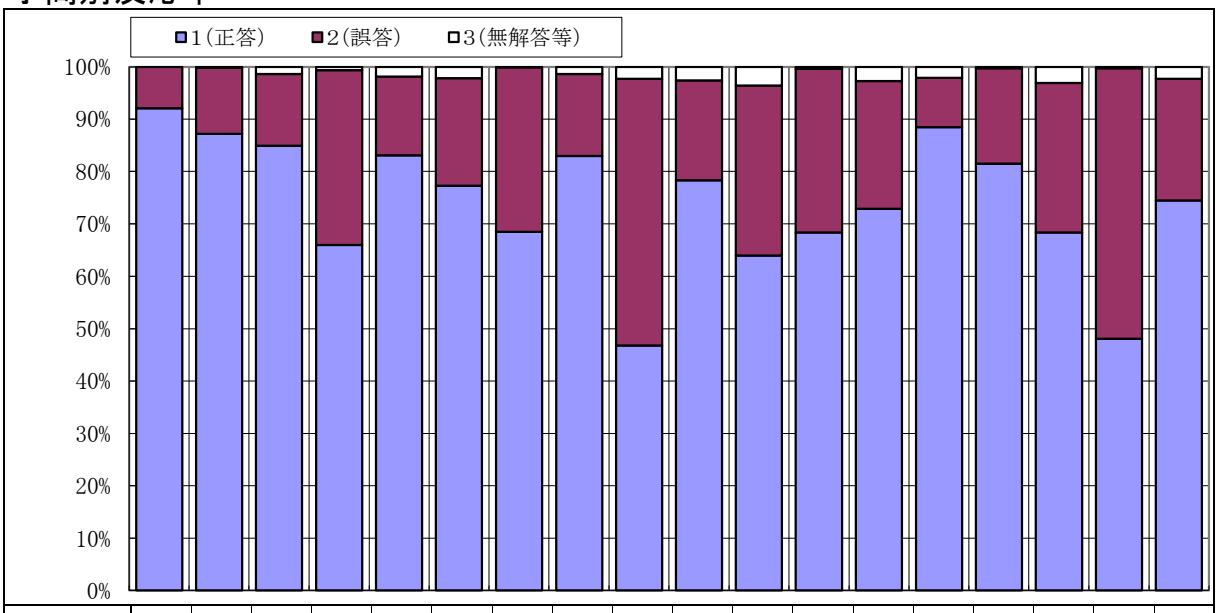
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	地図帳の活用	92.1	85.0
（2	地図帳の活用	87.2	80.0
（3	我が国の位置	84.8	75.0
（4	我が国の位置	66.0	70.0
（5	我が国の工業の特色	83.0	75.0
（6	森林資源が果たす役割	77.2	70.0
（7	放送，新聞などの産業の様子	68.5	70.0
（8	情報化社会のよさや課題	83.0	65.0
（9	天皇の地位	46.8	70.0
（１０	国民の権利	78.3	70.0
（１１	国民主権	64.0	65.0
（１２	国民生活における政治の働き	68.4	70.0
（１３	国民生活における政治の働き	72.9	65.0
（１４	縄文時代の社会の様子	88.5	70.0
（１５	弥生時代の社会の様子	81.5	70.0
（１６	大和政権の広がり	68.3	65.0
（１７	飛鳥時代の文化	48.1	65.0
（１８	天皇中心の国づくり	74.5	60.0



※|——|は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	92.1	87.2	84.8	66.0	83.0	77.2	68.5	83.0	46.8	78.3	64.0	68.4	72.9	88.5	81.5	68.3	48.1	74.5
2 (誤答)	7.9	12.6	13.7	33.4	15.0	20.5	31.4	15.6	50.9	19.1	32.4	31.2	24.4	9.4	18.2	28.5	51.6	23.2
3 (無解答等)	0.0	0.2	1.4	0.6	1.9	2.2	0.1	1.4	2.3	2.6	3.6	0.4	2.7	2.1	0.3	3.1	0.3	2.3

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	53	33	26	9	43	20	3	33	4	24	8	7	23	30	35	18	1	19	
90%～100%	71	53	34	4	40	27	3	39		29	8	6	17	66	19	19		18	7
80%～90%	46	59	79	25	48	55	24	54	6	54	31	26	36	62	53	36	11	37	52
70%～80%	4	19	28	40	21	37	49	25	12	35	30	43	48	15	59	33	11	48	77
60%～70%	2	6	7	54	10	16	58	17	22	17	33	57	26	1	7	30	18	32	31
50%～60%		4	2	30	6	12	29	6	37	12	39	26	15		3	18	41	17	8
40%～50%		1		12	2	4	6	1	40	2	14	9	5	1		7	46	3	
30%～40%					1	2	2		26	1	6	1	4			9	31	2	1
20%～30%					2	1			16	2	4	1	1			3	13		
10%～20%				1					7		3		1			2	1		
0%～10%		1		1	2	1	1		6					1		1	3		

小学校６年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		内容別			計
	知識・技能	思考･判断･表現	地理的内容	歴史的内容	公民的内容	
＋10%より高い	1	3	0	3	1	4
±10%の範囲内	6	6	6	1	5	１２
－10%より低い	2	0	0	1	1	2
計	9	9	6	5	7	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問９問中６問で昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

①我が国の工業生産に関わる人々の学習において、資料から読み取り、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

②農耕が始まった頃の社会の様子の学習において、資料から読み取り、適切に判断することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①主権が国民にあることの学習において、国民主権の考えについて資料から読み取り、適切に表現することに課題が見られる。

②聖徳太子が政治を行った頃の学習において、各時代の人々によって生み出された代表的な文化遺産について理解することに課題が見られる。

3　今後の指導

社会的事象の特色や相互の関連などについて、資料から読み取った事実を基に、自分の言葉で表現する活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(9、(10、(11を例として］

日本国憲法と国民生活との関わりについて、資料から読み取った事実を基に、自分の言葉で表現する活動を取り入れる。

○具体例

1　学習の計画を基に、学習問題を設定する。

＜学習問題の例＞
国民主権とは、どのような考え方なのだろうか。

・図から、国民は自分たちの代表者を選挙で選んでいることを読み取る。
・資料から天皇の地位について読み取る。

2　国民主権について考える。

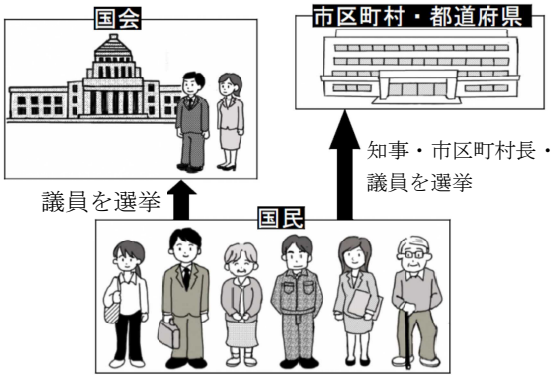
［発問例］選挙に参加することには、どのような意味があるのだろう。

・国会の働きについて調べたことや、図や資料から読み取ったことを基に、国民が代表者を選ぶことによって国の政治を動かしていることを理解する。

3　学習問題についてまとめる。

（例）国民主権とは、国の政治のあり方を最終的に決める権利は国民にある、という考え方である。

図



資料　日本国憲法第１条について

憲法では，天皇は日本の国や国民の象徴（しょうちょう）（しるし）であり，政治については権限（けん）をもたないとされている。

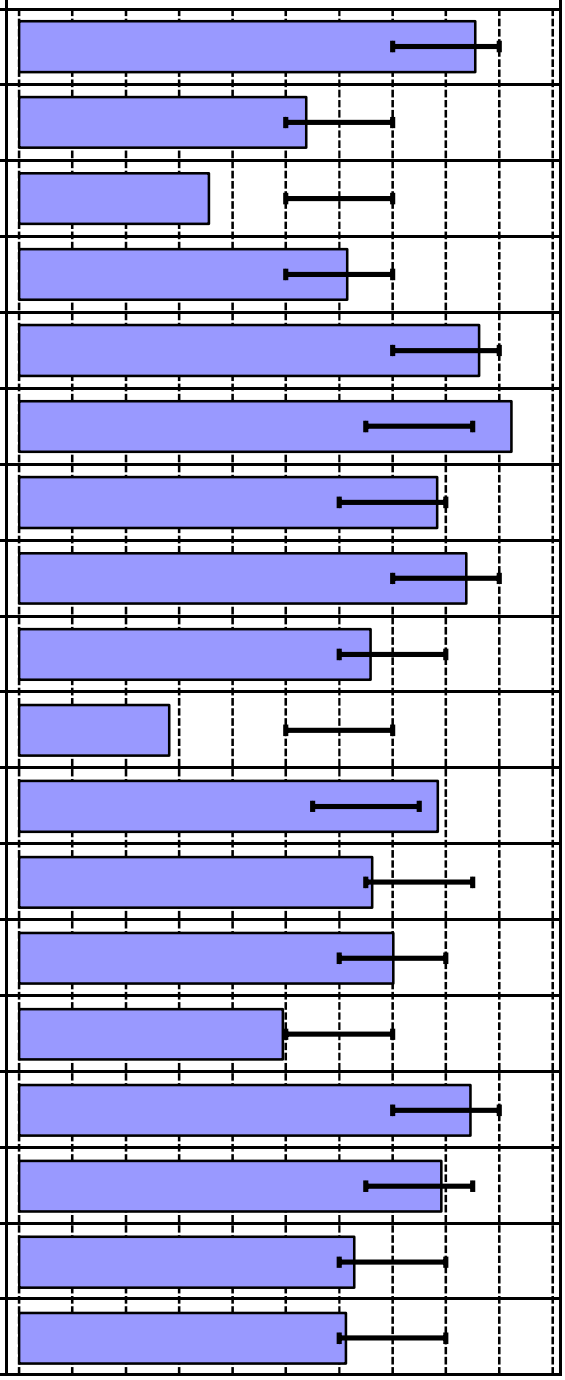
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　社会　評価規準と評価の観点

学年・分野	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
小学校第６学年	(2)	・雪舟の業績について理解し，その知識を身に付けている。	(1	○	
	(2)	・室町時代の文化の特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(2		○
	(2)	・徳川家光の業績について理解し，その知識を身に付けている。	(3	○	
	(2)	・江戸幕府の大名配置について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(4		○
	(2)	・日本国憲法の制定について理解し,その知識を身に付けている。	(5	○	
	(2)	・選挙に関わる権利の変化について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(6		○
	(3)	・我が国と関係の深い国々の特徴について，資料を基に考察し，適切に判断している。	(7		○
	(3)	・我が国と関係の深い国々への輸出品について，資料から情報を的確に読み取っている。	(8	○	
中学校地理的分野	A (1)	・大陸や州の位置と名称を理解し，その知識を身に付けている。	(9	○	
	A (1)	・地球儀の模式図を活用し，地球儀上での緯度や経度，正反対の地点を的確に読み取っている。	(10	○	
	B (1)	・乾燥帯の気候や自然条件について，資料から情報を的確に読み取っている。	(11	○	
	B (1)	・乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫について，資料から読み取ったことを関連付けて，適切に表現している。	(12		○
中学校歴史的分野	B (1)	・世界の古代文明に共通する特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(13		○
	B (1)	・ギリシャの文明について理解し，その知識を身に付けている。	(14	○	
	B (1)	・日本列島における国家形成の時期の社会の様子について，各時代の特色を比較しながら考察し，適切に判断している。	(15		○
	B (1)	・大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりについて，資料を基に考察し，適切に表現している。	(16		○
	B (1)	・律令制下における農民の負担について理解し，その知識を身に付けている。	(17	○	
	B (1)	・公地・公民の原則について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(18		○

中学校　１年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　68.0%

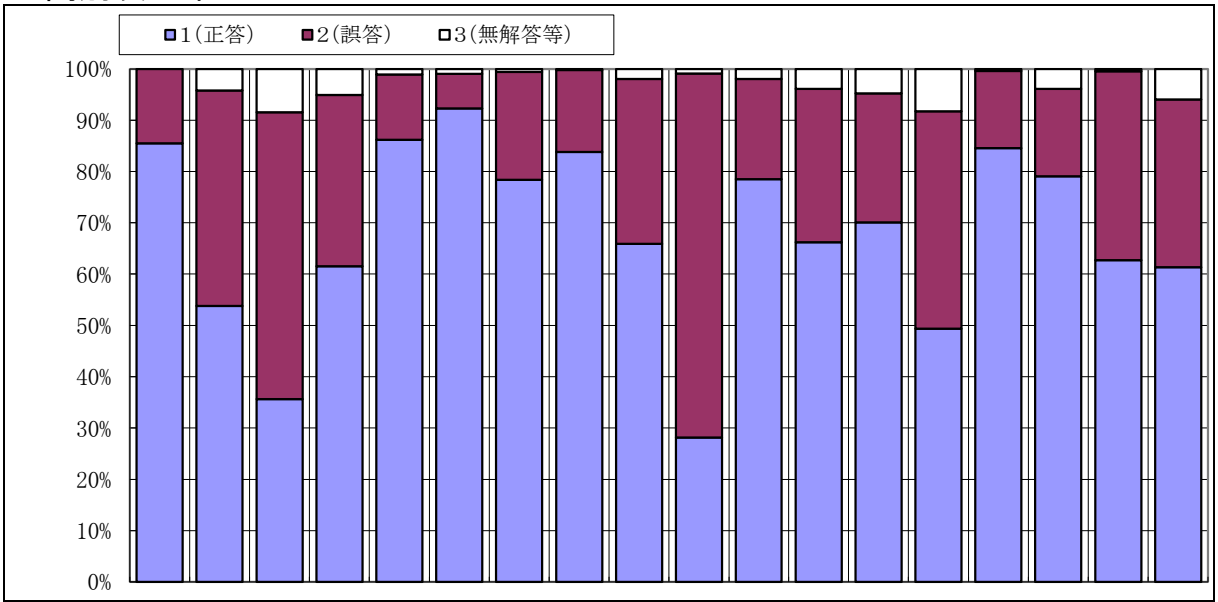
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	雪舟の業績	85.5	80.0
（2	室町時代の文化の特色	53.8	60.0
（3	徳川家光の業績	35.6	60.0
（4	江戸幕府の大名配置の目的	61.5	60.0
（5	日本国憲法の制定	86.2	80.0
（6	女性参政権	92.3	75.0
（7	日本と関係の深い国々の特徴	78.4	70.0
（8	日本と関係の深い国々への輸出品	83.8	80.0
（9	大陸や州の名称と位置	65.9	70.0
（10	対蹠点の位置	28.1	60.0
（11	乾燥帯の気候の特色	78.5	65.0
（12	乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫	66.2	75.0
（13	世界の古代文明に共通する特色	70.1	70.0
（14	ギリシャの文明	49.4	60.0
（15	日本列島における国家形成期の社会の様子	84.6	80.0
（16	大和政権による統一の様子と東アジアとの関わり	79.1	75.0
（17	律令制下における農民の負担	62.8	70.0
（18	公地・公民の原則	61.3	70.0



※ ⊢―⊣は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	85.5	53.8	35.6	61.5	86.2	92.3	78.4	83.8	65.9	28.1	78.5	66.2	70.1	49.4	84.6	79.1	62.8	61.3
2 (誤答)	14.5	42.0	55.9	33.4	12.7	6.7	21.0	16.0	32.1	70.9	19.5	29.9	25.1	42.3	15.0	17.0	36.8	32.7
3 (無解答等)	0.0	4.2	8.5	5.1	1.1	1.0	0.6	0.2	2.0	0.9	2.0	3.9	4.8	8.3	0.4	3.9	0.5	6.0

小問別通過率度数分布表（105校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	14	5	1		3	31	4	8	4		6	10	5	1	9	9	1	4	
90%～100%	30	3		5	33	54	16	33	5		17	13	7		31	31		3	
80%～90%	46	12	2	6	56	14	42	33	20		27	20	31	1	43	28	10	13	9
70%～80%	10	20	1	18	12	5	26	24	21		48	16	26	8	16	21	20	16	46
60%～70%	4	13	6	32		1	14	5	27		4	23	19	14	5	10	38	30	40
50%～60%	1	13	12	33			3	1	18	2	1	8	9	33		3	22	19	10
40%～50%		17	20	9				1	6	3	1	8	6	19		1	12	12	
30%～40%		8	32	1	1				4	30		4	1	21	1		2	6	
20%～30%		7	18							51		3		4		1		1	
10%～20%		4	10							15				3				1	
0%～10%		3	3	1						4	1		1	1		1			

中学校１年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		内容別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10%より高い	1	1	1	1	0	2
±10%の範囲内	5	8	6	2	5	１３
－10%より低い	3	0	1	1	1	3
計	9	9	8	4	6	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問10問中７問で昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

①乾燥帯の気候や自然条件の学習において、資料から情報を的確に読み取ることについて、指導の成果が見られる。

②公地・公民の原則の学習において、資料を基に考察し、適切に表現することについて、指導の改善が見られる。

(3) 課題

①地球儀の模式図を活用して地球上の位置関係を正しく捉える学習において、地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を的確に読み取ることに課題が見られる。

②徳川家光の業績やギリシャの文明について、理解することに課題が見られる。

3　今後の指導

歴史的事象の意味や意義などについて、他の時代との共通点や相違点に着目し、学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察する活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(14を例として］

前時までの既習事項の四大文明や現代の民主主義との比較を通して、多面的・多角的に古代のギリシャの民主政を捉える活動を取り入れる。

○具体例

1　四大文明と古代ギリシャの文明の違いが分かるような写真や資料から読み取ったことを基に、学習課題を設定する。

＜学習課題の例＞
古代のギリシャでは、どのような政治が行われていたのだろうか。

資料１

古代文明	使用文字	メモ
エジプト		・小さな国々を統一した国家がつくられ，国王は神としてあがめられた。
メソポタミア		・神殿を中心に城壁で囲まれた都市国家がつくられ，神官が権力を強めた。
インダス		・神官を最高身分とする身分制度に基づく国々がつくられた。
中国		・殷という国がおこり，王が政治を進め，戦争などの大事なことの決定は占いで行われた。

資料２

・資料１から、四大文明は王政や皇帝の政治であったことを確認するとともに、資料２（アテネの民会議場）を手がかりに、古代のギリシャではどのように政治が行われていたのか予想する。

2　課題解決に向けて追究する。

・古代のギリシャで行われていた政治の仕組みについて調べ、現代につながる内容や四大文明との違いを明らかにする。

・現代の「民主主義」とギリシャの政治の仕組みを比較する。

［発問例］古代のギリシャの「民主政」について、現代の「民主主義」につながる面と異なる面にはどのようなものがあるのだろう。

3　学習課題についてまとめる。

（例）古代のギリシャでは、市民全員が参加して話し合って物事を決定する民主政が行われていた。選挙で選ばれた代表者ではなく、自由で対等な市民が直接政治に参加することや、女性や奴隷は政治に参加することができないことなど、現代とは異なる点が見られるのが、古代のギリシャの民主政である。

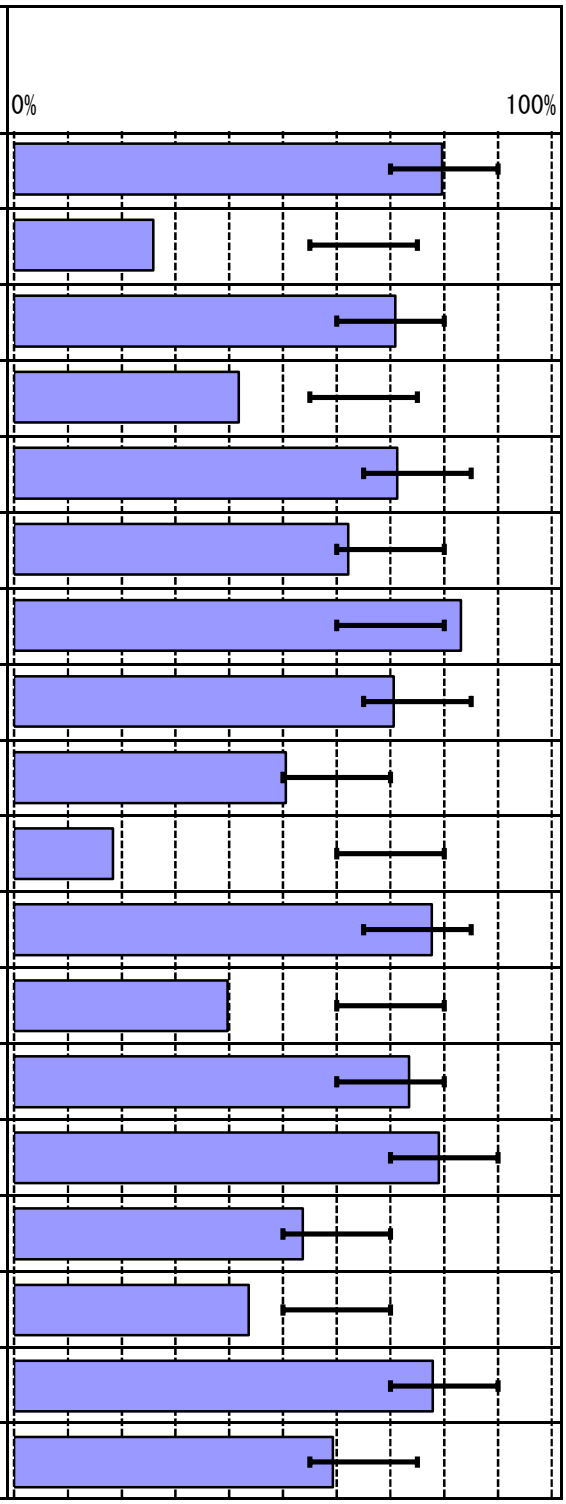
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　社会　評価規準と評価の観点

分野	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
地理的分野	A (1)	・大陸の名称と位置を理解し，その知識を身に付けている。	(1	○	
	A (1)	・地球儀の模式図を活用し，地球儀上での緯度や経度，正反対の地点を的確に読み取っている。	(2	○	
	B (1)	・冷帯で暮らす人々の生活の様子について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(3		○
	B (2)	・ＥＵ統合がもたらす変化について，資料から読み取ったことを関連付けて考察し，適切に表現している。	(4		○
	B (2)	・ＥＵ統合がもたらす問題について，資料から読み取ったことを関連付けて考察し，適切に表現している。	(5		○
	B (2)	・世界の各州の地域的特色を，諸条件と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	(6	○	
	C (2)	・日本の地域的特色と地域区分について，資料から情報を的確に読み取っている。	(7	○	
	C (2)	・日本の第一次産業に関する特色について，資料から情報を的確に読み取っている。	(8	○	
	C (2)	・日本の第一次産業に関する特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(9		○
	C (2)	・日本の交通に関する特色について理解し，その知識を身に付けている。	(10	○	
	C (2)	・日本の交通に関する特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(11		○
歴史的分野	B (1)	・聖徳太子の政治について理解し，その知識を身に付けている。	(12	○	
	B (1)	・古代の文化の特色や背景について，資料から読み取ったことを関連付けて考察し，適切に表現している。	(13		○
	B (2)	・平氏政権の特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(14		○
	B (2)	・鎌倉幕府の支配の広まりについて，資料から読み取ったことを関連付けて考察し，適切に表現している。	(15		○
	B (3)	・江戸幕府の政治改革について理解し，その知識を身に付けている。	(16	○	
	B (3)	・貨幣経済の広がりによる都市や農村の変化について，資料から情報を的確に読み取っている。	(17	○	
	B (3)	・自然災害などによる都市や農村の変化について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(18		○

中学校　２年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　59.9%

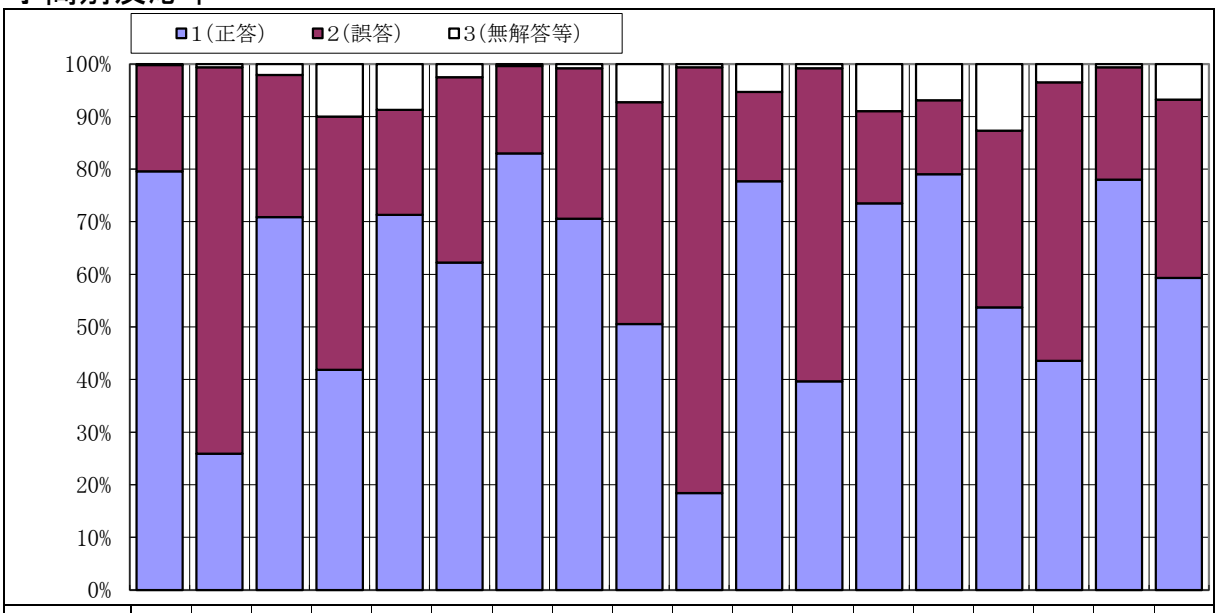
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	大陸や海洋の名称と位置	79.6	80.0
（2	対蹠点の位置	25.9	65.0
（3	冷帯に暮らす人々の生活の様子	70.9	70.0
（4	ＥＵ統合がもたらす変化	41.8	65.0
（5	ＥＵ統合がもたらす問題	71.3	75.0
（6	各州の地域的特色	62.2	70.0
（7	日本の地域的特色と地域区分	83.1	70.0
（8	国内の産業の動向（産業別就業人口）	70.6	75.0
（9	国内の産業の動向（農業の特色）	50.5	60.0
（１０	貨物輸送の特色	18.4	70.0
（１１	航空旅客輸送の特色	77.7	75.0
（１２	聖徳太子の政治	39.7	70.0
（１３	古代の文化と東アジアとの関わり	73.5	70.0
（１４	武士の政治への進出と展開	79.0	80.0
（１５	武家政権の広まり	53.7	60.0
（１６	江戸幕府の政治改革	43.6	60.0
（１７	貨幣経済による都市や農村の変化	77.9	80.0
（１８	自然災害による都市や農村の変化	59.3	65.0



※ ⊢—⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	79.6	25.9	70.9	41.8	71.3	62.2	83.1	70.6	50.5	18.4	77.7	39.7	73.5	79.0	53.7	43.6	77.9	59.3
2 (誤答)	20.2	73.5	27.0	48.2	20.0	35.3	16.6	28.6	42.1	80.9	17.0	59.5	17.5	14.1	33.6	53.0	21.4	33.9
3 (無解答等)	0.2	0.6	2.1	10.0	8.7	2.5	0.4	0.8	7.3	0.6	5.3	0.8	9.0	6.9	12.7	3.5	0.6	6.8

小問別通過率度数分布表（106校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	7	2	6	1	5	2	6	4	1		7	1	8	10	3	1	4	3	
90%～100%	12		9		10	3	16	5			21		24	22	3		10	5	
80%～90%	38		19	1	25	8	50	15	3		25		21	36	6	1	41	9	1
70%～80%	40		31	7	28	27	31	34	5		30	1	22	20	9	3	29	19	11
60%～70%	8	1	32	5	21	27	2	33	12	1	15	2	10	13	24	8	17	25	56
50%～60%			6	16	10	26		13	36	1	6	5	10	4	26	21	4	22	32
40%～50%		7	1	27	2	11			35	2	1	39	6	1	20	33		14	4
30%～40%		21		29	2			1	9	5		42	2		9	26		4	1
20%～30%		54	2	14		1			4	33		10	2		5	8		4	
10%～20%		15		5	1	1				51		4				2			1
0%～10%	1	6		1	2		1	1	1	13	1	2	1		1	3	1	1	

中学校２年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別		内容別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	地理的分野	歴史的分野	
＋10%より高い	1	0	1	0	1
±10%の範囲内	4	8	7	5	１２
－10%より低い	4	1	3	2	5
計	9	9	１１	7	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中13問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問９問中８問で昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

①冷帯で暮らす人々の生活の様子の学習において、資料を基に考察し、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

②古代の文化の特色や背景の学習において、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①ＥＵ統合がもたらす変化の学習において、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することに課題が見られる。

②江戸幕府の政治改革の学習において、社会の変化と政策の変化などに着目して理解することに課題が見られる。

3　今後の指導

世界の各州において見られる地球的課題の要因や影響を、その州の地域の広がりや地域内の結び付きから捉えて考察し、自分の言葉で表現する活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(4、(5を例として］

地域で見られる地球的課題の要因や影響を考察する学習において、ＥＵ統合による変化について資料から読み取ったことを関連付けて考察し、表現する活動を取り入れる。

○具体例

1　ＥＵ統合の年表を見て気付いたことを生かして、学習課題を設定する。

＜学習課題の例＞
ヨーロッパでは、ＥＵ統合が進むことによってどのような変化が起きているのだろうか。

2　ブルガリアを例に、図１の1994年と2022年を比較し、ＥＵ統合による輸出相手国の変化を調べる。

［発問例］輸出額が大幅に増え、輸出相手国の構成が変わったのはなぜだろう。

・ＥＵ加盟国との貿易が増えたことに気付くことができるよう、図１と図２を関連付けて考えるよう促す。

3　イギリスのＥＵ離脱に関する資料を提示し、離脱した理由について考える。

・離脱の背景に加盟国間の経済的な格差があることに気付くことができるよう、図３を提示する。

4　学習課題についてまとめる。

（例）ヨーロッパでは、ＥＵ統合が進むことにより加盟国間で経済的な結び付きが強まった一方で、経済的な格差の問題が起きている。

図１　ブルガリアの輸出相手国の変化

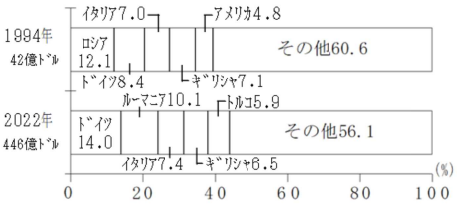


図２　ＥＵ加盟国（2018年）

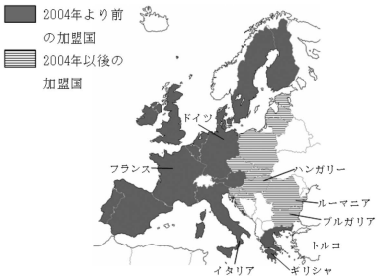
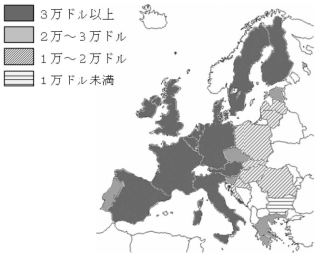


図３　ＥＵ各国の一人あたりの国民総所得（2018年）



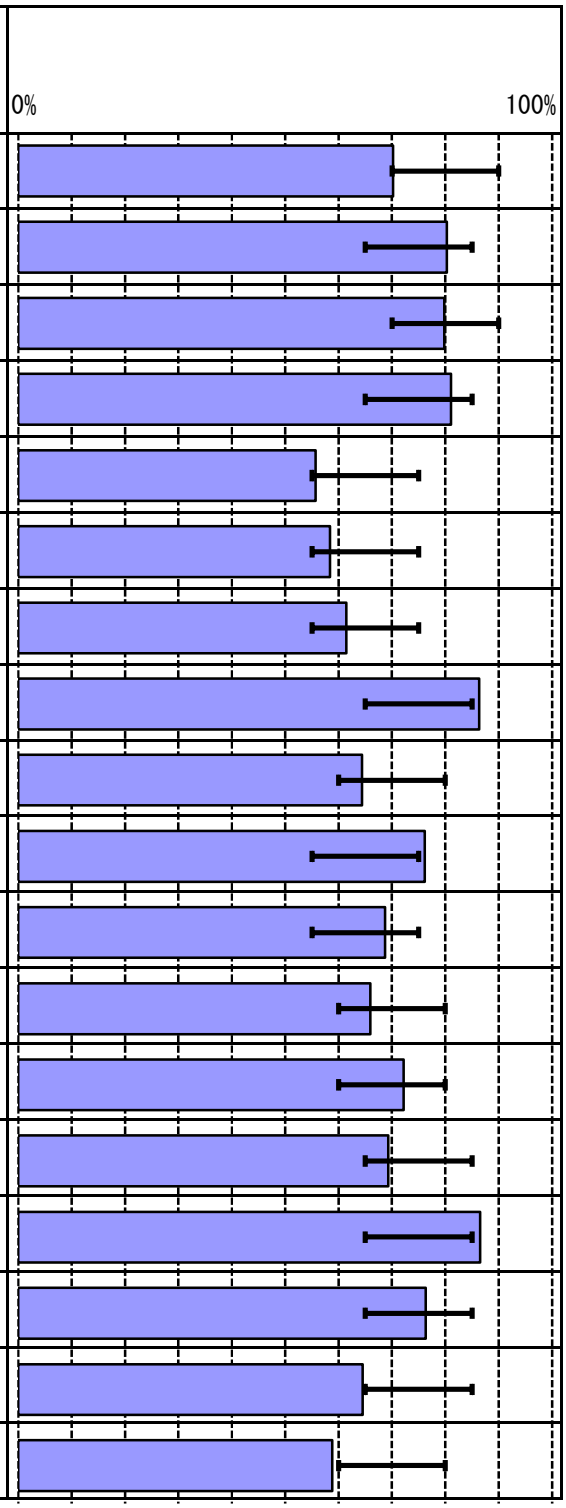
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第４学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第３学年	A数と計算	(3)ア(ア)	・３位数に２位数をかける計算について，正しく筆算をすることができる。	(1	○	
		(5)ア(イ)	・１／１０の位までの小数の加法で,(整数)＋(小数)の場合の計算をすることができる。	(3	○	
		(6)ア(ア)	・数直線上の分数の表し方を理解している。	(4	○	
		(6)ア(ウ)	・１から分数を引く減法ができる。	(2	○	
	B図形	(1)ア(ウ)	・コンパスを活用して，１／４の円を作図することができる。	(8	○	
		(1)イ(ア)	・正三角形を構成する要素に着目し，適切な辺の長さを考えることができる。	(6		○
	C測定	(1)ア(ア)	・測定する対象の重さに応じて，適切な単位で表すことができる。	(16	○	
		(1)イ(ア)	・長さ，重さ，かさの単位の関係を統合的に捉えることができる。	(7		○
	Dデータの活用	(1)イ(ア)	・二つの棒グラフから，必要な情報を読み取って判断し，その理由を説明することができる。	(18		○
第４学年	A数と計算	(1)ア(ア)	・十進位取り記数法について理解している。	(13	○	
			・数直線上の大きな数を読み取ることができる。	(15	○	
		(1)イ(ア)	・数の表し方の仕組みに着目し，計算の仕方を考えることができる。	(5		○
		(2)ア(イ)	・「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解している。	(10	○	
		(3)イ(ア)	・見当を付けた商を修正する手順を説明することができる。	(12		○
			・除法において，数を構成する単位に着目して，余りを考えることができる。	(17		○
	B図形	(5)ア(イ)	・１８０°より大きい角度を求めることができる。	(9	○	
			・２枚の三角定規でつくる角の大きさを求めることができる。	(14	○	
	Dデータの活用	(1)ア(イ)	・目的に応じて，適切な一目盛りの大きさやグラフ全体の大きさを決めることができる。	(11	○	

小学校　４年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　70.9%

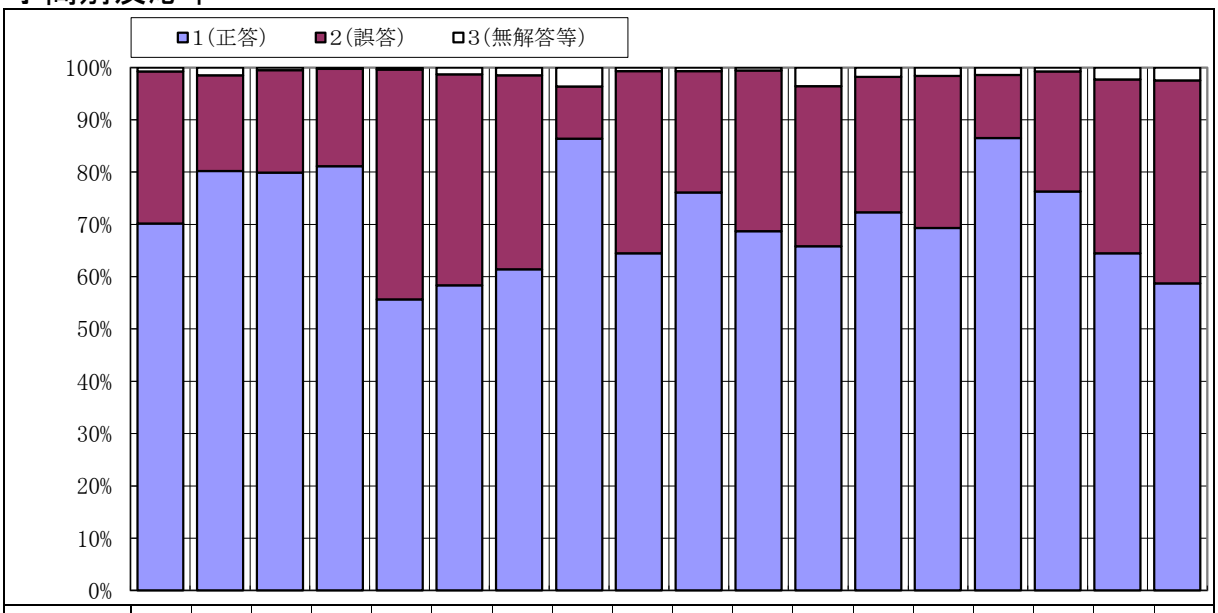
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（３位数）×（２位数）の計算	70.2	80.0
（2	１－（分数）の計算	80.3	75.0
（3	（整数）＋（小数）の計算	79.8	80.0
（4	数直線上の分数の表し方	81.1	75.0
（5	大きな数の計算の工夫	55.7	65.0
（6	正三角形の辺の長さ	58.4	65.0
（7	単位の関係	61.4	65.0
（8	円の作図	86.3	75.0
（9	１８０°より大きい角度の測定	64.4	70.0
（１０	四捨五入する数の範囲	76.1	65.0
（１１	目的に応じた折れ線グラフの判断	68.7	65.0
（１２	除法の筆算においての商の立て方	65.9	70.0
（１３	十進位取り記数法の理解	72.2	70.0
（１４	２枚の三角定規でつくる角度の測定	69.3	75.0
（１５	数直線上の大きな数の読み取り	86.5	75.0
（１６	重さの単位	76.3	75.0
（１７	除法の計算の仕方と商と余りの説明	64.5	75.0
（１８	棒グラフの読み取りと表現	58.8	70.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 （正答）	70.2	80.3	79.8	81.1	55.7	58.4	61.4	86.3	64.4	76.1	68.7	65.9	72.2	69.3	86.5	76.3	64.5	58.8
2 （誤答）	29.0	18.3	19.6	18.6	43.9	40.3	37.1	10.0	34.8	23.2	30.7	30.6	25.9	29.1	12.1	22.9	33.3	38.8
3 （無解答等）	0.8	1.5	0.5	0.3	0.4	1.3	1.5	3.6	0.7	0.7	0.6	3.6	1.8	1.6	1.4	0.8	2.3	2.5

小問別通過率度数分布表（175校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	7	33	27	14	1	7	15	36	5	17	8	6	7	12	33	8	5	8	
90%～100%	9	32	22	23	1	1	8	48	3	19	7	12	4	6	43	15	4	6	6
80%～90%	35	50	59	65	7	9	25	56	13	46	21	24	42	31	65	50	22	17	30
70%～80%	41	29	36	42	16	29	21	21	46	34	46	47	56	43	23	60	37	23	66
60%～70%	51	19	20	26	45	43	31	11	51	29	51	31	49	47	10	30	46	37	58
50%～60%	24	8	6	4	58	46	29	3	34	17	30	33	14	18	1	8	45	43	15
40%～50%	4	1	3	1	28	29	26		16	7	9	17	1	16		2	12	18	
30%～40%	2	1	1		14	10	15		4	4	3	3	2	2		2	3	16	
20%～30%	2	1	1		4	1	1		2	2		1					1	6	
10%～20%		1			1		2		1									1	
0%～10%							2					1							

小学校４年　算数　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別		領域別				計
	知識・技能	思考･判断･表現	数と計算	図形	変化と関係 測定	データの活用	
＋10％ より高い	3	0	2	1	0	0	3
±10％ の範囲内	9	4	7	3	2	1	１３
－10％ より低い	0	2	1	0	0	1	2
計	１２	6	１０	4	2	2	１８

２　考察

(1) 全体について

①18問中16問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②領域別では「データの活用」が２問中１問で設定通過率の「－10％より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

①単位の関係を統合的に捉えることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②「以上」「未満」を用いて表す数の範囲の理解について、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①数の表し方の仕組みに着目し、計算の仕方を考えることについて、課題が見られる。

②二つの棒グラフから必要な情報を読み取って判断し、その理由を説明することについて、課題が見られる。

３　今後の指導

数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができるようにする。

［参考　通し番号(5)］平均通過率55.7％（設定通過率65.0％）

７８００×４７０の計算のしかたを，次のようにくふうして考えました。Ａにあてはまる数を，下の**ア**～**エ**から１つえらんで，その**記号**を［　　］の中に書きましょう。

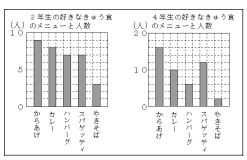
７８×４７×［Ａ］

ア　１０　　**イ**　１００
ウ　１０００　　**エ**　１００００

・扱う数の範囲が大きくなると、大きさを捉えにくくなるため、日常生活での具体的な場面を取り上げるなど配慮し、数の相対的な大きさを捉えられるようにする必要がある。
・数のまとまりに着目すると、既習の数と同じように考えられることに気付かせるとともに、第３学年で学習した乗法の交換法則や結合法則を活用して計算すると計算が簡単になることを実感できるようにすることが大切である。

棒グラフの読み取りについて習熟を図るとともに、複数の棒グラフから読み取ったことについて根拠を明らかにして説明する活動の充実を図る。

［参考　通し番号(18)］平均通過率58.8％（設定通過率70.0％）



まりかさん

２つのぼうグラフを見ると，２年生でカレーをえらんだ人数と４年生でからあげをえらんだ人数は同じです。

まりかさんの言っていることは正しいですか。「正しい」か「正しくない」か，どちらかを○で囲みましょう。また，その**わけ**を，言葉や数を使って［　　］の中に書きましょう。

・棒グラフについて、目盛りの大きさに着目して、数量を的確に読み取ることができるよう習熟を図る必要がある。
・指導に当たっては、棒グラフを目盛りの異なるグラフ用紙にかき直したり、目盛りの異なる複数の棒グラフを１つのグラフ用紙にかき直したりする活動が有効である。
・複数のグラフを比較する活動を通して、目的にあった目盛りを用いることができるようにすることも大切である。

令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　算数　評価規準と評価の観点

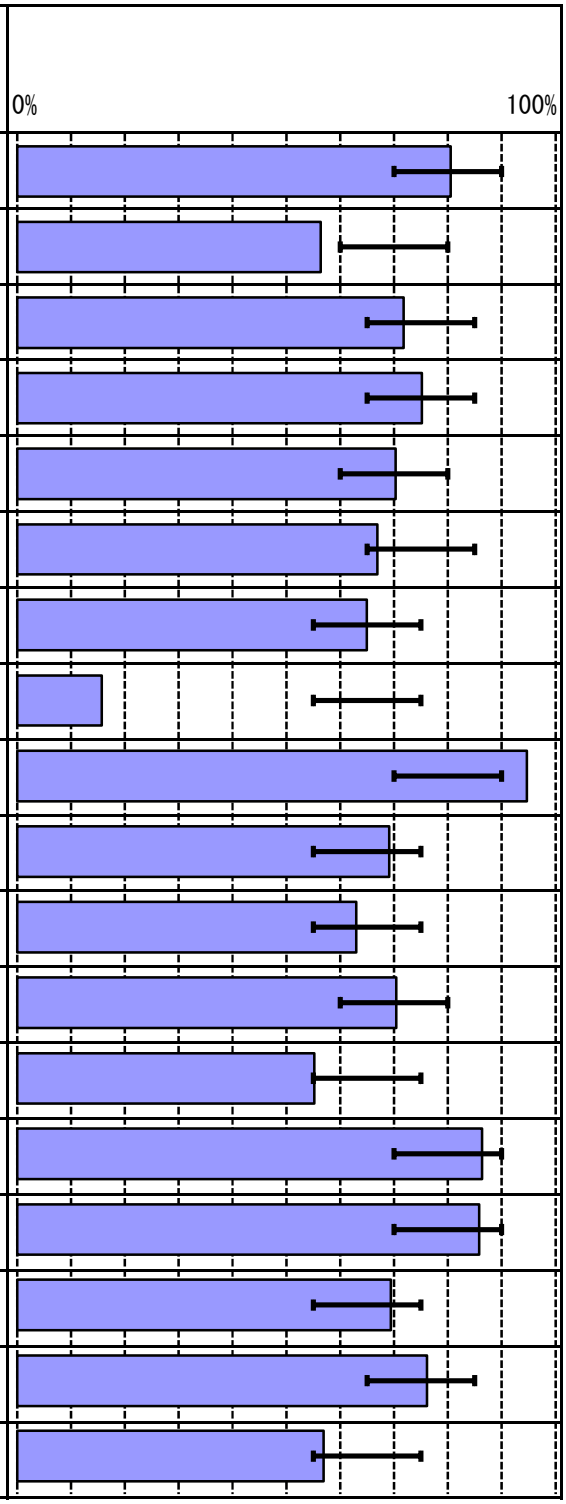
学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第４学年	A数と計算	(5)ア(イ)	・（整数）－（真分数）の計算ができる。	(3	○	
		(7)ア(ウ)※	・分配法則を用いて計算を簡単に行うことができる。	(16	○	
	B図形	(1)ア(ア)	・平行な直線の性質を理解している。	(17	○	
		(3)ア(ア)	・空間にあるものの位置の表し方を理解している。	(14	○	
		(4)ア(ア)	・教室のおよその面積を理解している。	(13	○	
	C変化と関係	(1)イ(ア)	・見いだした二つの数量の関係をもとに，必要な値を考えることができる。	(15		○
		(2)イ(ア)	・差で比べられない場合，割合を用いて比べることができる。	(12		○
	Dデータの活用	(1)ア(ア)	・二次元の表に分類整理されたデータを読み取ることができる。	(9	○	
		(1)ア(イ)	・目的に応じて，適切な一目盛りの大きさやグラフ全体の大きさを決めることができる。	(6	○	
第５学年	A数と計算	(1)ア(イ)	・最大公約数を用いて，正方形の一辺の長さを求めることができる。	(10	○	
		(2)ア(ア)	・小数を１／１００にしたときの位の下がり方や小数点の位置の移り方を理解している。	(5	○	
		(3)ア(ア)	・「比較量」と「倍」が小数で表された場面で，「基準量」を求めるために除法を用いることができる。	(4	○	
		(3)ア(イ)	・（小数）×（小数）の計算ができる。	(1	○	
			・（整数）÷（小数）の計算ができる。	(2	○	
		(3)イ(ア)	・小数の除法の答えの求め方を説明することができる。	(8		○
	B図形	(1)ア(イ)	・三角形の三つの角の大きさの和を基に，二等辺三角形の性質を用いて目的の角度を求めることができる。	(11	○	
		(4)イ(ア)	・示された立体の体積の求め方を解釈し，説明することができる。	(18		○
	C変化と関係	(1)イ(ア)	・表を基に，簡単な場合の比例の関係を考え，判断することができる。	(7		○

※の問題は，「内容の取扱い」から出題している。

小学校　５年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　68.3%

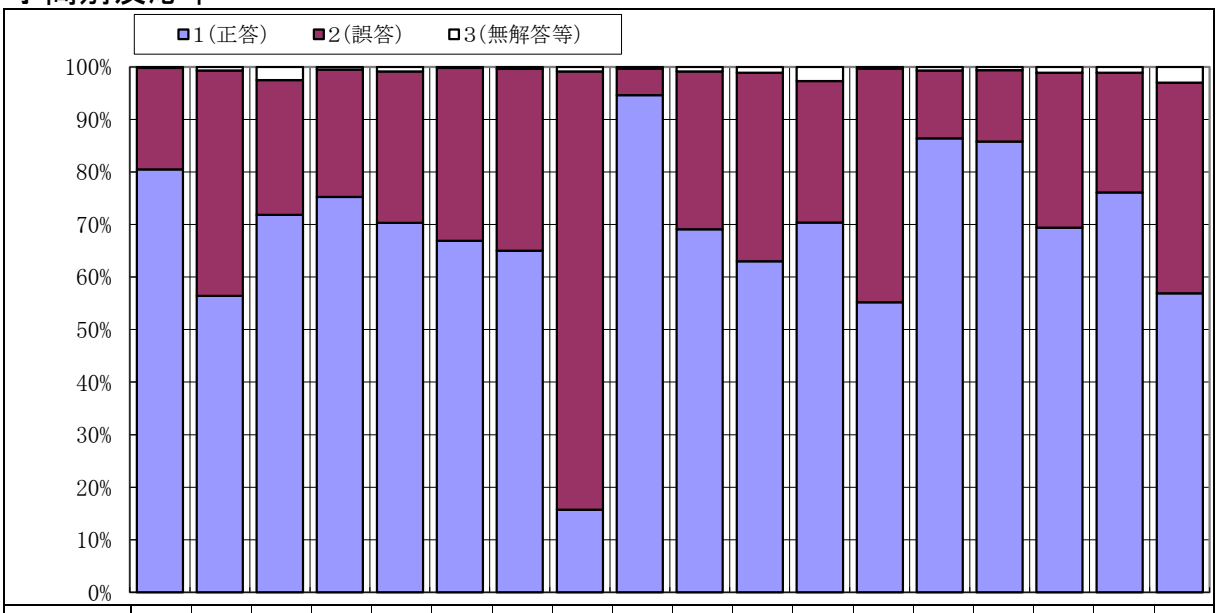
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（小数）×（小数）の計算	80.5	80.0
（2	（整数）÷（小数）の計算	56.4	70.0
（3	（整数）－（真分数）の計算	71.8	75.0
（4	基準量の求め方	75.2	75.0
（5	小数の記数法	70.3	70.0
（6	目的に応じた折れ線グラフの判断	66.9	75.0
（7	比例の関係	65.0	65.0
（8	小数の除法の答えの求め方	15.7	65.0
（9	二次元表の読み取り	94.7	80.0
（１０	最大公約数の利用	69.1	65.0
（１１	三角形の三つの角の和の利用	63.0	65.0
（１２	割合を用いた比べ方	70.4	70.0
（１３	およその面積	55.2	65.0
（１４	ものの位置の表し方	86.3	80.0
（１５	伴って変わる数量の関係	85.8	80.0
（１６	四則に関して成り立つ性質	69.4	65.0
（１７	平行四辺形の角の大きさの利用	76.1	75.0
（１８	直方体の体積の求め方	56.9	65.0



※|——|は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	80.5	56.4	71.8	75.2	70.3	66.9	65.0	15.7	94.7	69.1	63.0	70.4	55.2	86.3	85.8	69.4	76.1	56.9
2 (誤答)	19.3	42.9	25.7	24.3	28.8	32.9	34.6	83.4	5.1	30.0	35.9	26.9	44.5	12.9	13.6	29.5	22.8	40.1
3 (無解答等)	0.2	0.7	2.5	0.5	0.9	0.2	0.4	0.9	0.3	0.9	1.1	2.7	0.3	0.7	0.6	1.1	1.1	3.0

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	20	3	14	12	11	3	8		55	6	8	6	1	28	19	9	12	3	
90%～100%	27	3	16	10	9	3	1		85	5		9		49	44	5	16	6	3
80%～90%	60	17	36	47	33	18	17		33	39	22	36	10	66	72	33	57	16	10
70%～80%	43	17	39	58	46	48	35	2	3	43	24	45	16	20	29	51	45	27	68
60%～70%	24	39	43	28	36	59	53	2		48	49	37	37	9	6	38	29	34	74
50%～60%	2	41	21	12	25	33	45	2		21	42	30	60	2	2	24	10	32	18
40%～50%		24	4	6	10	9	11	6		11	23	11	32	1	2	8	5	31	1
30%～40%		22	1	2	2	2	4	12			4		13			3		14	1
20%～30%		7	1		1		1	29		1	2		4			4		7	1
10%～20%		1			1			69					1					4	
0%～10%		2	1	1	2	1	1	54		2	2	2	2	1	2	1	2	2	

小学校５年　算数　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		領域別				計
	知識・技能	思考･判断･表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
＋10％ より高い	1	0	0	0	0	1	1
±10％ の範囲内	１１	4	6	5	3	1	１５
－10％ より低い	1	1	2	0	0	0	2
計	１３	5	8	5	3	2	１８

2　考察

(1) 全体について

①18問中16問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②領域別では「数と計算」の設問において、６問中２問が設定通過率の「－10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

①最大公約数を用いて、正方形の一辺の長さを求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②「比較量」と「倍」が小数で表された場面で、「基準量」を求めるために除法を用いることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①小数の除法の答えの求め方を説明することについて、課題が見られる。

②教室のおよその面積の見当を付けることについて、課題が見られる。

3　今後の指導

除数が小数である場合の除法の意味を捉え直すとともに、答えの求め方を説明し伝え合うなどの数学的活動の充実を図る。

［参考　通し番号(8)　通過率15.7%（設定通過率65.0%）

次の【問題】の答えの求め方を，さきさんは０.１mのねだんをもとにして下のように説明しました。

【問題】

リボンを２.５m買ったら，代金は４００円でした。このリボン１mのねだんは何円ですか。

［さきさんの説明］

このリボン０.１mのねだんは，４００÷ ア で求めることができます。

だから，このリボン１mのねだんは，（４００÷ ア ）× イ で求めることができます。

［さきさんの説明］が正しくなるように，**ア**，**イ**にあてはまる数を □ の中にそれぞれ書きましょう。

・除数が小数の場合の除法について、見方を一般化して、１に当たる大きさを求めるという説明で除法を捉えることができるようにする必要がある。
・指導に当たっては、数直線や図などを用いて分かりやすく表現することが大切である。また、０．１に当たる値段を求めて１０倍する方法だけでなく、２５mに当たる値段を求めて２５で割る方法等、複数の方法を説明し伝え合う活動を取り入れることが有効である。

身の回りのものについて、およその面積の見当を付けるなどの数学的活動の充実を図る。

［参考　通し番号(13)　通過率55.2%（設定通過率65.0%）

教室の面積は，およそ何 m^2 ですか。最もふさわしいものを，次の**ア**～**エ**から１つ選んで，その**記号**を □ の中に書きましょう。

ア　６m^2

イ　６０m^2

ウ　６００m^2

エ　６０００m^2

・面積の大きさについての感覚を培えるよう、測定の経験を豊かにすることが大切である。
・長さの単位換算での経験から類推して１m^2 ＝ １００cm^2 と誤ってしまうことも想定されるため、調べる対象について、およその面積の見当を付けてから実際に測ってみるなどの数学的活動を充実させる必要がある。
・一辺が１mの正方形を用いて、１m^2の正方形いくつ分の面積になるか見当を付けるなど、基準となる大きさと比較することも有効である。

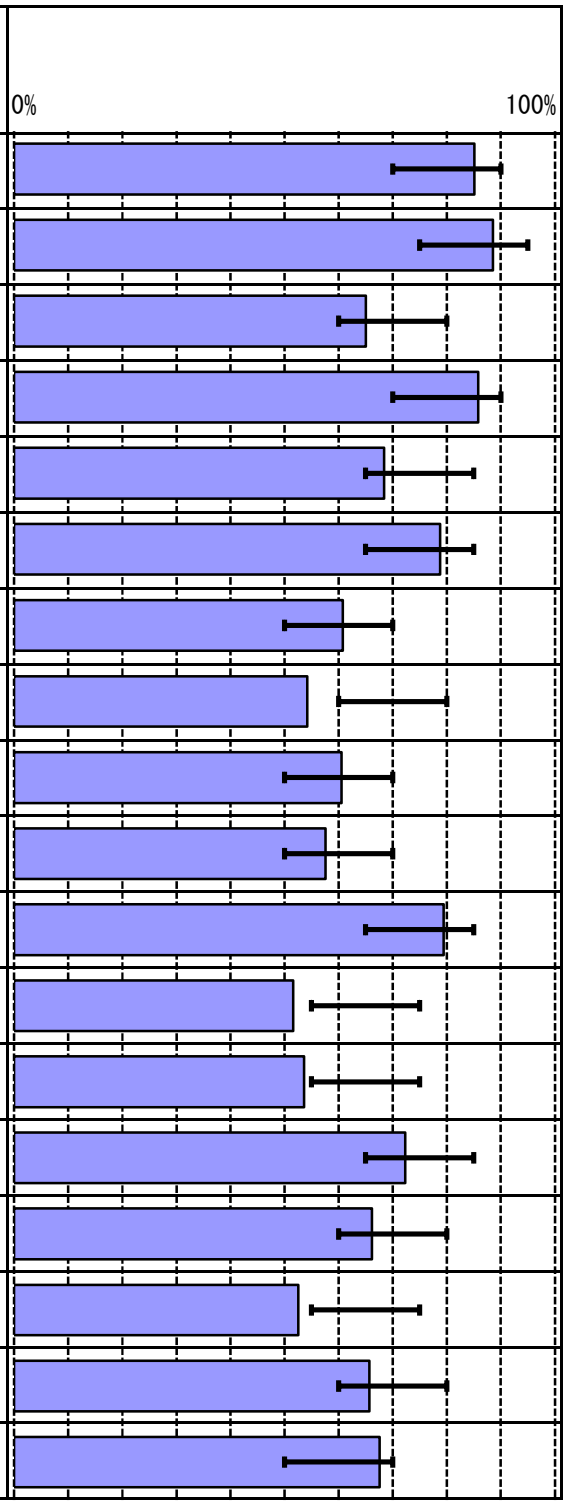
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第５学年	A数と計算	(1)ア(イ)	・最大公約数を用いて，正方形の一辺の長さを求めることができる。	(8	○	
		(5)ア(ア)	・異分母の分数の減法の計算ができる。	(1	○	
	B図形	(2)ア(ア)	・円柱の展開図に示された長方形の横の長さを求めることができる。	(12	○	
		(3)ア(ア)	・三角形の底辺と高さの関係について理解している。	(13	○	
			・長方形に内接するひし形の面積の求め方を理解している。	(17	○	
	C変化と関係	(2)ア(ア)	・速さの意味を理解している。	(15	○	
		(2)イ(ア)	・異種の二つの数量の大きさの比べ方を説明することができる。	(10		○
	Dデータの活用	(1)イ(ア)	・目的に応じて，帯グラフから読み取った内容を説明することができる。	(18		○
		(2)ア(ア)	・０を含む測定値の平均を求めることができる。	(4	○	
第６学年	A数と計算	(1)ア(ア)	・分数の乗法や除法で，乗数と積及び除数と商の大きさの関係について理解している。	(3	○	
			・「比較量」と「倍」が分数で表された場面で,「基準量」を求めるために，除法を用いることができる。	(9	○	
		(1)ア(イ)	・分数×分数の計算ができる。	(2	○	
		(1)イ(ア)	・分数の除法の計算の仕方を解釈し，示された数の場合の計算の仕方を説明することができる。	(14		○
		(2)イ(ア)	・文字を用いた式に合う問題場面を判断することができる。	(5		○
	B図形	(1)ア(イ)	・線対称，点対称の意味を理解している。	(6	○	
		(3)ア(ア)	・円の１／２の面積を求めることができる。	(11	○	
	Dデータの活用	(1)ア(イ)	・柱状グラフを基に，全体と部分から割合を求めることができる。	(16	○	
		(1)イ(ア)	・資料の特徴について，中央値を基にして考察し，説明することができる。	(7		○

小学校 ６年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 67.4%

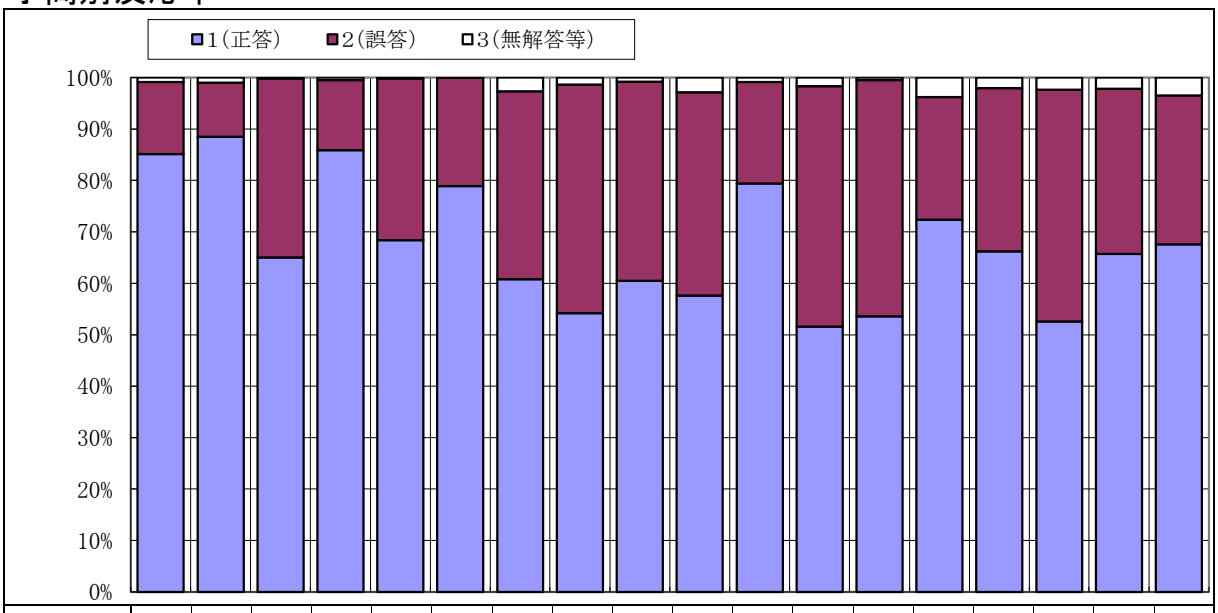
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（分数）－（分数）の計算	85.1	80.0
（2	（分数）×（分数）の計算	88.5	85.0
（3	乗数と積及び除数と商の関係	65.0	70.0
（4	０を含む平均値	85.8	80.0
（5	文字を用いた式	68.4	75.0
（6	線対称，点対称な図形	78.8	75.0
（7	中央値を用いた説明	60.8	60.0
（8	最大公約数の利用	54.2	70.0
（9	基準量と比較量の関係	60.5	60.0
（１０	単位量当たりの大きさ	57.6	60.0
（１１	半円の面積	79.4	75.0
（１２	円柱の側面の辺の長さ	51.6	65.0
（１３	三角形の底辺と高さ	53.6	65.0
（１４	分数の除法の計算の仕方	72.3	75.0
（１５	速さの意味	66.2	70.0
（１６	柱状グラフと割合	52.5	65.0
（１７	ひし形の面積	65.7	70.0
（１８	必要な情報の読み取りと説明	67.6	60.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	85.1	88.5	65.0	85.8	68.4	78.8	60.8	54.2	60.5	57.6	79.4	51.6	53.6	72.3	66.2	52.5	65.7	67.6
2 (誤答)	14.0	10.5	34.8	13.6	31.4	21.0	36.5	44.4	38.7	39.5	19.7	46.8	46.0	23.8	31.7	45.0	32.1	28.9
3 (無解答等)	0.9	1.0	0.2	0.5	0.2	0.1	2.7	1.4	0.8	2.9	0.9	1.7	0.5	3.8	2.1	2.4	2.2	3.5

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	33	43	8	21	7	7	6	7	8	3	19	4	4	11	9	2	4	10	
90%～100%	42	52	8	47	5	12	4	2	9		16	2	1	13	10	2	6	11	3
80%～90%	64	58	18	67	18	66	15	9	16	20	66	5	6	31	23	11	23	41	19
70%～80%	26	17	41	35	52	59	32	21	26	34	50	14	14	59	30	16	40	35	46
60%～70%	9	5	38	4	53	25	34	29	37	31	19	31	34	37	54	30	49	27	82
50%～60%	1	1	37	2	28	4	40	44	34	43	2	48	54	17	35	41	36	19	21
40%～50%			14		6	1	24	31	34	28	3	30	37	4	11	44	13	13	4
30%～40%	1		6		2	1	12	26	7	12		29	19	3	2	19	3	9	1
20%～30%			3		2		5	4	5	3		10	4		1	10		7	
10%～20%			1		1		4	3				2						3	
0%～10%			2		2	1				2	1	1	3	1	1	1	2	1	

小学校６年　算数　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ／ 設定通過率の	観点別		領域別				計
	知識・技能	思考･判断･表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	9	5	6	3	2	3	１４
－10％ より低い	4	0	1	2	0	1	4
計	１３	5	7	5	2	4	１８

2　考察

(1) 全体について

①18問中14問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別では、「知識・技能」の設問において、13問中４問が設定通過率の「－10％より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

①「比較量」と「倍」が分数で表された場面で、「基準量」を求めるために、除法を用いることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②異種の二つの数量の大きさの比べ方を説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①文字を用いた式に合う問題場面を判断することついて、課題が見られる。

②三角形の底辺と高さの関係について理解することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりする学習活動を工夫する。

［参考　通し番号(5) 通過率68.4％（設定通過率75.0％）

x と y の関係が「５０÷ x ＝ y 」の式で表される場面を，次の**ア**～**エ**から１つ選んで，その**記号**を □ の中に書きましょう。

ア　底辺が５０cm，高さが x cmの三角形の面積は y cm^2 です

イ　底辺が５０cm，高さが x cmの平行四辺形の面積は y cm^2 です。

ウ　面積が５０cm^2 の長方形の縦（たて）の長さを x cmとしたとき，横の長さは y cmです。

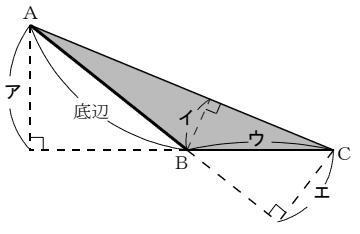
エ　まわりの長さが５０cmの長方形の縦の長さを x cmとしたとき，横の長さは y cmです。

・数量を表す言葉や□、△などの記号の代わりに、文字を用いて式に表し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現できるようにする必要がある。
・指導に当たっては、文字を用いて表した式から具体的な事柄を読み取ったり、文字に順序よく数を当てはめたりして、問題解決に生かすようにする。
・このような経験を積み重ねることで、以降の学習や中学校数学でも、文字を用いた式を積極的に活用できるようにする素地を養うことが大切である。

三角形の底辺と高さの関係を捉える学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(13) 通過率53.6％（設定通過率65.0％）

次の三角形ＡＢＣの面積の求め方を考えます。辺ＡＢを底辺とするとき，高さはどこの長さになりますか。次の**ア**～**エ**から１つ選んで，その**記号**を □ の中に書きましょう。



・三角形のどの辺を底辺と見るかにより、高さとなる辺が異なることを理解する必要がある。
・指導に当たっては、例えば、鈍角三角形を二つ組み合わせた平行四辺形について、高さがどこになるのかを確認することが考えられる。その上で、三角形の高さは、底辺と向かい合った頂点から底辺の延長線上に垂直に引いた線分の長さとなっていることを、実感を伴って理解できるようにすることが大切である。

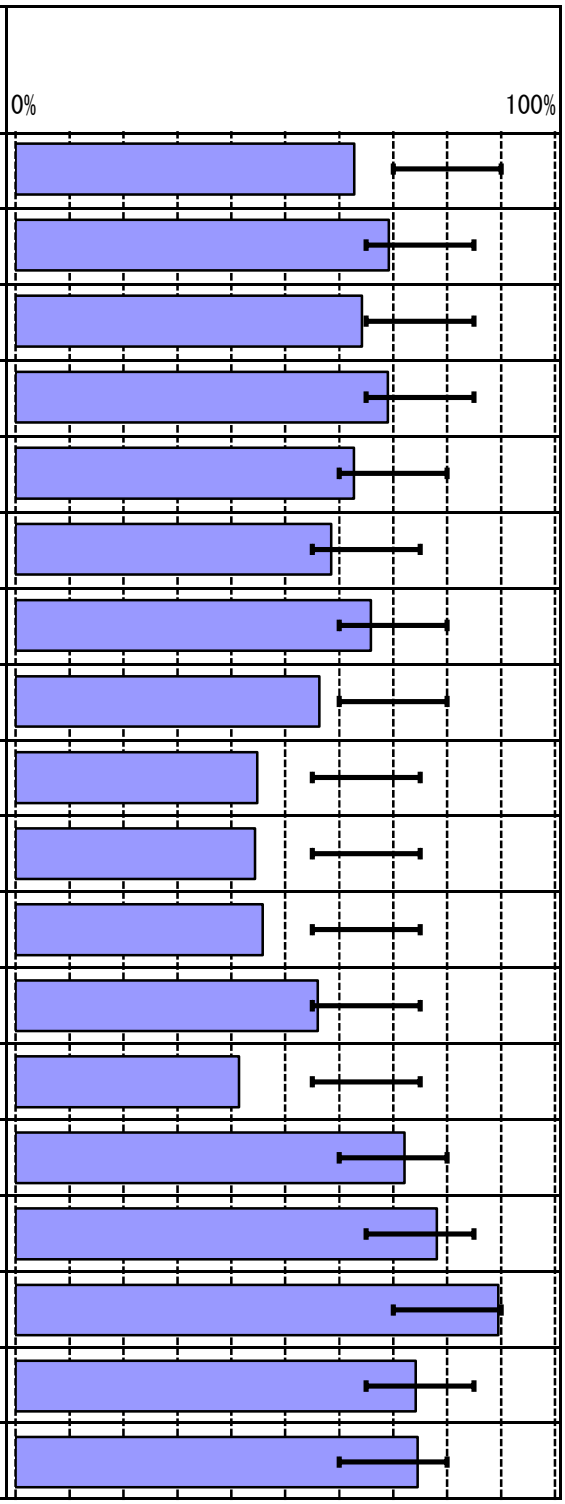
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
小学校第5学年	C変化と関係	(2)ア(ア)	・速さの意味を理解している。	(4	○	
小学校第6学年	B図形	(1)ア(ア)	・縮図の意味を理解している。	(7	○	
		(4)ア(ア)	・三角柱の体積を求めることができる。	(11	○	
	C変化と関係	(1)イ(ア)	・具体的な場面で，比例のグラフを用いて必要な数量を見いだすことができる。	(15		○
			・表を基に，反比例の関係であることを判断することができる。	(16		○
		(2)ア(ア)	・二つの数量の関係を比で表し，等しい比の関係を求めることができる。	(5	○	
	Dデータの活用	(1)ア(ア)	・与えられたデータから，中央値を求めることができる。	(14	○	
		(1)イ(ア)	・柱状グラフから必要な情報を読み取って判断し，その根拠を明らかにして説明することができる。	(9		○
		(2)イ(ア)	・組み合わせについて，落ちや重なりがないように調べる方法を説明することができる。	(17		○
中学校第1学年	A数と式	(1)ア(ア)	・整数について理解している。	(8	○	
		(1)ア(イ)	・正負の数の四則の混じった式の計算ができる。	(1	○	
		(1)イ(イ)	・具体的な場面で正負の数を利用し，問題解決の方法を説明することができる。	(18		○
		(2)ア(ア)	・図を基に，棒の本数の求め方を，文字を用いた式で表すことができる。	(13	○	
		(2)ア(ウ)	・一次式と数の除法の計算ができる。	(2	○	
		(2)ア(エ)	・事象の中にある数量を，文字を用いた式で表すことができる。	(6	○	
			・事象の中にある数量の関係を，文字を用いて表すことができる。	(10	○	
		(3)ア(イ)	・xの係数に小数を含んだ一次方程式を解くことができる。	(3	○	
		(3)イ(イ)	・具体的な場面で，一次方程式をつくることができる。	(12		○

中学校　１年　数学　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　62.7%

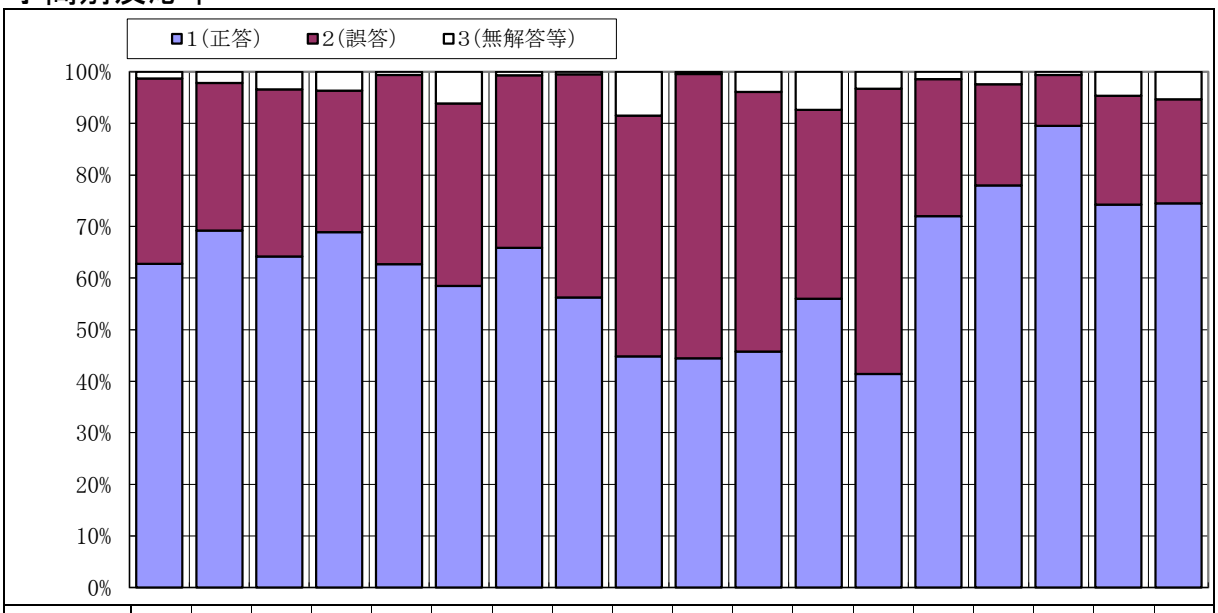
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	正負の数の四則の混じった式の計算	62.8	80.0
（2	一次式と数の除法の計算	69.2	75.0
（3	xの係数に小数を含んだ一次方程式	64.2	75.0
（4	速さの意味	69.0	75.0
（5	等しい比	62.7	70.0
（6	文字を用いた式	58.5	65.0
（7	縮図の意味	65.9	70.0
（8	整数	56.3	70.0
（9	柱状グラフの読み取り	44.8	65.0
（１０	文字を用いた数量の関係	44.4	65.0
（１１	三角柱の体積	45.8	65.0
（１２	一次方程式の利用	56.0	65.0
（１３	文字式の利用	41.4	65.0
（１４	中央値	72.1	70.0
（１５	比例のグラフの利用	78.1	75.0
（１６	反比例の意味や性質	89.5	80.0
（１７	起こり得る場合の数	74.2	75.0
（１８	正負の数の利用	74.5	70.0



※|——|は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　数学

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	62.8	69.2	64.2	69.0	62.7	58.5	65.9	56.3	44.8	44.4	45.8	56.0	41.4	72.1	78.1	89.5	74.2	74.5
2 (誤答)	36.0	28.6	32.4	27.4	36.7	35.4	33.4	43.3	46.7	55.2	50.4	36.6	55.3	26.6	19.6	9.9	21.2	20.2
3 (無解答等)	1.3	2.2	3.4	3.7	0.6	6.1	0.7	0.5	8.5	0.4	3.9	7.4	3.3	1.4	2.4	0.6	4.6	5.3

小問別通過率度数分布表（105校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	1	1	2	2	1	3	1	2	1	1	1			3	7	11	3	5	
90%～100%	1	8	1	3	2	2	4	1	1					7	11	44	8	8	1
80%～90%	8	21	8	6	5	10	10	5	1		2	6	3	19	25	44	27	22	3
70%～80%	22	32	24	35	20	19	22	9	8	3	1	10	3	33	47	4	34	41	16
60%～70%	35	21	30	45	35	25	38	25	6	8	12	19	7	27	12	1	20	21	46
50%～60%	25	12	33	13	31	26	23	30	25	21	26	34	19	15	2		12	7	38
40%～50%	10	7	6	1	8	12	5	18	31	32	32	21	27						1
30%～40%	2	3	1		2	7	1	13	25	31	19	11	21					1	
20%～30%						1		2	7	6	11	3	18				1		
10%～20%										2	1		6						
0%～10%	1				1		1			1		1	1	1	1	1			

中学校１年　数学　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別		領域別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式 数と計算	図形	関数 変化と関係	データの活用	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	6	5	4	1	4	2	１１
－10％ より低い	6	1	5	1	0	1	7
計	１２	6	9	2	4	3	１８

2　考察

(1) 全体について

①18問中７問が設定通過率の「－10％より低い」であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。

②観点別では、「知識・技能」において設定通過率の「－10％より低い」設問が、12問中６問あり、課題が見られる。

(2) 成果

①具体的な場面で、一次方程式をつくることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②組み合わせについて、落ちや重なりがないように調べる方法を説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①事象の中にある数量の関係を、文字を用いて表すことについて、課題が見られる。

②三角柱の体積を求めることについて、課題が見られる。

3　今後の指導

数量の関係を統合的に捉える学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(10) 通過率44.4％
（設定通過率65.0％）

赤色のテープと青色のテープの長さについて，次のことがわかっています。

赤色のテープの長さは，a mです。
青色のテープの長さは，b mです。
赤色のテープの長さは，青色のテープの長さの３倍です。

a，b の数量の関係を表した式として正しいものを，次のア～ウから１つ選んで，その記号を書きなさい。

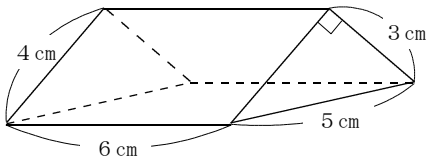
ア　$b=3a$　　イ　$b=\frac{3}{a}$　　ウ　$b=\frac{a}{3}$

・倍の関係を式で表すことについては、小学校算数科における整数、小数、分数の学習を通して繰り返し学習している。中学校でも必要に応じて学び直しの機会を設け、理解を深めることができるようにする必要がある。
・指導に当たっては、数量の関係を捉えて数直線や図に表したり、文字に具体的な数を代入して数量の関係が正しいかどうかを振り返ったりする活動を取り入れることが大切である。

角柱、円柱の体積について、体積を求める公式の意味を考察する学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(11) 通過率45.8％
（設定通過率65.0％）

次の図のような三角柱の体積を求めなさい。



・角柱や円柱の体積が「底面積×高さ」の公式で表すことができる理由は、高さが１cmの柱体の体積を高さの分だけ倍にしているからだということを、実感を伴って理解できるようにする必要がある。
・その際、左図のような三角柱を提示し、どこが底面でどこが高さとなるのかを考え、その根拠をペアで説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。向かい合った合同な２つの面が「底面」となることを改めて確認することが大切である。

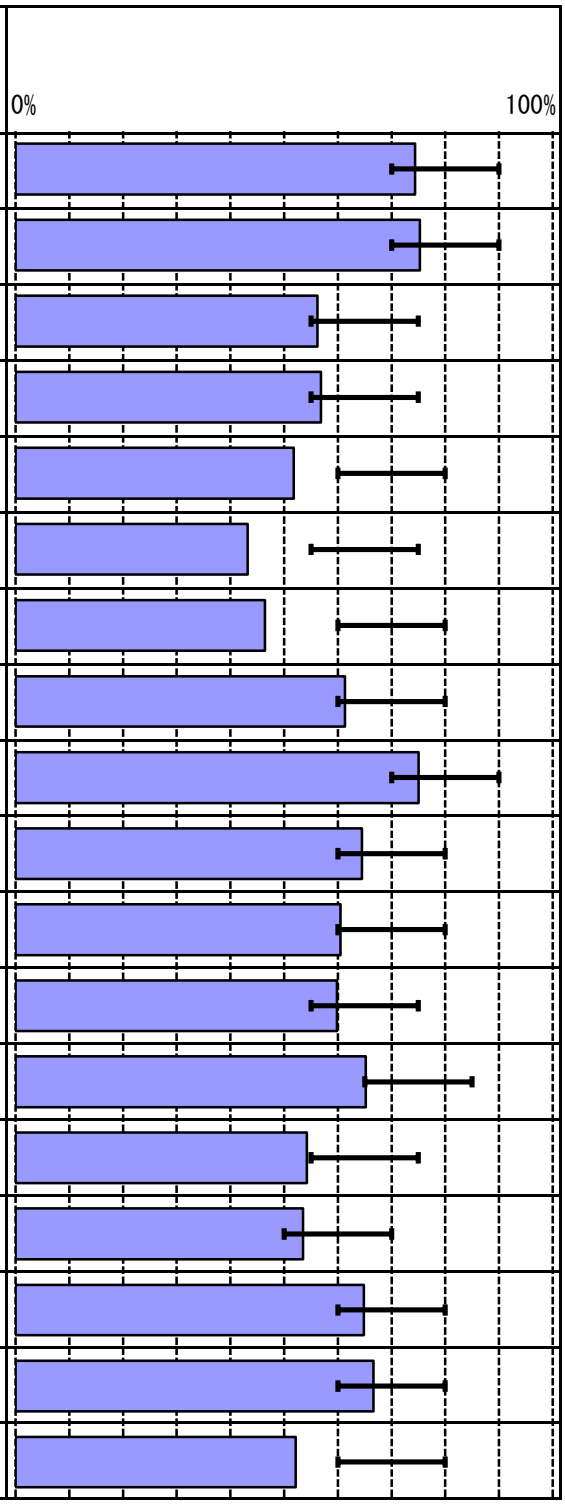
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
中学校第1学年	A数と式	(2)ア(エ)	・事象の中にある数量を，文字を用いた式で表すことができる。	(5	○	
	B図形	(1)ア(ア)	・２辺が重なるように折るときの折り目を，角の二等分線を用いて作図することができる。	(14	○	
		(1)ア(イ)	・回転移動について理解している。	(13	○	
		(2)ア(ア)	・ねじれの位置について理解している。	(9	○	
		(2)ア(イ)	・おうぎ形の面積を求めることができる。	(7	○	
			・正四角錐の体積を求めることができる。	(11	○	
	C関数	(1)ア(エ)	・反比例の表から式を求めることができる。	(6	○	
	Dデータの活用	(1)ア(ア)	・累積相対度数を求めることができる。	(8	○	
		(1)イ(ア)	・データの傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	(15		○
中学校第2学年	A数と式	(1)ア(ア)	・簡単な整式の減法の計算ができる。	(1	○	
		(1)ア(イ)	・数量を文字を用いた式で表すことができる。	(4	○	
		(1)ア(エ)	・等式を目的に応じて変形することができる。	(3	○	
		(1)イ(イ)	・整数の性質について，文字を使った式を用いて説明することができる。	(18		○
		(2)ア(ウ)	・連立方程式を解くことができる。	(2	○	
		(2)イ(イ)	・具体的な場面で，数量の関係を捉えて連立方程式をつくることができる。	(12		○
	C関数	(1)ア(ア)	・一次関数の変化の割合の意味を理解している。	(10	○	
		(1)イ(ア)	・具体的な事象について，一次関数のグラフを用いて考えることができる。	(16		○
		(1)イ(イ)	・具体的な事象について，グラフを利用して解決する方法を説明することができる。	(17		○

中学校　２年　数学　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　60.1%

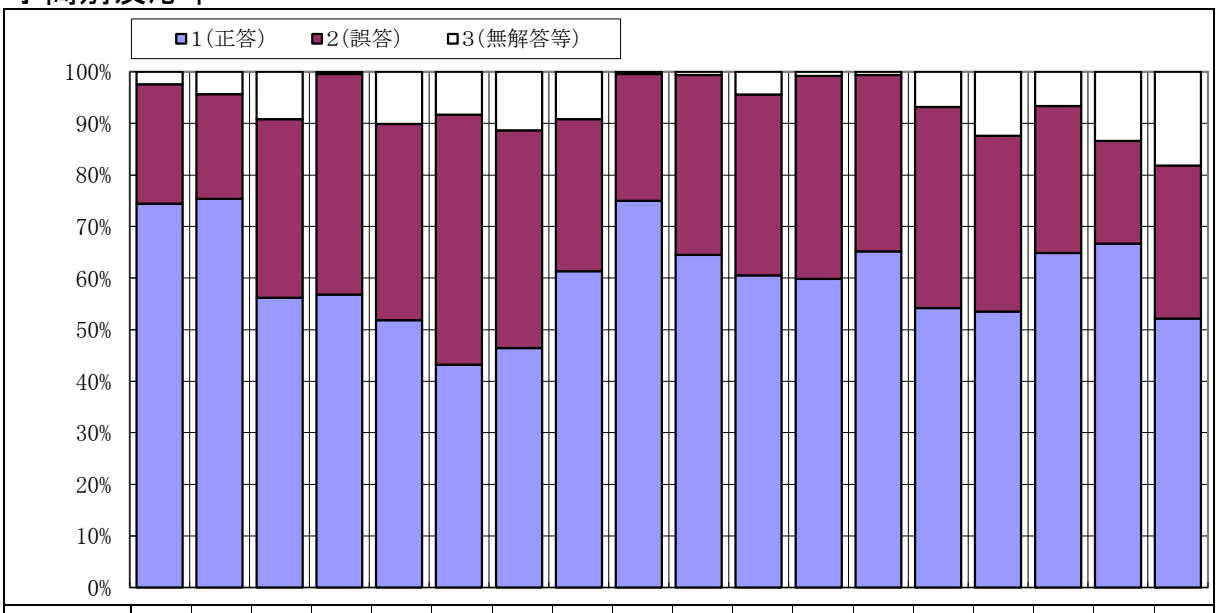
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	一次式の計算	74.4	80.0
（2	連立方程式	75.3	80.0
（3	等式の変形	56.2	65.0
（4	連続する二つの偶数	56.8	65.0
（5	文字を用いた式	51.8	70.0
（6	反比例の式	43.2	65.0
（7	おうぎ形の面積	46.4	70.0
（8	累積相対度数	61.3	70.0
（9	ねじれの位置	75.0	80.0
（１０	一次関数の変化の割合	64.5	70.0
（１１	正四角錐の体積	60.5	70.0
（１２	連立方程式の立式	59.8	65.0
（１３	回転移動	65.2	75.0
（１４	角の二等分線の作図	54.2	65.0
（１５	ヒストグラムの利用	53.5	60.0
（１６	一次関数の読み取り	64.8	70.0
（１７	一次関数の利用	66.6	70.0
（１８	文字を用いた説明	52.1	70.0



※|——|は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　数学

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	74.4	75.3	56.2	56.8	51.8	43.2	46.4	61.3	75.0	64.5	60.5	59.8	65.2	54.2	53.5	64.8	66.6	52.1
2 (誤答)	23.2	20.3	34.6	42.8	38.1	48.5	42.3	29.5	24.6	34.9	35.1	39.4	34.2	39.0	34.1	28.5	19.9	29.7
3 (無解答等)	2.4	4.3	9.2	0.4	10.1	8.3	11.3	9.2	0.4	0.6	4.4	0.8	0.6	6.8	12.4	6.6	13.4	18.2

小問別通過率度数分布表（106校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	4	1	2	2	2	1	3	4	7	3	1	3	1	1	1	3	3	3	
90%～100%	4	6		4	1		1	3	10	1	3	1	3		1	1	2	2	2
80%～90%	23	23	6	5	3	3	2	3	16	10	14	5	3	6	2	3	12	3	3
70%～80%	41	49	10	8	3	2	2	30	38	15	15	12	25	11	8	22	35	3	6
60%～70%	25	20	26	18	15	5	10	21	25	39	28	29	42	19	19	46	30	16	41
50%～60%	8	6	28	28	37	14	22	24	6	27	23	36	24	34	35	26	10	31	44
40%～50%			22	30	28	32	34	13	4	9	10	13	6	18	23	4	5	30	9
30%～40%			8	7	15	32	24	5		2	5	4	1	7	11	1	3	15	
20%～30%			2	3	1	15	6	1			5	1		8	4		4	2	1
10%～20%			1				2				1			1			1		
0%～10%	1	1	1	1	1	2		2			1	2	1	1	2		1	1	

中学校２年　数学　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		領域別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式	図形	関数	データの活用	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	9	4	5	3	3	2	１３
－10％ より低い	4	1	2	2	1	0	5
計	１３	5	7	5	4	2	１８

2　考察

(1) 全体について

①18問中13問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別では、「知識・技能」において設定通過率の「－10％より低い」設問が13問中４問あり、課題が見られる。

(2) 成果

①正四角錐の体積を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

②具体的な事象について、グラフを利用して解決する方法を説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

①おうぎ形の面積を求めることについて、課題が見られる。

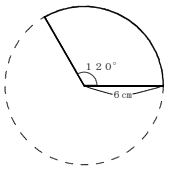
②整数の性質について、文字を使った式を用いて説明することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

おうぎ形の弧の長さや面積の公式をつくる過程を大切にし、おうぎ形を円の一部として捉え、中心角と弧の長さや面積の関係を見いだす学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(7) 通過率46.4％
（設定通過率70.0％）

次の図のような，半径６㎝，中心角が１２０°のおうぎ形があります。このおうぎ形の面積を求めなさい。ただし，円周率をπとします。



・半径が等しい円とおうぎ形を比較する場面を設定し、おうぎ形を円の一部として捉えることができるようにする必要がある。
・指導に当たっては、同じ半径のおうぎ形を基に、中心角を様々な大きさに変えて弧の長さや面積を調べる活動を取り入れることが有効である。活動を通して、弧の長さや面積が、おうぎ形の中心角の大きさに比例する数量となっていることを見いだす場面を設定することが大切である。

事柄が成り立つ理由の説明を、根拠を明らかにしながら洗練されたものにする学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(18) 通過率52.1％
（設定通過率70.0％）

たけるさんとゆうかさんは，２けたの自然数と，その自然数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数について，どのような性質が成り立つかを調べています。

中略

ゆうかさんは，たけるさんの考えを参考に，この２つの数の和について調べました。

［ゆうかさんの考え］

【調べたこと】	【予想】
21+12=33　33=11×3 42+24=66　66=11×6 63+36=99　99=11×9	２けたの自然数と，その自然数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数の和は，１１の倍数になる。

ゆうかさんは，自分の予想がいつでも成り立つことを，文字を使って次のように説明しました。［ゆうかさんの説明］が正しくなるように，［　　］に説明の続きを書きなさい。

［ゆうかさんの説明］

２けたの自然数の十の位の数を x，一の位の数を y とすると，

［　　］

したがって，２けたの自然数と，その自然数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数の和は，１１の倍数になる。

・事柄が成り立つ理由を説明する学習の際には、説明を洗練されたものにしていく活動を取り入れることが大切である。
・例えば、本設問において、「１１x＋１１y」という表現にとどまっているものを取り上げ、「１１（x＋y）」と変形できることを確認する必要がある。さらに、「x、yが自然数であるため、x＋yが整数となる」ことを基に、「x＋yが整数だから、１１（x＋y）は１１の倍数である。」と説明できることも確認する必要がある。

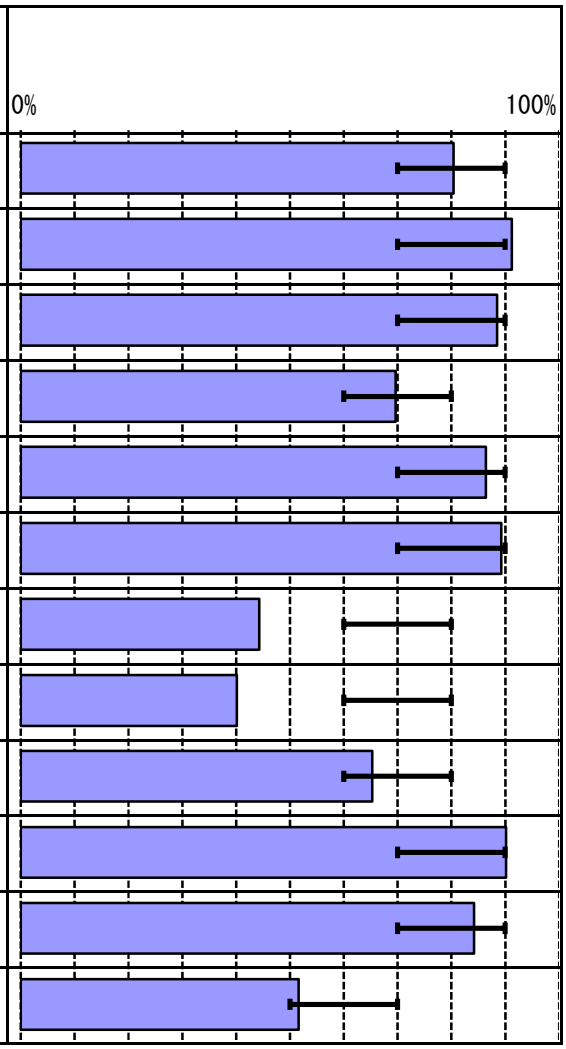
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第４学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第３学年	B 生命・地球	(1)ア(ｲ)	・昆虫の成虫の体は頭，胸及び腹からできていることを理解している。	(1	○	
		(1)ア(ｳ)	・虫眼鏡の使い方に関する技能を身に付けている。	(2	○	
		(1)ア(ｳ)	・植物の育ち方には，一定の順序があることを理解している。	(3	○	
		(2)イ	・太陽の位置の変化と地面にできる影の位置の変化を関係付けて考察し，表現している。	(4		○
	A 物質・エネルギー	(3)イ	・音が出ている物体は震えていることを，結果を基に考察し，表現している。	(9		○
		(1)イ	・物は，体積が同じでも重さが違うことがあることを，結果を基に考察し，表現している。	(5		○
		(4)イ	・磁石にはＮ極とＳ極があることと磁石の性質を関係付けて考察し，表現している。	(6		○
第４学年		(3)ア(ｱ)	・電池のつなぎ方を変えると，電流の向きが変わり，モーターの回り方が変わることを理解している。	(7	○	
		(3)ア(ｱ)	・電流の大きさや向きを計測できる器具が，検流計であることを理解している。	(8	○	
	B 生命・地球	(1)ア(ｲ)	・体の各部の曲がるところを関節ということを理解している。	(10	○	
		(5)ア(ｱ)	・方位磁針を操作する技能を身に付けている。	(11	○	
		(5)イ	・星ざと月を観察した結果を基に，見え方の共通点を考察し，表現している。	(12		○

小学校　４年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　73.4%

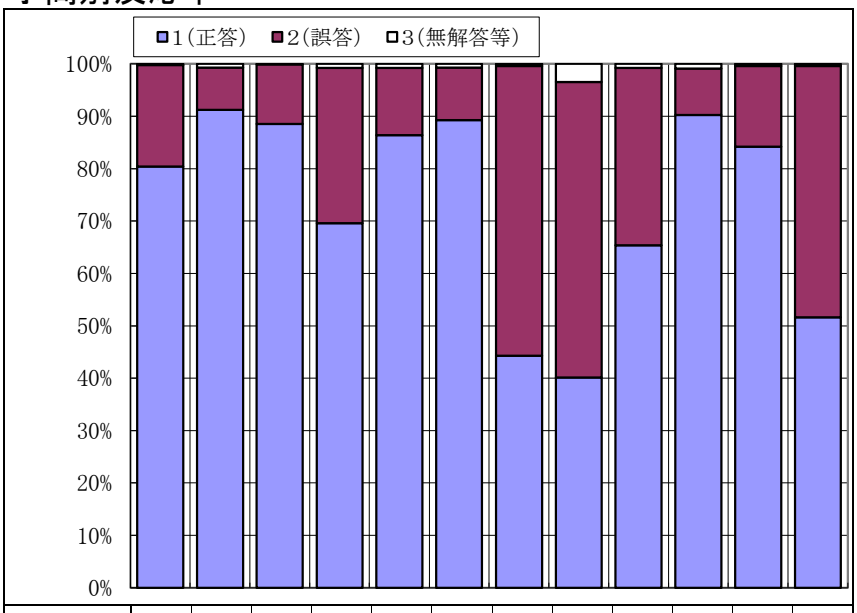
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	昆虫の成虫の体の特徴	80.4	80.0
（2	虫眼鏡の使い方	91.2	80.0
（3	植物の育ち方の順序	88.5	80.0
（4	地面にできる影の動き方	69.6	70.0
（5	物の体積と重さ	86.4	80.0
（6	磁石の性質	89.3	80.0
（7	電池のつなぎ方と電流の向きの関係	44.3	70.0
（8	検流計	40.1	70.0
（9	音が出ている物体のようす	65.3	70.0
（１０	関節	90.2	80.0
（１１	方位磁針の使い方	84.2	80.0
（１２	星座と月の見え方	51.6	60.0



※⊢―⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12
1 (正答)	80.4	91.2	88.5	69.6	86.4	89.3	44.3	40.1	65.3	90.2	84.2	51.6
2 (誤答)	19.4	8.1	11.4	29.6	12.8	10.1	55.3	56.4	33.8	8.9	15.4	48.0
3 (無解答等)	0.2	0.7	0.1	0.8	0.8	0.7	0.4	3.5	0.8	0.9	0.4	0.4

小問別通過率度数分布表（175校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	平均通過率
100%	39	48	40	10	33	40	2	7	9	53	37	4	
90%～100%	34	70	60	6	55	57	1	5	6	58	51	7	8
80%～90%	32	41	54	34	53	60	7	10	26	46	43	12	47
70%～80%	39	10	15	47	26	17	16	12	35	16	27	24	65
60%～70%	19	5	5	46	3	1	19	10	41	1	13	21	51
50%～60%	4	1	1	24	1		28	17	37		2	24	4
40%～50%	7			4			39	21	16	1	2	24	
30%～40%	1			3			31	30	4			34	
20%～30%				1	2		24	29				11	
10%～20%					2		5	18				11	
0%～10%							3	16	1			3	

小学校４年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		内容区分別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10%より高い	2	0	0	2	2
±10%の範囲内	3	5	3	5	8
－10%より低い	2	0	2	0	2
計	7	5	5	7	１２

2　考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①植物の育ち方の順序について、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

②「生命・地球」に関する設問は、全ての設問で設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。

(3) 課題

①電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解することについて、課題が見られる。

②星座と月を観察した結果を基に、見え方の共通点を考察し、表現することについて、課題が見られる。

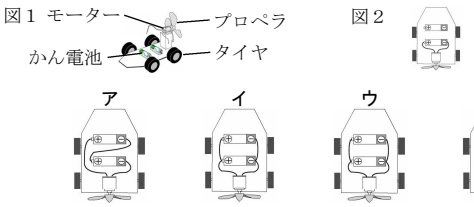
3　今後の指導

予想や仮説を基にして、見通しをもって観察、実験を行うことなど、問題を科学的に解決しようとする学習活動の充実を図る。

・既習の内容や生活経験を基に予想や仮説を行い、観察、実験の方法を発想する活動の充実を図ることが大切である。
・通し番号(7については、例えば、乾電池１個の向きを変えたときのモーターの回る向きの違いを調べる活動を取り入れ、「乾電池の向きを変えるとモーターの回る向きも変わる」ということに気付かせることで、乾電池２個を用いた際のモーターの回り方について、見通しをもたせることが考えられる。その際、電流の向きについて、個々の考えを図にかいたものを一覧にして可視化し、多様な考えを比較・検討する場面を設定することも考えられる。

[参考　通し番号（7]

あいさんは，図１のような，プロペラが回って動く車をつくり，かん電池の数やかん電池とモーターのつなぎ方を変えたときの，車の進む向きと速さについて調べました。図２は，かん電池１こをモーターにつないだときの車を上から見たようすを表しています。また，下の**ア**～**エ**は，かん電池２こをモーターにつないだときのようすです。



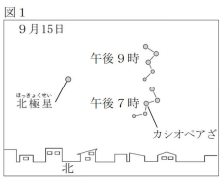
(1) 図２の車とくらべて，プロペラが同じ向きに回り，車が同じ向きに進むつなぎ方はどれですか。**ア**～**エ**から**２つ**選んで，□の中に記号を書きなさい。

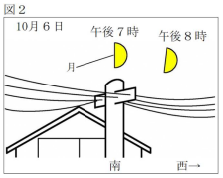
理科の見方・考え方を働かせ、問題解決の活動の充実を図る。

・理科の見方・考え方を自在に働かせ、問題解決に取り組む活動を充実させるためには、学習の中で、理科の見方・考え方を働かせる場面を意図的に設定するなどして、児童が自然の事物・現象に関わることが大切である。
・通し番号(12 については、例えば、はじめに、図１、図２のような資料を基に、月や星の位置の変化や時間の経過に着目しながら比較し、見いだした特徴を表を用いて整理する。次に、共通点や差異点について、考え、表現させるといった活動が考えられる。

[参考　通し番号（12]

ひろしさんは，図１と図２の記録カードから，星ざと月の見え方で似ていることを次のようにまとめました。＜似ていること＞が正しくなるように（あ），（い）に当てはまる言葉を，それぞれ下の**ア**～**エ**から**すべて**選んで，□の中に記号を書きなさい。





＜似ていること＞
・時間がたったときに，（ あ ）は変わる。
・一日のうちで，（ い ）は変わらない。

ア　星ざのならび方　　**イ**　星ざの見える位置
ウ　月の形　　**エ**　月の見える位置

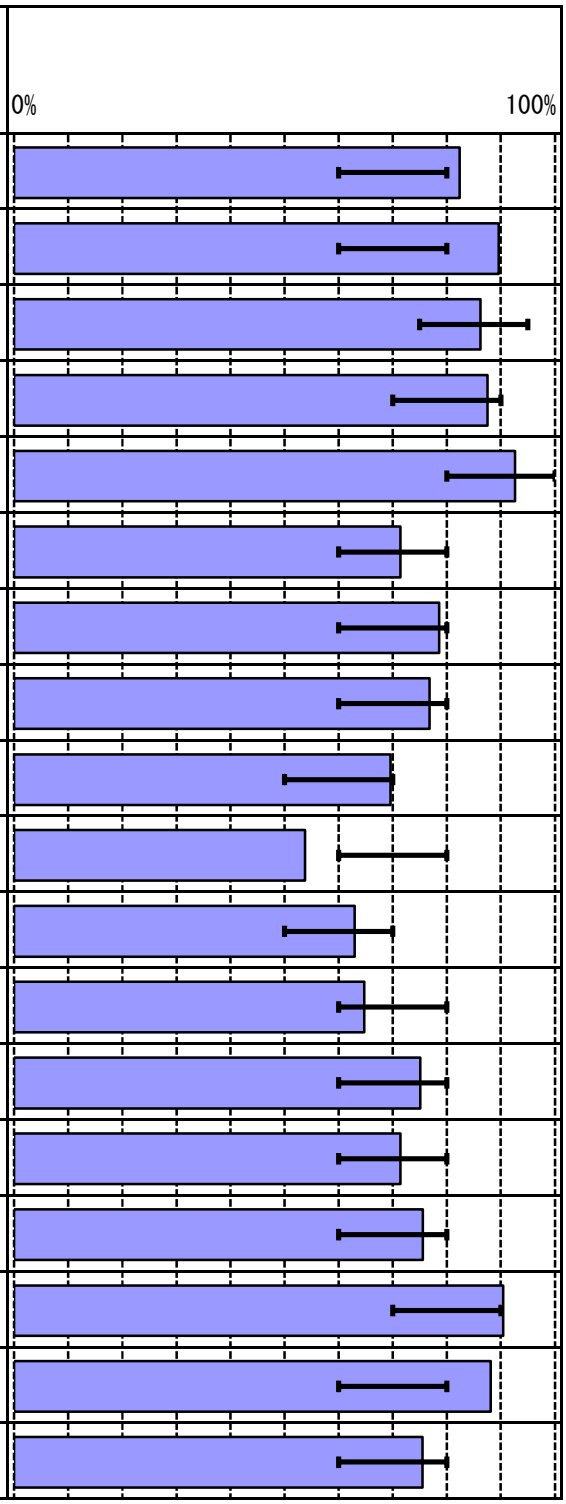
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第５学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第４学年	B 生命・地球	(4)ア(ｲ)	・水面の変化を比較するための実験方法について理解している。	(1	○	
		(4)イ	・水は蒸発し空気中に含まれていくことについて考察し，表現している。	(2		○
		(5)ア(ｳ)	・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。	(3	○	
		(5)ア(ｲ)	・星には明るさや色の違いがあることを理解している。	(4	○	
		(5)イ	・星の集まりの並び方や位置の変化を考察し，表現している。	(5		○
	A 物質・エネルギー	(2)イ	・金属，水及び空気の温度による体積の変化の程度を考察し，表現している。	(6		○
		(2)イ	・全て氷になった後，更に冷やすと温度が下がることを結果と関連付けて考察し，表現している。	(7		○
		(2)ア(ｳ)	・固体について理解している。	(8	○	
		(2)イ	・閉じ込めた空気と水を圧し縮めたときの体積の変化を考察し，表現している。	(11		○
第５学年	B 生命・地球	(1)ア(ｴ)	・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。	(9	○	
		(1)ア(ｴ)	・顕微鏡の倍率の求め方を理解している。	(10	○	
		(4)イ	・天気の変化の仕方について，気象情報を基に考察し，表現している。	(12		○
		(1)イ	・受粉の仕組みについて条件を制御して調べる実験の方法を考え，表現している	(13		○
		(2)ア(ｱ)	・メダカの雌雄の体の形状が異なることを理解している。	(14	○	
		(2)ア(ｱ)	・たまごと精子が合体したものが受精卵であることを理解している。	(15	○	
		(2)イ	・メダカのたまごの様子を判断し，成長の過程にしたがって表現している。	(16		○
		(1)ア(ｱ)	・でんぷんの有無を調べる方法を理解している。	(17	○	
		(1)イ	・発芽するときの子葉に含まれるでんぷんの役割を考察し，表現している。	(18		○

小学校 ５年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　77.4%

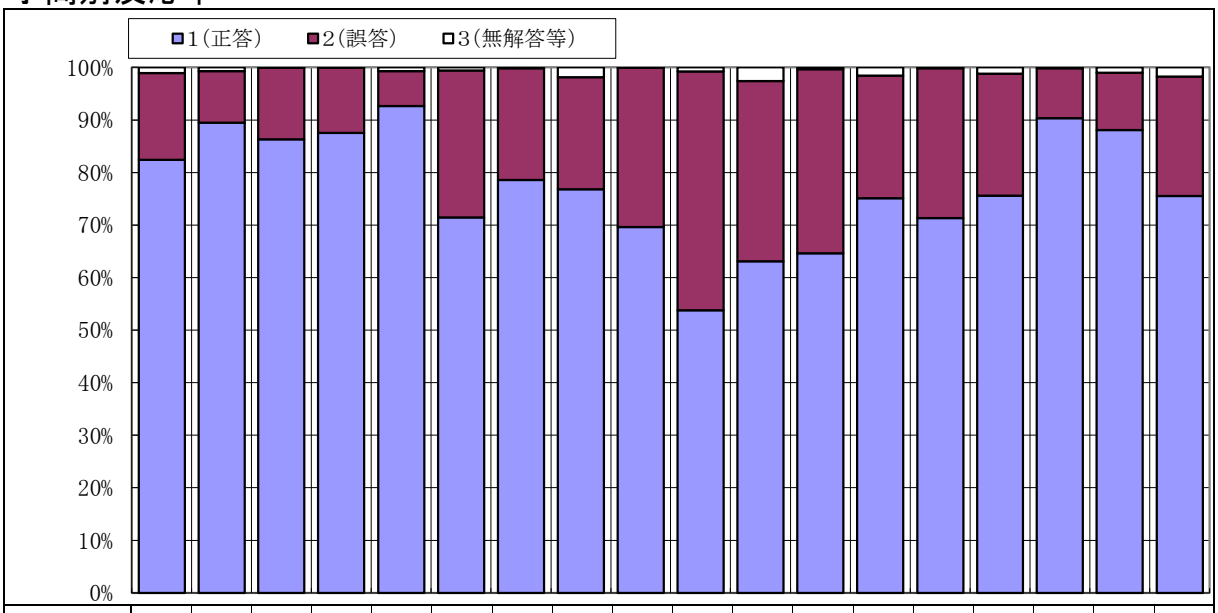
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	水面の変化を比較する実験方法	82.4	70.0
（2	水の蒸発	89.6	70.0
（3	方位磁針の使い方	86.2	85.0
（4	星の明るさや色	87.5	80.0
（5	星の集まりの見え方	92.6	90.0
（6	温度による空気や水，金属の体積変化	71.4	70.0
（7	温度の変化による水の状態の変化	78.6	70.0
（8	固体	76.8	70.0
（9	顕微鏡の操作手順	69.6	60.0
（１０	顕微鏡の倍率の求め方	53.8	70.0
（１１	閉じ込めた空気と水の体積変化	63.0	60.0
（１２	天気の変化の規則性	64.7	70.0
（１３	受粉と結実との関係を調べる実験の条件	75.1	70.0
（１４	メダカの雌雄	71.4	70.0
（１５	受精卵	75.6	70.0
（１６	メダカの受精卵の変化	90.4	80.0
（１７	ヨウ素でんぷん反応	88.1	70.0
（１８	発芽するときの子葉の役割	75.5	70.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	82.4	89.6	86.2	87.5	92.6	71.4	78.6	76.8	69.6	53.8	63.0	64.7	75.1	71.4	75.6	90.4	88.1	75.5
2 (誤答)	16.5	9.8	13.6	12.4	6.7	28.0	21.2	21.3	30.3	45.4	34.3	35.0	23.3	28.5	23.2	9.5	10.9	22.7
3 (無解答等)	1.1	0.7	0.1	0.1	0.7	0.6	0.2	1.9	0.1	0.8	2.6	0.4	1.6	0.2	1.2	0.2	1.0	1.8

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	22	42	43	26	57	12	24	15	8	3	13	10	22	14	19	48	46	22	
90%～100%	28	72	51	48	73	13	22	15	10	3	8	11	19	6	18	53	61	22	12
80%～90%	64	48	45	81	36	39	58	57	23	9	29	29	59	34	44	60	35	50	73
70%～80%	44	9	20	17	6	41	34	51	54	22	25	32	34	49	43	10	19	34	63
60%～70%	15	3	11	3	1	45	25	26	40	27	37	30	14	42	30	3	9	16	26
50%～60%	1		4		1	18	7	8	27	50	27	32	13	18	12	1	3	17	2
40%～50%		1			1	6	5	2	9	26	20	18	4	8	5		2	8	
30%～40%	1	1	1			2	1	1	4	19	10	10	3	2	3			5	
20%～30%			1						1	12	6	2	5	2	1			1	
10%～20%										3			2		1			1	
0%～10%	1			1				1		1	1	2	1	1		1	1		

小学校５年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		内容区分別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％より高い	2	2	0	4	4
±10％の範囲内	6	7	4	9	１３
－10％より低い	1	0	0	1	1
計	9	9	4	１４	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況は良好である。

(2) 成果

類似問題については、９問中７問で通過率が上昇している。特に、通し番号(7「温度の変化による水の状態の変化」に関する設問の通過率は34.7ポイント、通し番号(9「顕微鏡の操作手順」に関する設問の通過率は43.1ポイント、昨年度と比べてそれぞれ大きく上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①顕微鏡の倍率の求め方を理解することについて、課題が見られる。

②天気の変化の仕方について、気象情報を基に考察し、表現することに課題が見られる。

3　今後の指導

観察器具や実験器具について、操作の手順を理解し、活用できる技能を身に付ける活動の充実を図る。

・目的に応じて観察、実験を行うことができるよう、観察器具や実験器具について、操作の手順にどのような意味があるのかを理解したり、実際に操作して技能を身に付けたりすることが大切である。

・通し番号(10 については、例えば、顕微鏡の倍率は接眼レンズの倍率と対物レンズの積で決まるということを理解させるだけでなく、記録カードに調べたことを絵でかく際に、何倍で調べたものかを記載することが考えられる。このことによって、児童にとって、顕微鏡の倍率に対する捉えがより身近になると考えられる。

[参考　通し番号(10]

(2) けんび鏡の倍率を 150 倍にして観察する場合，接眼レンズの倍率が10倍のときは，対物レンズの倍率を何倍にすればよいですか。［　　］の中に書きなさい。

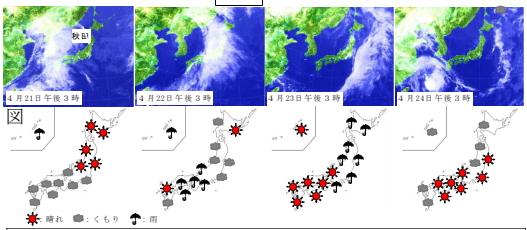
調べた情報を分析して解釈し、自分の考えをもつことができる活動の充実を図る。

・「地球」を柱とする領域においては、主として時間的・空間的な視点で分析し比較したり、関連付けたりしながら、結果の傾向を捉え、結論を導きだすことが大切である。

・通し番号(12 については、例えば、資料を基に、「天気の変化は、どのようなことと関係があるか」といった問題に正対した結論を導き出すために何に着目するとよいのかを話し合う活動を取り入れることが考えられる。また、実際の天気の変化を基に、気象衛星の雲画像を調べ、天気の変化の仕方について、分析し解釈する場面を設定することで、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、実感を伴った理解につなげることも大切である。

[参考　通し番号(12]

7　次の写真と図は，ある年の４月21日から４月24日までの午後３時の雲画像と各地の天気をそれぞれ表したものです。写真と図をもとに＜日本付近の天気の変化＞について説明した下の文が正しくなるように，(あ)，(い) に当てはまる方位を**東**，**西**，**南**，**北**から１つずつ選んで，［　　］の中に書きなさい。



図

＜日本付近の天気の変化＞

・春のころの日本付近では，雲は，およそ（　(あ)　）から（　(い)　）へ動いていく。

・天気も，雲の動きにつれて，およそ（　(あ)　）から（　(い)　）へ変わっていく。

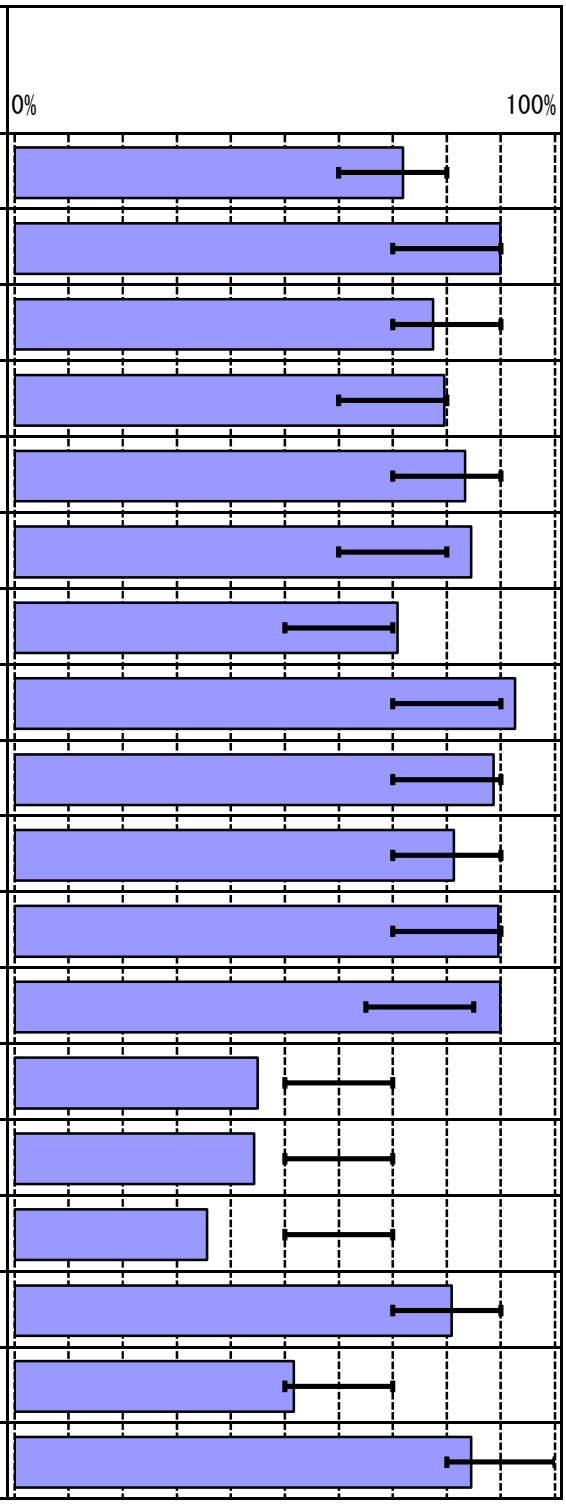
令和６年度秋田県学習状況調査　小学校第６学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第５学年	A 物質・エネルギー	(3)ア(ｱ)	・電磁石の性質を理解している。	(1	○	
		(3)イ	・電磁石の強さを調べるための条件の制御について考え，表現している。	(2		○
		(2)イ	・振り子が１往復する時間を変化させる条件について調べる実験の方法を考え，表現している。	(5		○
		(2)イ	・ふりこの１往復する時間と条件を変えた実験の結果を関係付けて考察し，表現している。	(6		○
		(1)イ	・一定量の物を溶かすための水の温度や水の量を考え，表現している。	(7		○
	B 生命・地球	(3)ア(ｱ)	・流れる水による堆積の働きを理解している。	(3	○	
		(3)イ	・流れる水の量による流れる水の働きの変化を，土地の変化の様子と関連付けて考察し，表現している。	(4		○
		(2)ア(ｱ)(ｲ)	・たまごの中のメダカや母体内の胎児が、必要な養分を取り入れて育つことを理解している。	(8	○	
		(2)ア(ｲ)	・人の母体内には子宮があることを理解している。	(9	○	
第６学年	A 物質・エネルギー	(1)ア(ｱ)	・気体の捕集に関する技能を身に付けている。	(10	○	
		(1)イ	・物が燃えるときの空気の変化について，実験の結果を基に考察し，表現している。	(11		○
	B 生命・地球	(1)ア(ｲ)	・でんぷんの存在を調べる方法を理解している。	(12	○	
		(1)ア(ｲ)(ｴ)	・小腸の働きと体内における位置を理解している。	(13	○	
		(1)イ	・血液の流れを，血液中の二酸化炭素の割合と関連付けて考察し，表現している。	(14		○
		(3)ア(ｲ)	・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。	(15	○	
		(3)ア(ｲ)	・生物の間には，食う食われるという関係があることを理解している。	(16	○	
		(2)イ	・植物の根，茎，葉には水の通り道があり，すみずみまで水が行きわたっていることを考え，表現している。	(17		○
		(2)イ	・実験の結果を基に，植物の体内にある水の行方を考察し，表現している。	(18		○

小学校 ６年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　74.5%

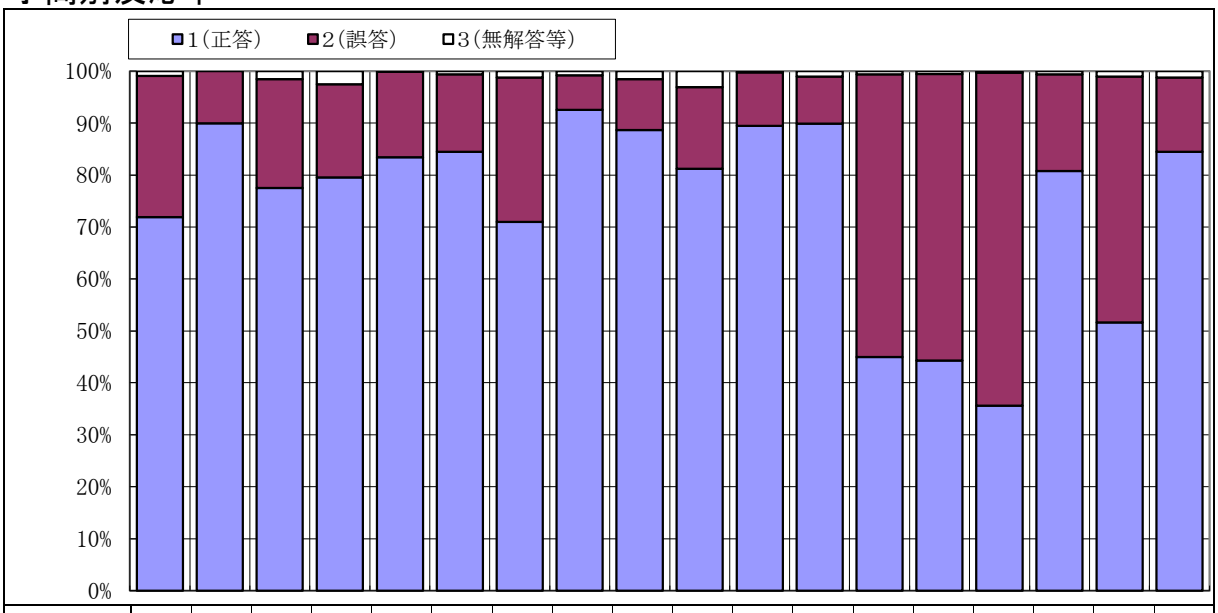
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	電磁石の性質	71.9	70.0
（2	電磁石の強さを調べる実験	89.9	80.0
（3	堆積の働き	77.5	80.0
（4	水の量と流れる水の働きの関係	79.5	70.0
（5	ふりこの規則性を調べる実験	83.4	80.0
（6	ふりこの規則性	84.5	70.0
（7	一定量の固体を溶かすための水の温度と水の量	70.9	60.0
（8	成長に必要な養分	92.6	80.0
（9	子宮	88.7	80.0
（10	気体の捕集方法	81.3	80.0
（11	物が燃える前と燃えた後の空気の変化	89.5	80.0
（12	ヨウ素でんぷん反応	89.9	75.0
（13	小腸の働きと体内における位置	45.0	60.0
（14	血液の流れと二酸化炭素の割合	44.3	60.0
（15	顕微鏡の操作手順	35.6	60.0
（16	生物同士の関わり	80.9	80.0
（17	植物の水の通り道	51.7	60.0
（18	植物の蒸散	84.5	90.0



※ ⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	71.9	89.9	77.5	79.5	83.4	84.5	70.9	92.6	88.7	81.3	89.5	89.9	45.0	44.3	35.6	80.9	51.7	84.5
2 (誤答)	27.2	10.0	21.0	17.9	16.4	14.9	27.8	6.6	9.8	15.7	10.3	9.1	54.4	55.2	64.2	18.6	47.4	14.3
3 (無解答等)	0.9	0.0	1.5	2.5	0.1	0.6	1.2	0.8	1.5	3.1	0.2	1.0	0.6	0.5	0.3	0.6	1.0	1.2

小問別通過率度数分布表（176校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	15	36	25	26	15	26	8	51	41	34	35	50	4	2	2	21	9	40	
90%～100%	29	61	28	30	34	48	12	83	56	42	71	67			4	23	13	36	6
80%～90%	52	66	53	58	74	64	30	34	59	44	53	42	6	8	6	69	15	63	56
70%～80%	26	11	29	37	41	20	57	6	10	29	13	9	11	9	10	49	14	25	73
60%～70%	14	2	23	14	11	11	41	2	4	15	4	7	19	12	17	9	17	7	36
50%～60%	7		14	10		5	15		4	6		1	27	43	19	4	22	4	4
40%～50%	8		3	1	1	1	11		1	2			40	43	21		26		1
30%～40%	4						1			1			32	35	24	1	27	1	
20%～30%	9		1			1				2			25	18	23		24		
10%～20%	7												7	5	35		8		
0%～10%	5						1		1	1			5	1	15		1		

小学校６年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別		内容区分別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％より高い	2	2	2	2	4
±10％の範囲内	5	6	5	6	１１
－10％より低い	2	1	0	3	3
計	9	9	7	１１	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

類似問題については、10問中４問で通過率が上昇している。特に、通し番号(2「電磁石の強さを調べる実験」に関する設問の通過率は昨年度と比べて11.8ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①小腸の働きと体内における位置を理解することについて、課題が見られる。

②植物の根、茎、葉には水の通り道があり、すみずみまで水が行きわたっていることを考え、表現することについて、課題が見られる。

3　今後の指導

直接体験が困難な内容であっても、実感を伴った理解が図られるよう学習活動の工夫する。

・観察や実験を行うことが困難な内容については、映像や模型等の資料を活用して調べたり、調べたことを整理して伝え合ったりして学習活動を工夫することが大切である。
・通し番号(13 については、例えば、図書やＩＣＴ等を活用して調べる場面を設定することが考えられる。その際には、臓器の形や大きさ等、可能な限り、視点をもたせて調べる活動が実感を伴った理解につながると考えられる。また、消化における各臓器の働きや一連の流れについて、模型やプレゼンテーションソフトを活用し、説明し合う活動を取り入れることも考えられる。

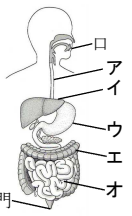
[参考　通し番号(13]

【インターネットで調べたこと】

図３は，消化や吸収にかかわる臓器を表している。口から入った食べ物は運ばれながら消化され，消化された食べ物の養分は，水とともに，主に（ あ ）で吸収される。（ あ ）で吸収された養分は血液にとり入れられて運ばれる。

（後略）

図３



(2) あ に当てはまる臓器を図３の**ア～オ**から１つ選び，**記号**と臓器の**名前**を，［　　］の中にそれぞれ書きなさい。

観察や実験の結果を基に、自分の考えを整理し表現する活動の充実を図る。

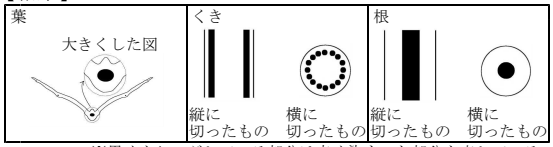
・観察や実験の結果を根拠として考察し、自分の考えを再構成する活動を意図的・計画的に取り入れることが大切である。その際、観察や実験の結果を基に総合的に考察できるよう、発問を工夫することが大切である。
・通し番号(17 については、例えば、葉、茎、根を観察し、それぞれの結果から分かったことを総合的に捉えることができるよう、「それぞれの結果を関係付けるとどのようなことがいえるか」と発問し、考察する場面を設定することが考えられる。また、自他の考察した内容について、ペアやグループ、学級全体で話し合う場面を設定し、対話の中で出された言葉をキーワードとして確かめた上で、一人一人が自分の言葉で学習のまとめを行う活動を取り入れることが考えられる。

[参考　通し番号（17]

(1) 夏子さんは，しおれたホウセンカに水やりをしたところ，くきがまっすぐになって，葉は先まで広がり，ホウセンカが元気になったことに興味をもちました。そこで，次の実験１を行って，結果を整理し，植物のからだの中で水がどのように運ばれるかについて考察しました。夏子さんの考察が正しくなるように，あ，い に当てはまる言葉を，［　　］の中にそれぞれ書きなさい。

（実験１は略）

【結果】



※黒くぬりつぶしている部分は赤く染まった部分を表している。

【考察】植物の葉，くき，根には，水の通り道がある。植物に水やりをすると，土にしみこんだ水が（ あ ）から取り入れられて，水の通り道を通り，植物のからだの（ い ）に運ばれていると考えられる。

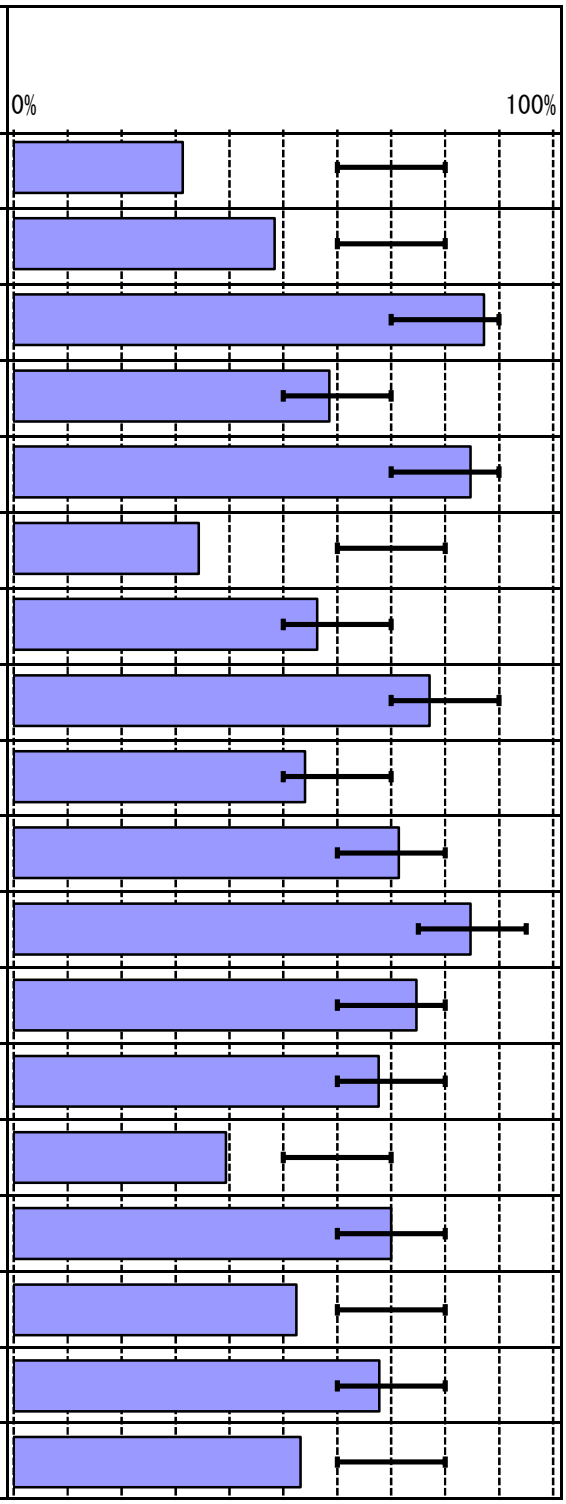
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
小学校第６学年	A 物質・エネルギー	(2)ア(ｳ)	・塩酸にアルミニウムを入れると，アルミニウムが溶けて気体を発生させることを理解している。	(1	○	
		(2)イ	・アルミニウムが溶けた塩酸から出てきた物質とアルミニウムの違いを考察し，表現している。	(2		○
		(4)イ	・電気が熱に変換されていることを考察し，表現している。	(3		○
		(4)イ	・豆電球と発光ダイオードが使う電気の量の違いを考察し，表現している。	(4		○
	B 生命・地球	(4)ア(ｱ)	・地層とはどのようなものかを理解している。	(5	○	
		(4)ア(ｲ)	・火山の噴火によってつくられる地層の特徴を理解している。	(6	○	
		(4)イ	・地層のでき方について，流れる水の働きに着目して考察し，表現している。	(7		○
		(5)ア(ｱ)	・月の形の見え方と太陽の位置関係を理解している。	(8	○	
		(5)イ	・月の形の見え方と太陽の位置を関係付けて考察し，表現している。	(9		○
中学校第１学年	化学的領域	(2)イ	・物質の密度を求め，求めた密度を基に物質を判断し，表現している。	(10		○
		(2)ア(ｱ)㋑	・気体の捕集法に関する技能を身に付けている。	(11	○	
		(2)イ	・酸素について，水への溶けやすさを考察し，表現している。	(12		○
		(2)ア(ｱ)㋐	・ガスバーナーを操作する技能を身に付けている。	(13	○	
		(2)イ	・有機物の共通の性質と，デンプンの固有の性質について考察し，表現している。	(14		○
	生物的領域	(1)ア(ｲ)㋐	・被子植物と裸子植物の相違点を理解している。	(15	○	
		(1)イ	・植物の体のつくりを基に分類し，表現している。	(16		○
		(1)ア(ｲ)㋑	・脊椎の有無で動物が分類できることを理解している。	(17	○	
		(1)ア(ｲ)㋒	・節足動物の特徴を理解している。	(18	○	

中学校　１年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　61.8%

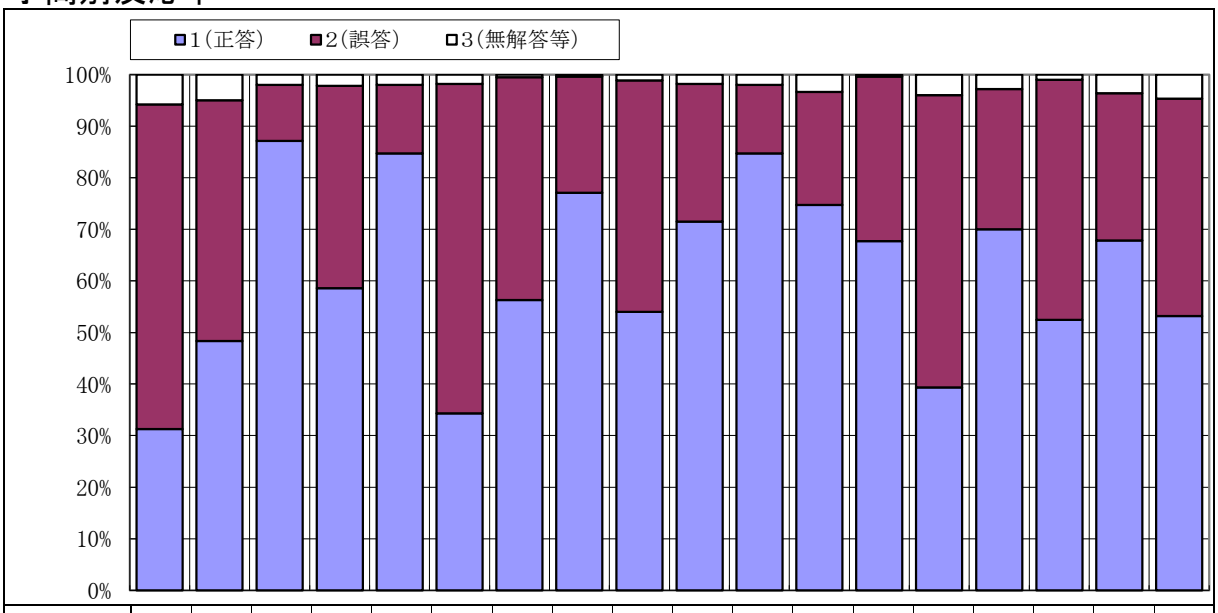
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	アルミニウムと塩酸の反応	31.3	70.0
（2	塩化アルミニウムとアルミニウムの比較	48.4	70.0
（3	電気の利用	87.2	80.0
（4	使われる電気の量の比較	58.5	60.0
（5	地層の特徴	84.7	80.0
（6	火山のはたらきによる層	34.3	70.0
（7	堆積による地層のでき方	56.3	60.0
（8	月と太陽のモデル実験	77.1	80.0
（9	月の形の見え方と太陽の位置	54.0	60.0
（１０	密度	71.4	70.0
（１１	気体の捕集方法	84.7	85.0
（１２	酸素の水への溶けやすさ	74.7	70.0
（１３	ガスバーナーの使い方	67.7	70.0
（１４	物質における共通の性質と固有の性質	39.4	60.0
（１５	被子植物の特徴	70.0	70.0
（１６	植物の分類	52.4	70.0
（１７	脊椎動物と無脊椎動物の特徴	67.8	70.0
（１８	節足動物の特徴	53.2	70.0



※ ⊢⊣ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	31.3	48.4	87.2	58.5	84.7	34.3	56.3	77.1	54.0	71.4	84.7	74.7	67.7	39.4	70.0	52.4	67.8	53.2
2 (誤答)	63.0	46.7	10.9	39.2	13.3	63.9	43.2	22.5	44.9	26.7	13.3	21.9	31.9	56.7	27.2	46.6	28.5	42.1
3 (無解答等)	5.8	5.0	2.0	2.2	2.0	1.8	0.5	0.4	1.1	1.8	2.0	3.4	0.4	4.0	2.8	1.0	3.6	4.7

小問別通過率度数分布表（105校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	1	1	16		9		3	1		6	19	2	2	1	5		1	3	
90%～100%			29	1	36	2	4	11	1	5	39	7	9	1	7		5	1	
80%～90%		4	48	10	41	3	10	31	11	26	27	22	21	1	27	2	12	6	4
70%～80%	4	11	11	27	9	5	23	44	11	31	12	47	29	1	25	9	25	13	23
60%～70%	6	22	1	23	8	4	19	17	17	26	5	23	20	6	25	21	37	19	48
50%～60%	7	18		21	2	13	18	1	37	8	2	4	16	21	10	36	17	29	25
40%～50%	15	27		14		16	12		16	3			4	16	5	34	6	22	5
30%～40%	27	18		7		19	10		7				3	32	1	2	1	10	
20%～30%	27	4		1		22	6		2					24				2	
10%～20%	14					18			1					2					
0%～10%	4			1		3			2		1		1			1	1		

中学校１年　理科　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		内容区分別・領域別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・ｴﾈﾙｷﾞｰ	生命・地球	化学	生物	
＋10％より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％の範囲内	6	6	2	4	4	2	１２
－10％より低い	3	3	2	1	1	2	6
計	9	9	4	5	5	4	１８

２　考察

(1) 全体について

18問中12問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

類似問題については、７問中５問で通過率が上昇している。特に、通し番号(4「使われる電気の量の比較」に関する設問の通過率は20.4ポイント、通し番号（15「被子植物の特徴」に関する設問の通過率は26.0ポイント、昨年度と比べてそれぞれ大きく上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①アルミニウムが溶けた塩酸から出てきた物質とアルミニウムの違いを考察し、表現することについて、課題が見られる。

②植物の体のつくりを基に分類し、表現することについて、課題が見られる。

３　今後の指導

観察、実験の結果を基に考察し、問題や課題に正対した結論を導き出す活動の充実を図る。

・問題や課題に正対した結論を導き出すためには、見通しをもって問題解決を行うことが重要である。また、考察の場面で、観察、実験の結果を基に、他者との関わりを通して、自分の考えを柔軟に見直すことが大切である。

・通し番号(2については、例えば、考察の際に、解決すべき事項に立ち返ることができるよう、学習問題（学習課題）を改めて確認する場を設定することが考えられる。また、学習の内容に応じて、共通点や差異点、要因、規則性等の視点を組み入れた発問をしたり、考察し表現したことを互いに検討して改善する場を設定したりすることも考えられる。

[参考　通し番号（2]

＜話し合い＞
（略）
愛さん：
（略）実験をして「うすい塩酸にアルミニウムがとけた液から出てきた固体はアルミニウムなのだろうか」という問題を調べてみましょう。

表１

	特　徴
ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・銀色で，つやがある ・板状で曲げることができる
出てきた固体	・白色でつやがない ・粉状である

表２

	水を注いだときのようす
ｱﾙﾐﾆｳﾑ	とけなかった
出てきた固体	とけた

(2) 愛さんは，表１と表２をもとに，下線部の問題について考えたことを次のようにまとめました。＜まとめ＞が正しくなるように，Ｙに当てはまる内容を書きなさい。

＜まとめ＞
うすい塩酸にアルミニウムがとけた液から出てきた固体は，
［　Ｙ　］と考えました。

学習を通して獲得した様々な知識及び技能を活用する活動の充実を図る。

・目的に応じて多様な分類の仕方があり、分類するための観点や基準に気付くことができるような学習活動を取り入れるなど、知識及び技能を活用する活動の充実を図ることが大切である。

・通し番号(16 については、植物の体を部分的に見るだけでなく、全体的に捉えて共通点や相違点に基づいて分類できることを見いだして理解できるようにする。例えば、同じ種類の植物であれば生育する場所などによって形や大きさに違いがあっても、花のつくりや葉脈の形状等に共通点があることに気付いたり、分類表などを作り、その表を用いて、未知の植物がどの仲間に分類できるかを考えたりすることなどが考えられる。

[参考　通し番号（16]

図１

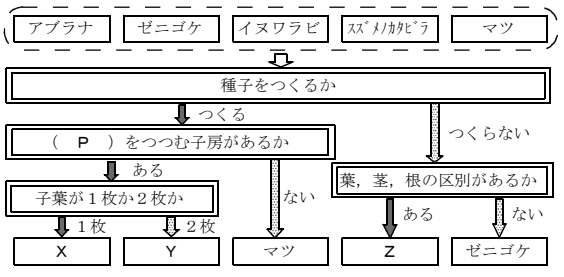


図２：アブラナ　図３：イヌワラビ　図４：ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗ（図省略）

(2) 図２～図４の植物について，図１のＸ～Ｚに当てはまるものの正しい組み合わせを，次のア～カから１つ選んで，記号を書きなさい。（選択肢省略）

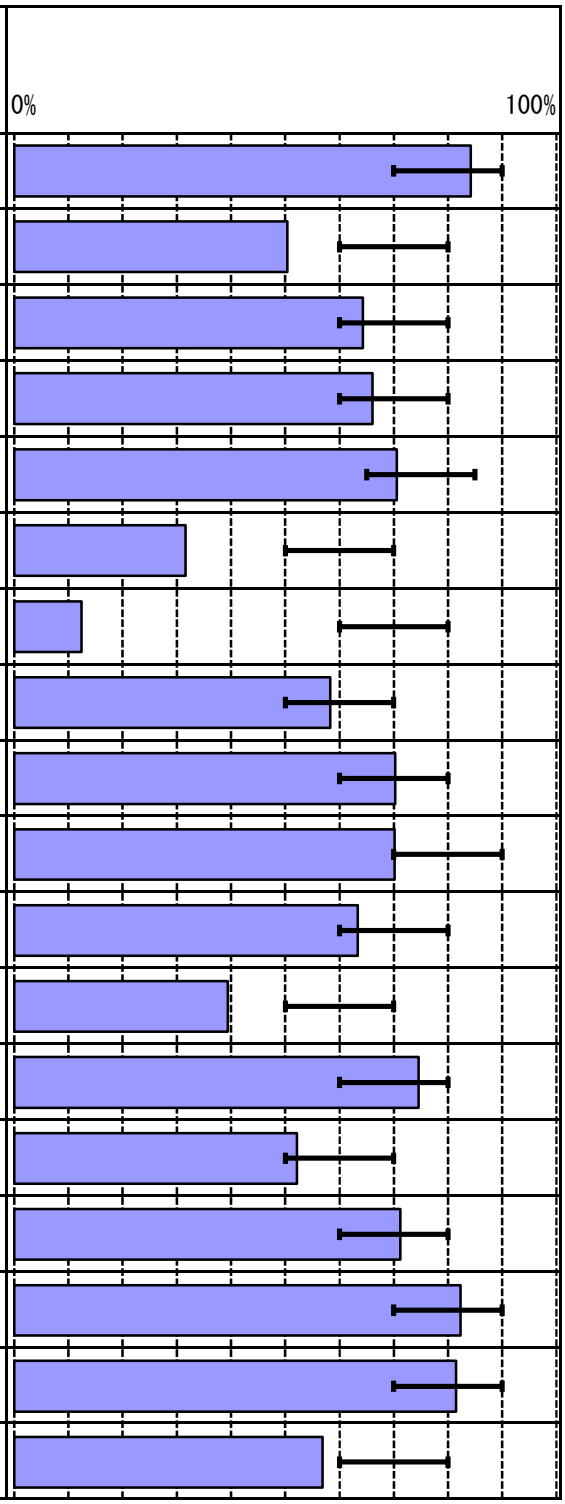
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点	
					知識・技能	思考・判断・表現
第１学年	物理的領域	(1)イ	・光が反射するときの規則性を見いだし，表現している。	(1		○
		(1)ア (ｱ)㋐	・光の反射の道筋を作図することに関する技能を身に付けている。	(2	○	
		(1)ア (ｲ)㋐	・２力がつり合うときの条件を踏まえ，力を矢印を用いて表すことに関する技能を身に付けている。	(3	○	
		(1)イ	・力の大きさとばねののびの関係を表すグラフを基に，規則性を見いだし，表現している。	(4		○
	地学的領域	(2)イ	・地層が傾いている方向について，地形図を柱状図と関連付けて考察し，表現している。	(6		○
		(2)ア (ｳ)㋐	・火山灰に見られる粒が鉱物であることを理解している。	(7	○	
		(2)イ	・火山の形や火山灰の色をマグマの性質と関連付けて考察し，表現している。	(8		○
	化学的領域	(2)イ	・物質の密度を求め，求めた密度を基に物質を判断し，表現している。	(5		○
第２学年		(4)ア (ｲ)㋑	・還元の実験に関する技能を身に付けている。	(9	○	
		(4)ア (ｲ)㋑	・還元の化学変化について理解している。	(10	○	
		(4)イ	・酸化銅の還元について，原子や分子のモデルを用いて考え，表現している。	(11		○
	生物的領域	(3)ア (ｲ)㋐	・光合成の実験に関する技能を身に付けている。	(12	○	
		(3)イ	・植物の細胞の中の光合成が行われる部分について考察し，表現している。	(13		○
		(3)ア (ｳ)㋐	・だ液のはたらきを調べる実験について，条件制御を基に対照実験で用いる物質を理解している。	(14	○	
		(3)イ	・だ液のはたらきを考察し，表現している。	(15		○
		(3)ア (ｳ)㋐	・横隔膜について理解している。	(16	○	
		(3)イ	・肺の空気の出入りと肺の動きの関係を考察し，表現している。	(17		○
		(3)イ	・肺のつくりについて，ガス交換の効率を表面積と関連付けて考え，表現している。	(18		○

中学校　２年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　61.1%

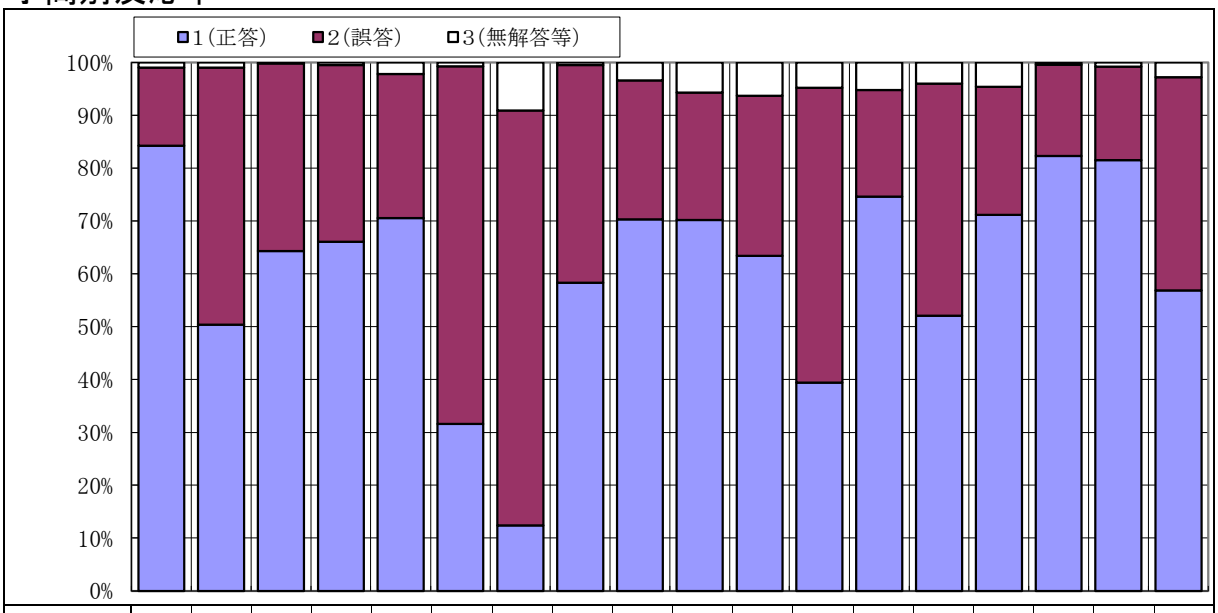
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	光の反射の法則	84.2	80.0
（2	鏡にうつる物体の像と光の進み方の作図	50.4	70.0
（3	力の表し方	64.3	70.0
（4	力の大きさとばねの変形の量	66.1	70.0
（5	密度	70.6	75.0
（6	地層の傾き	31.6	60.0
（7	鉱物	12.4	70.0
（8	火山の形とマグマのねばりけ	58.3	60.0
（9	還元の実験の方法	70.3	70.0
（10	酸化銅から銅をとり出す化学変化	70.2	80.0
（11	化学変化のモデルを用いた表し方	63.4	70.0
（12	光合成に関する実験の方法	39.4	60.0
（13	細胞内の光合成を行う部分	74.6	70.0
（14	だ液の働きに関する実験の方法	52.1	60.0
（15	だ液の働き	71.2	70.0
（16	横隔膜	82.3	80.0
（17	横隔膜と肺の動きの関係	81.5	80.0
（18	肺胞の役割	56.9	70.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	84.2	50.4	64.3	66.1	70.6	31.6	12.4	58.3	70.3	70.2	63.4	39.4	74.6	52.1	71.2	82.3	81.5	56.9
2 (誤答)	14.8	48.6	35.5	33.5	27.3	67.7	78.5	41.2	26.3	24.1	30.3	55.8	20.2	43.9	24.2	17.3	17.7	40.3
3 (無解答等)	1.0	1.0	0.2	0.5	2.2	0.7	9.1	0.5	3.4	5.7	6.3	4.8	5.2	4.0	4.6	0.4	0.8	2.8

小問別通過率度数分布表（106校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	8	1	4	2	5			4	6	3	2	1	5	2	5	6	7	1	
90%～100%	31	6	9	1	8				9	13	10		10		8	16	14		
80%～90%	37	4	25	5	19			3	27	23	24	5	24	2	18	47	44	13	2
70%～80%	23	12	16	26	24	3		13	19	26	15	2	28	3	33	26	35	20	22
60%～70%	6	15	16	39	33	5		32	23	21	14	6	30	18	17	7	5	13	33
50%～60%		21	11	24	16	7	3	28	12	12	17	16	6	37	19	4	1	24	42
40%～50%		16	10	6	1	18		21	7	6	12	21	3	26	4			17	6
30%～40%		19	8	2		21	6	4	2	1	10	25		16	1			10	
20%～30%		7	6			31	12				1	10		1				6	1
10%～20%		2				18	35					6						1	
0%～10%	1	3	1	1		3	50	1	1	1	1	14		1	1			1	

中学校２年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		領域別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	物理	地学	化学	生物	
＋10％より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10％の範囲内	5	8	3	1	4	5	１３
－10％より低い	3	2	1	2	0	2	5
計	8	１０	4	3	4	7	１８

2　考察

(1) 全体について

①18問中13問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②中学校第２学年の学習内容に関する設問では、10問中８問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、定着が図られている。

(2) 成果

①「化学」の領域に関する設問では４問中４問、「生物」の領域に関する設問では７問中５問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、定着が図られている。

②類似問題については、９問中５問で通過率が上昇している。特に、通し番号(1「光の反射の法則」に関する設問の通過率は、昨年度と比べて35.7ポイント上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①昨年度に引き続き、地層が傾いている方向について、地形図を柱状図と関連付けて考察し、表現することに、課題が見られる。

②光合成の実験に関する技能について、課題が見られる。

3　今後の指導

観察、実験の結果や資料を分析して解釈する活動の充実を図る。

・観察、実験の結果や資料を分析して解釈する活動では、着目する視点を明確にすることが大切である。地層の学習においては、地層を空間的に捉え、地層の重なり方や広がり方の規則性を見いだすことが重要である。

・通し番号(6については、例えば、地層の広がり方を空間的に捉えるために、いくつかの柱状図を用いて同じ地層同士をつなぎ合わせた後、当該地域の地層を立体的に再現し、地層の重なり方や広がり方の規則性を考察する活動が考えられる。

[参考　通し番号(6]

4　（中略）

図１

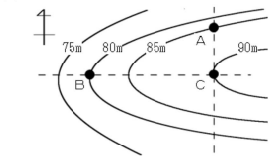
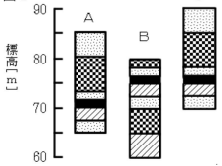


図３



〔花さんの考え〕

図３のように，図２の柱状図をそれぞれの地点の標高に合わせて並べてみました。

３地点のうち，（　X　）を比べれば，東西の方向の地層のようすがわかり，（　Y　）を比べれば，南北の方向の地層のようすがわかります。これらのことから，凝灰岩の地層を手がかりにして考えると，この地域では（　Z　）の方位に向かって地層が下がっていると考えられます。

ア　AとB　　イ　BとC　　ウ　AとC

条件を制御した観察、実験の方法を発想し、説明する活動の充実を図る。

・条件を制御しながら問題を解決する方法を発想するには、条件の違いによって結果がどのように変わるのかを具体的に考えたり、結果の違いによってどのようなことが分かるのかを確認したりして、条件の制御の必要性を生徒自身が理解することが大切である。

・通し番号 (12 について、例えば、変えない条件と変える条件を整理し、原因として考えられる要因を検討する活動を取り入れることが考えられる。条件の制御は理科における大切な考え方であるため、継続して指導していくことが大切である。

[参考　通し番号(12]

7　（※問題文は省略）

【実験１】２本の水草をそれぞれビーカーに入れ，水草Aは光が当たる場所に，水草Bは光が当たらない場所に，一定の時間置いた。その後，それぞれの水草の先端近くの葉をとってプレパラートをつくり，顕微鏡で細胞のようすを観察した。

【結果１】水草Aと水草Bのどちらの葉の細胞にも，緑色の粒がたくさん見られた。

図１

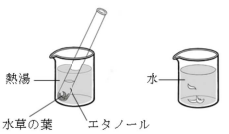
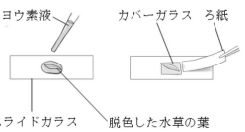


図２



(1) 実験１で，下線部のように水草Bを用意したのはなぜですか。「**実験結果の違いが，**」に続けて書きなさい。

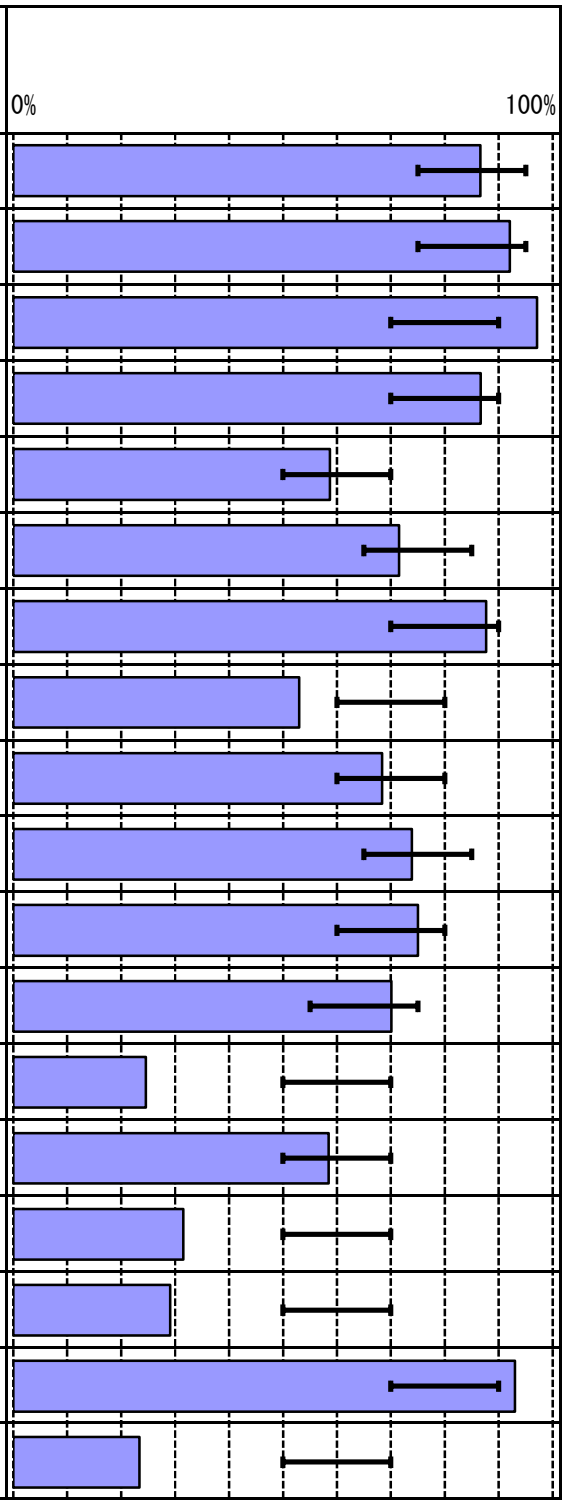
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第１学年　英語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準		通し番号	観点	
						知識・技能	思考・判断・表現
第１学年	聞くこと	イ(ｱ)	[正確な聞き取り]	・短い英文を聞いて，内容を正確に聞き取ることができる。	(1	○	
		イ(ｱ)	[正確な聞き取り]	・短い会話を聞いて，内容を正確に聞き取ることができる。	(2	○	
		イ(ｴ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，要点を適切に聞き取ることができる。	(3　(4		○
		イ(ｳ)	[適切な聞き取り]	・聞いて把握した内容について，適切に応じることができる。	(5		○
	読むこと	ウ(ｲ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，正確に読み取ることができる。	(6	○	
		ウ(ｲ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，必要な情報を適切に読み取ることができる。	(7		○
		ウ(ｴ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，要点を正しく読み取ることができる。	(8　(17	○	
		ウ(ｳ)	[適切な読み取り]	・話の流れをつかみながら，文章を適切に読み取ることができる。	(9　(10		○
	書くこと	カ(ｳ)	[正確な筆記]	・正しい語法や文法を理解し，文脈の中で正確に用いることができる。	(11 (12	○	
		カ(ｳ)	[正確な筆記]	・与えられた情報を基に，正しく英文を書くことができる。	(13	○	
		カ(ｳ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて，会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(14 (15	○	
		カ(ｱ)	[適切な筆記]	・自分の考えについて，読み手に伝わるようにまとまりのある英文を書くことができる。	(16		○
		カ(ｲ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に，適切に英文を書くことができる。	(18		○

中学校１年　英語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　65.6%

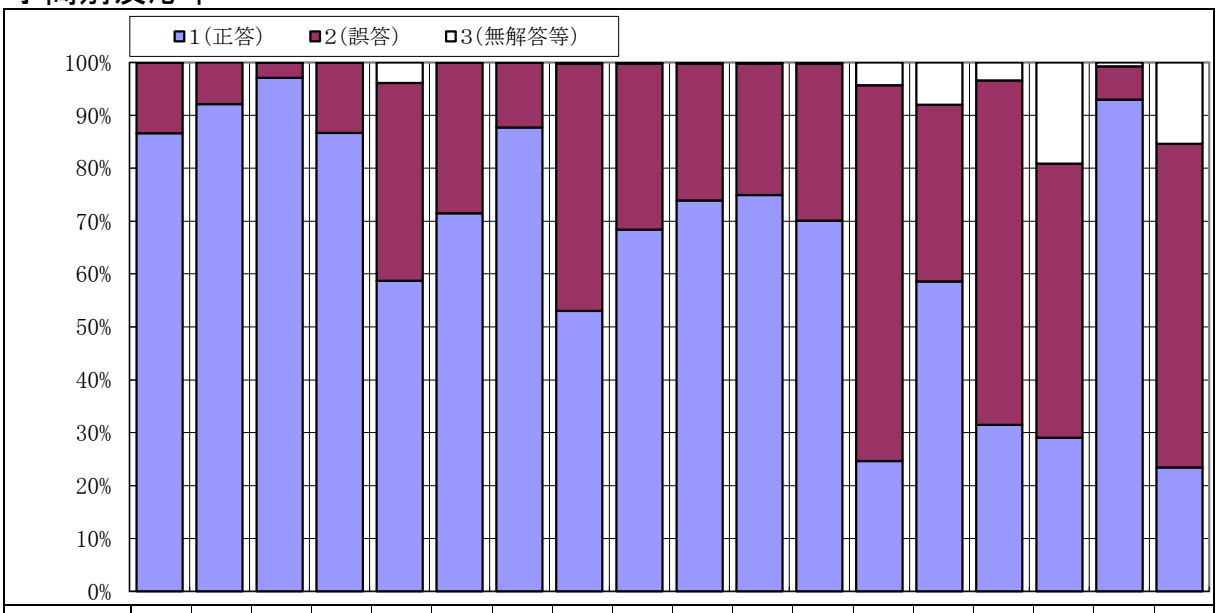
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（聞）月日の聞き取り	86.6	85.0
（2	（聞）部屋の様子についての聞き取り	92.1	85.0
（3	（聞）ＡＬＴの家族についての聞き取り	97.1	80.0
（4	（聞）ＡＬＴの家族についての聞き取り	86.7	80.0
（5	（聞）質問の内容（通学手段）に対する適切な応答	58.7	60.0
（6	（読）欲しいものについての会話の読み取り	71.5	75.0
（7	（読）イベントのパンフレットの内容の読み取り	87.7	80.0
（8	（読）アンケートについての会話の読み取り	53.0	70.0
（9	（読）適切な会話の構成	68.4	70.0
（１０	（読）適切な会話の構成	73.9	75.0
（１１	（書）正しい疑問文の作成	75.0	70.0
（１２	（書）正しい許可を求める文の作成	70.1	65.0
（１３	（書）与えられた情報に基づく英文の作成	24.6	60.0
（１４	（書）与えられた語を用いて，会話を成り立たせる英文の作成（否定命令文）	58.5	60.0
（１５	（書）与えられた語を用いて，会話を成り立たせる英文の作成（三単現の疑問文）	31.5	60.0
（１６	（書）メッセージの内容を踏まえた英文の作成	29.1	60.0
（１７	（読）メール文の内容の読み取り	93.0	80.0
（１８	（書）メール文の内容を踏まえた英文の作成	23.4	60.0



※⊢⊣は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　英語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	86.6	92.1	97.1	86.7	58.7	71.5	87.7	53.0	68.4	73.9	75.0	70.1	24.6	58.5	31.5	29.1	93.0	23.4
2 (誤答)	13.3	7.9	2.8	13.2	37.4	28.4	12.2	46.7	31.3	25.8	24.8	29.6	71.0	33.4	65.1	51.8	6.3	61.2
3 (無解答等)	0.1	0.0	0.1	0.1	3.9	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	4.3	8.0	3.4	19.2	0.7	15.4

小問別通過率度数分布表（105校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	11	13	43	11	3	3	12		2	4	5	1	1	1	1		22		
90%～100%	21	61	59	29	3	6	35		4	6	9	2		3		1	60		
80%～90%	54	30	3	51	19	19	45	4	21	22	28	15		11		1	23		5
70%～80%	16	1		11	16	38	10	4	26	44	29	41		14	2	1		1	26
60%～70%	3			3	18	28	3	19	28	20	24	35	2	26	8	3		2	55
50%～60%					18	10		42	16	6	7	9	6	18	6	6		8	18
40%～50%					10	1		26	5	3	3	1	10	20	13	17		9	1
30%～40%					13			8	3				21	8	26	25		15	
20%～30%					4			1					27	4	28	25		28	
10%～20%					1								31		17	20		23	
0%～10%								1				1	7		4	6		19	

中学校１年　英語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		領域別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	1	1	1	1	0	2
±10％ の範囲内	6	5	4	4	3	１１
－10％ より低い	3	2	0	1	4	5
計	１０	8	5	6	7	１８

2　考察

(1) 全体について

18問中13問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「聞くこと」において、まとまりのある英語を聞いて、内容を正確に聞き取ることについて、指導の成果が見られる。

②「読むこと」において、書かれた内容から必要な情報を適切に読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①三人称単数現在形を用いた紹介文や会話文の完成について、課題が見られる。

②「書くこと」において、読み取った内容を基に、適切に英文を書くことについて、課題が見られる。

3　今後の指導

意味のある文脈の中でのコミュニケーションを通して、既習の語句や基本的な表現などを繰り返し活用できるような言語活動の充実を図る。

・小学校で扱った「場面」や「言語活動」を想起させるとともに、複数の領域を関連付けた言語活動を単元の学習過程に位置付け、語句や表現などを繰り返し活用できるようにする。
・ある言語材料を学習した単元にとどまらず、帯活動等を活用して、生徒が必要な言語材料を取捨選択し、繰り返し活用する言語活動を取り入れる。
・言語活動の途中で、表現が正確であるか、内容が相手に適切に伝わるかという視点で確認し合ったり、生徒が自ら英文を修正したりする活動を取り入れる。

聞いたり読んだりして理解したことについて、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて、適切な英語で話したり書いたりする言語活動の充実を図る。

・三人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする活動を、憧れの人物や友達の紹介などの様々な場面で繰り返し取り入れる。
・中間評価の場面を設定し、生徒同士で互いの英文を読み合いながら、表現が正確であるか、相手に正しく伝わる英文になっているかなどについて、考えたり助言し合ったりする場を設定する。

※指導例　：通し番号(13、(16

簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く力の育成を目指す言語活動の例

【言語活動（１回目）】

①教科書の登場人物についての紹介文を作成

T: You know a lot of things about Meg. Talk about Meg with your partner.
What does Meg like?
What can she do?

○教科書からMegについての情報を読み取る。

○ペアでMegについて読み取ったことを英語で伝え合う。

S1: Meg like Japanese food.
S2: She love sushi.
S1: She speak Japanese, but she can't read Kanji.
S2: She is a good badminton player.

○伝え合った内容を基にしてMegの紹介文を書く。

②紹介文の見直し

T: Let's check your partner's English.

○学び合いを通して内容や語句等を修正する。

○全体で修正箇所について共有する。

T: What does Meg like?
S1: Meg like Japanese food.
T: Meg like....
S3: Meg likes Japanese food.
T: That's right! Meg likes Japanese food.
T: Let's rewrite your English.

○紹介文を修正する。修正箇所の色を変えるなど、正確な表現について注目できるようにする。

Meg is from Australia. She is twelve. She likes Japanese food. She loves sushi.

【言語活動（２回目）】

③オリジナル紹介文を作成

○憧れの人や友達の紹介文を書く。
○内容の適切さについて学び合う。
○内容の適切さや、英語使用の正確さについて、ペアでアドバイスし合う。
○紹介文を修正する。

My hero is my sister, Saki. She is fifteen years old. She likes music. She is good at playing the piano. She wants to be a music teacher.

【指導のポイント】

・生徒の英語使用の正確さを高めるには時間がかかるため、繰り返し言語活動を行い、誤りのある英文を自分で修正する力を育てる。
・言語活動の途中で話したことや書いたことを共有し、内容の適切さや英語使用の正確さについて学び合い、自分の表現を見直す活動を取り入れる。

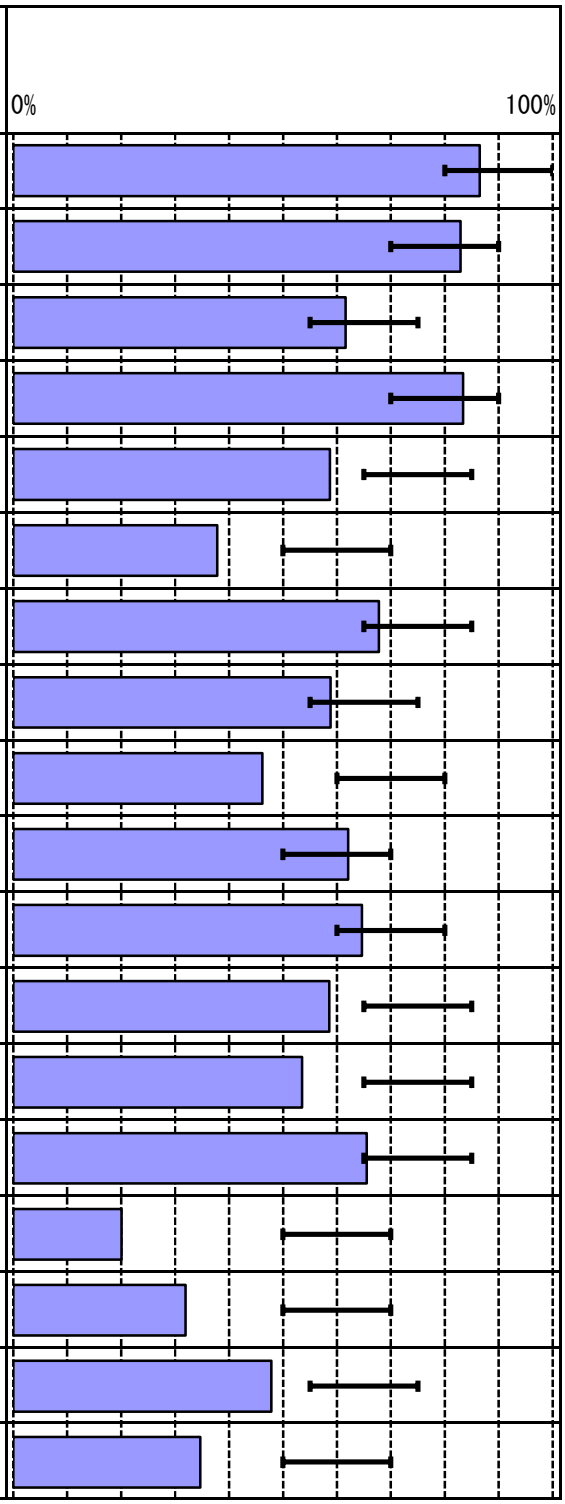
令和６年度秋田県学習状況調査　中学校第２学年　英語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準		通し番号	観点	
						知識・技能	思考・判断・表現
第２学年	聞くこと	イ(ｱ)	[正確な聞き取り]	・短い会話を聞いて，内容を正確に聞き取ることができる。	(1	○	
		イ(ｱ)	[正確な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，内容を正確に聞き取ることができる。	(2	○	
		イ(ｴ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，概要を適切に聞き取ることができる。	(3		○
		イ(ｴ)	[適切な聞き取り]	・会話を聞いて，要点を適切に聞き取ることができる。	(4 (5		○
		イ(ｳ)	[適切な聞き取り]	・聞いて把握した内容について，適切に応じることができる。	(6		○
	読むこと	ウ(ｲ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，必要な情報を適切に読み取ることができる。	(7		○
		ウ(ｳ)	[適切な読み取り]	・話の流れをつかみながら，文章を適切に読み取ることができる。	(8		○
		ウ(ｲ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，正確に読み取ることができる。	(9	○	
		ウ(ｳ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，概要を適切に読み取ることができる。	(10		○
		ウ(ｴ)	[正確な読み取り]	・言語の働きを理解し，事実と考えを区別して文章を読むことができる。	(11	○	
		ウ(ｴ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，要点を適切に読み取ることができる。	(14		○
	書くこと	カ(ｳ)	[正確な筆記]	・正しい語法や文法を理解し，文脈の中で正確に用いることができる。	(12 (13	○	
		カ(ｴ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に，適切に英文を書くことができる。	(15		○
		カ(ｳ)	[適切な筆記]	・自分の考えについて，読み手に伝わるようにまとまりのある英文を書くことができる。	(16		○
		カ(ｳ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて，会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(17 (18	○	

中学校２年　英語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　56.8%

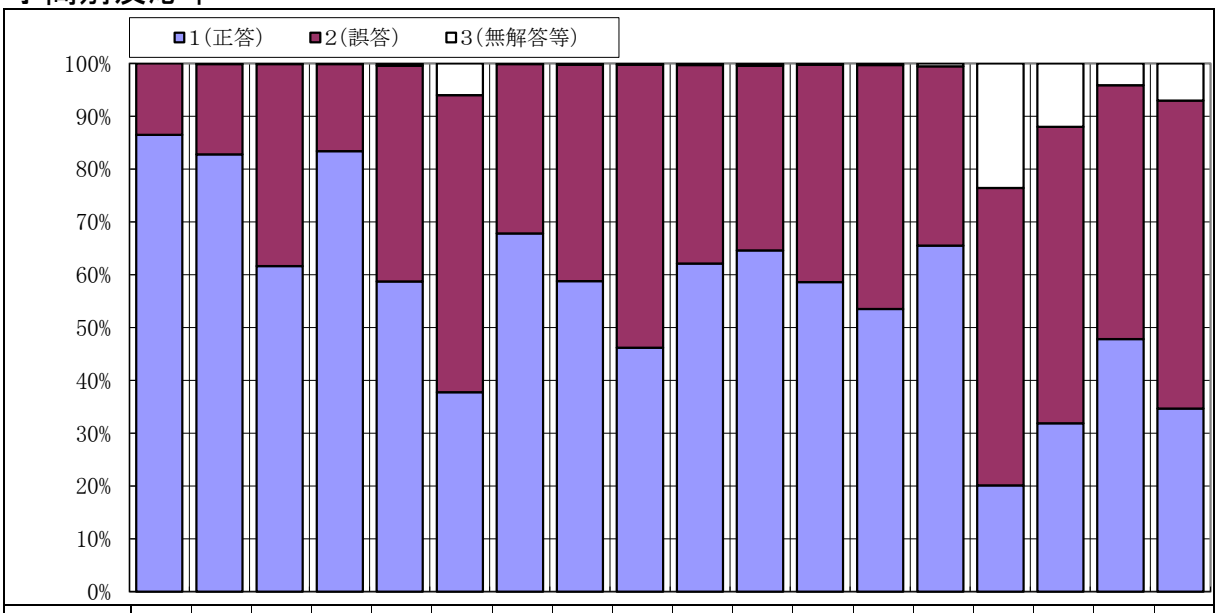
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（聞）月日の聞き取り	86.5	90.0
（2	（聞）家族の行動についての聞き取り	82.9	80.0
（3	（聞）スピーチの概要の聞き取り	61.6	65.0
（4	（聞）道案内における目的地についての聞き取り	83.4	80.0
（5	（聞）道案内における交通手段についての聞き取り	58.7	75.0
（6	（聞）聞き取った内容についての応答	37.8	60.0
（7	（読）行先や搭乗する飛行便についての会話文の読み取り	67.8	75.0
（8	（読）適切な文章の構成	58.8	65.0
（9	（読）ポスターの内容についての読み取り	46.2	70.0
（10	（読）スピーチの概要についての読み取り	62.1	60.0
（11	（読）事実と書き手の考えの読み取り	64.6	70.0
（12	（書）正しい定型表現の選択（丁寧な依頼の仕方）	58.6	75.0
（13	（書）正しい時制の選択（過去進行形）	53.5	75.0
（14	（読）メッセージの内容についての読み取り	65.5	75.0
（15	（書）メッセージの内容を踏まえた英文の作成	20.1	60.0
（16	（書）与えられたテーマについて，まとまった英文の作成	31.9	60.0
（17	（書）与えられた語を用いて，会話を成り立たせる英文の作成（三単現の疑問文）	47.8	65.0
（18	（書）与えられた語を用いて，会話を成り立たせる英文の作成（mustを用いた文）	34.7	60.0



※|——|は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　英語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18
1 (正答)	86.5	82.9	61.6	83.4	58.7	37.8	67.8	58.8	46.2	62.1	64.6	58.6	53.5	65.5	20.1	31.9	47.8	34.7
2 (誤答)	13.5	17.1	38.3	16.5	40.9	56.3	32.1	41.0	53.6	37.6	35.0	41.2	46.2	33.9	56.4	56.1	48.1	58.4
3 (無解答等)	0.0	0.1	0.1	0.1	0.4	6.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	23.6	12.0	4.1	7.0

小問別通過率度数分布表（106校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	平均通過率
100%	8	6		2	2	2	1			3	3	1	1			1			
90%～100%	30	23	1	21	2			1		1	3			2			1	1	
80%～90%	48	43	7	52	2	3	10	4	1	2	5	4	4	6		4	4	1	3
70%～80%	16	27	10	27	15	4	34	14	2	15	18	13	5	24	1	1	10	1	3
60%～70%	3	5	38	2	21	17	44	29	11	36	41	21	20	41	1	8	11	6	27
50%～60%			38	2	37	17	14	28	29	35	27	39	38	25	3	10	21	5	52
40%～50%			9		21	11	3	21	29	11	4	18	30	4	6	11	26	20	18
30%～40%					4	12		8	21	1	3	6	6	1	9	23	17	28	1
20%～30%			1			25			9		1	1			30	23	9	29	
10%～20%						10			2						34	16	4	11	2
0%～10%	1	2	2		2	5		1	2	2	1	3	2	3	22	9	3	4	

中学校２年　英語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別		領域別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％　より高い	0	0	0	0	0	0
±10％　の範囲内	3	6	4	5	0	9
－10％　より低い	5	4	2	1	6	9
計	8	１０	6	6	6	１８

2　考察

(1) 全体について

①18問中９問が設定通過率の「－10％より低い」であり、学習内容の定着は十分とは言えない設問も見られる。

②「書くこと」の設問は全て設定通過率の「－10％より低い」であり、特に課題がある。

(2) 成果

①「聞くこと」において、まとまりのある英語を聞いて内容を適切に聞き取ることについて、指導の成果が見られる。

②「読むこと」において、書かれた内容について概要を適切に読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「書くこと」において、自分の考えについて、読み手に伝わるようにまとまりのある英文を書くことに、課題が見られる。

②「書くこと」において、与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことに、課題が見られる。

3　今後の指導

既習の語句や基本的な表現などについて、実際のコミュニケーションにおいて繰り返し活用しながら定着を図る。

・言語材料を指導する際は、生徒が意味や使い方に気付くことができるよう、その言語材料が自然に使われている文章を聞いたり読んだりする活動をできるだけ多く取り入れる。
・ある言語材料を指導した単元にとどまらず、帯活動等を活用して、使用する言語材料を明示しない状況でも活用できるような言語活動を継続的に行う。
・言語活動における自分の発話や筆記を振り返り、正確な表現や適切な内容になっているかを考えたり、修正したりする活動を取り入れる。

テーマについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く活動の充実を図る。

・「やり取りしたことを基に書く」など、複数の領域を統合した言語活動を計画的に行う。
・書いた英文を互いに読み合うなどして、英語使用の正確さや表現内容の適切さの観点から生徒が自らの筆記を見直し、英文を修正する活動を取り入れる。
・生徒が自身の学びを振り返ることができるよう、異なるテーマを取り上げて言語活動を行い、学習した語句や表現方法を再度活用する機会を設定するとともに、生徒の学習状況を適切に見取り、指導に生かす。

※指導例：通し番号(16

テーマについて伝える内容を整理し、読み手に正しく伝わるように自分の考えを書く場面における、複数の領域を統合した言語活動の例

〈ＡＬＴの Eddy 先生の問い掛けに対する自分の考えを書いて伝える活動〉

It's very cold in Japan now, but I know Japan has other seasons, too. Can you tell me about the seasons in Japan? Which season do you like the best?

①伝える内容についてやり取りする。

S1：Which season will you tell him about?
S2：I'll tell him about spring. I like spring the best.
S1：Why?
S2：I like *hanami*. How about you?

②やり取りを基に書いた英文をペアで読み合い、アドバイスし合う。

I like spring the best because we can enjoy *hanami*. We can see beutiful cherry blossoms around Japan.

S1：この単語のつづりを教科書で確認してみた方がいいね。

③言語材料や内容について全体で確認する。

T：Eddy先生に「花見」とはじめから伝えても大丈夫かな？
S3：具体的に何をするか先に伝えた方が分かりやすいかも。

④友達からのアドバイスや教師からのフィードバックを基に英文を修正する。

I like spring the best because we can enjoy seeing beautiful cherry blossoms. It is called *hanami*. We also enjoy talking and eating under the trees.

【指導のポイント】
・やり取りを通して伝えるべき内容を明確にし、書くための視点をもてるようにする。
・ねらいに即した視点を与え、使用する語句や伝える内容について吟味できるようにする。